

## 第3章 アンケート調査結果(小学生 5 年生保護者)

### (1) あなたの世帯のことについてうかがいます

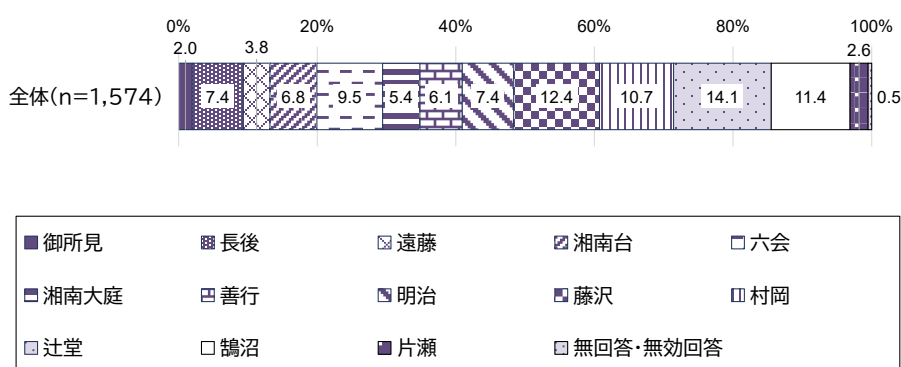
#### ア 居住地区

居住地区については、「辻堂」が 14.1%と最も多く、「藤沢」が 12.4%、「鶴沼」が 11.4%であった。

【小学5年生保護者問 1】

お住まいの地区としてあてはまるものをお選びください。(単一回答)

図表 3-1 居住地区 (単純集計)



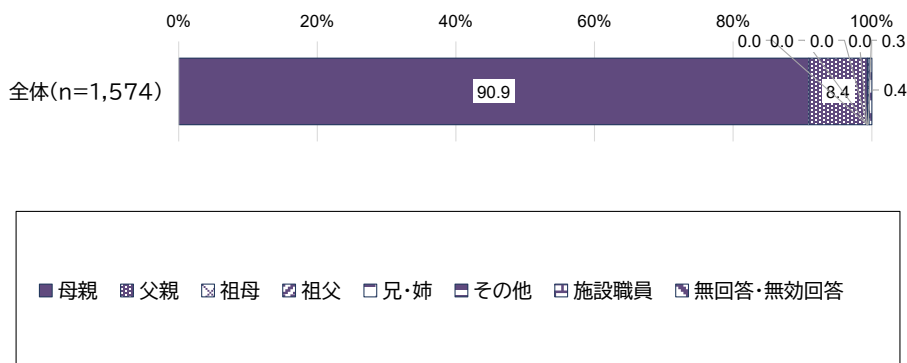
#### イ 回答者と子どもとの続柄

回答者と子どもとの続柄は、「母親」が 90.9%、「父親」が 8.4%であった。

【小学5年生保護者問 2】

お子さんとあなた(回答者)との関係は、次のどれになりますか。(単一回答)

図表 3-2 回答者と子どもとの続柄 (単純集計)



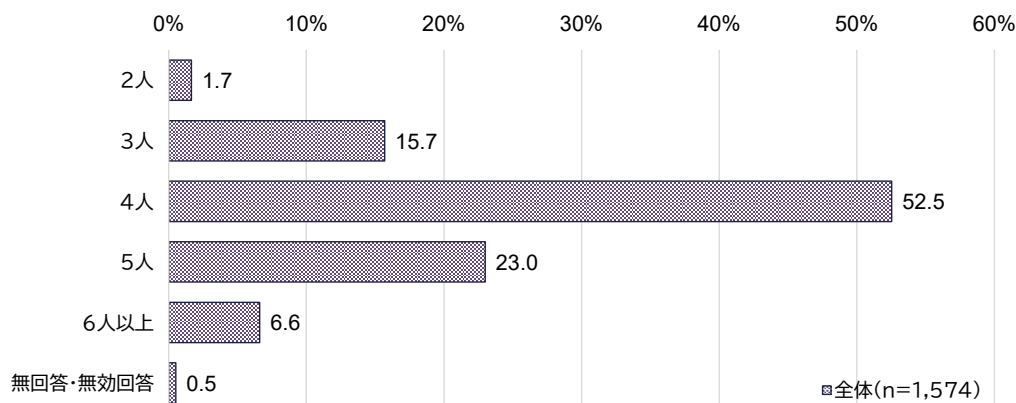
## ウ 同居人数

調査票の宛名の子どもと同居している人数は、「4人」が52.5%、「5人」が23.0%、「3人」が15.7%であった。

### 【小学5年生保護者問 3-1】

あなたと、この調査票を受け取ったお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。(数値回答)

図表 3-3 同居人数 (単純集計)



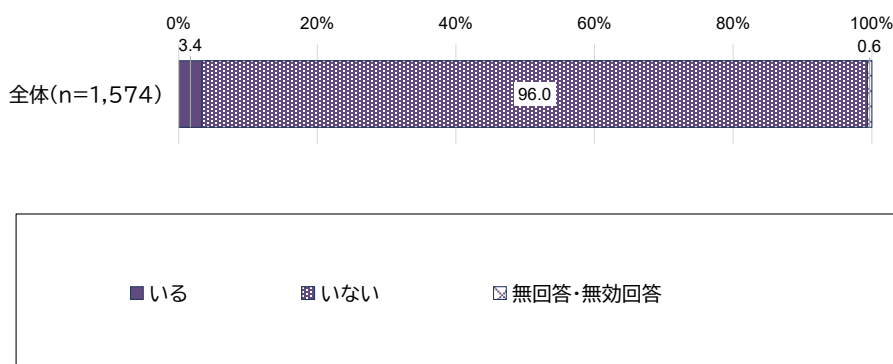
## エ 介護・介助が必要な方の有無

介護または介助の必要な方がいるか尋ねたところ、「いない」が96.0%、「いる」が3.4%であった。困窮層(n=44)では、「いない」が86.4%、「いる」が13.6%であった。

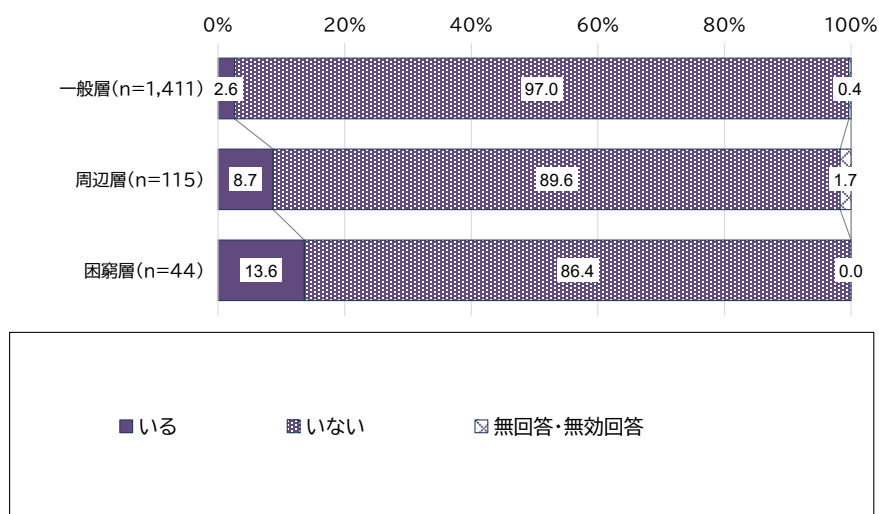
### 【小学5年生保護者問 3-2】

お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか。(単一回答)

図表 3-4 介護・介助が必要な方の有無 (単純集計)



図表 3-5 介護・介助が必要な方の有無（生活困難層別クロス集計）



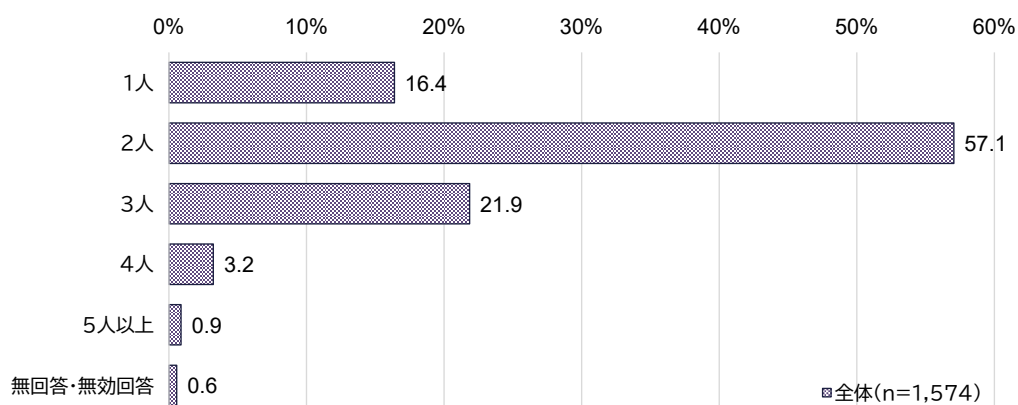
## オ 子どもの人数

宛名の子どもを含めた同居している家族の子どもの人数についてみると、「2人」が 57.1%、「3人」が 21.9%、「1人」が 16.4%であった。

### 【小学5年生保護者問 3-3】

お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。この調査票を受け取ったお子さんを含めた人数をお答えください。(数値回答)

図表 3-6 同居している家族の子どもの人数（単純集計）



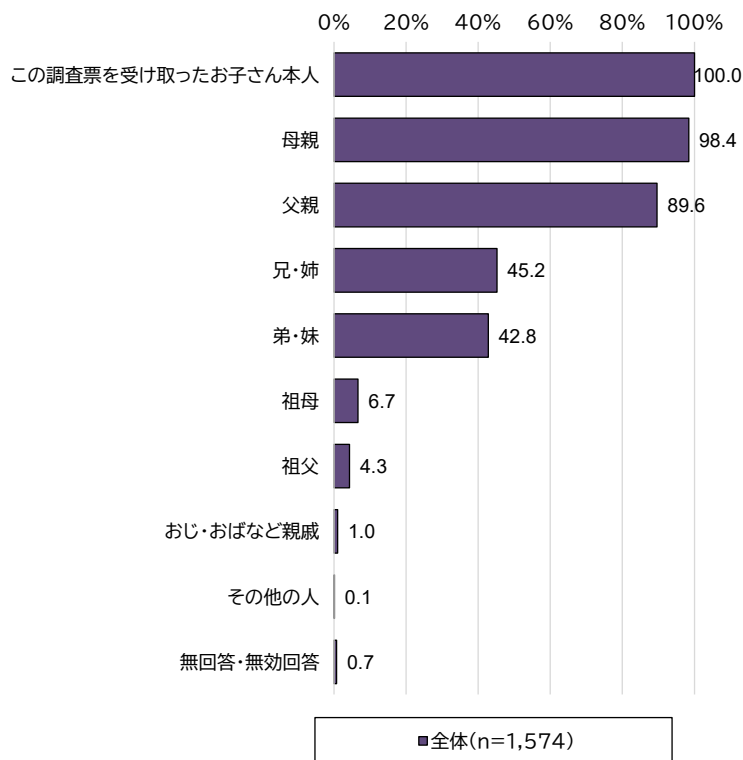
## カ 同居家族の子どもからみた続柄

子どもと同居している家族について、子どもからみた続柄についてみると、「母親」と同居している方が98.4%、「父親」と同居している方が89.6%、「兄・姉」と同居している方が45.2%であった。

【小学5年生保護者問 3-4】

お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

図表 3-7 同居している家族のうち、子どもからみた続柄 (単純集計)



## (2) お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

### ア 母親の就業状況

父子家庭ではない世帯の場合に、母親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 38.6%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が 25.6%、「専業主婦」が 23.2%であった。

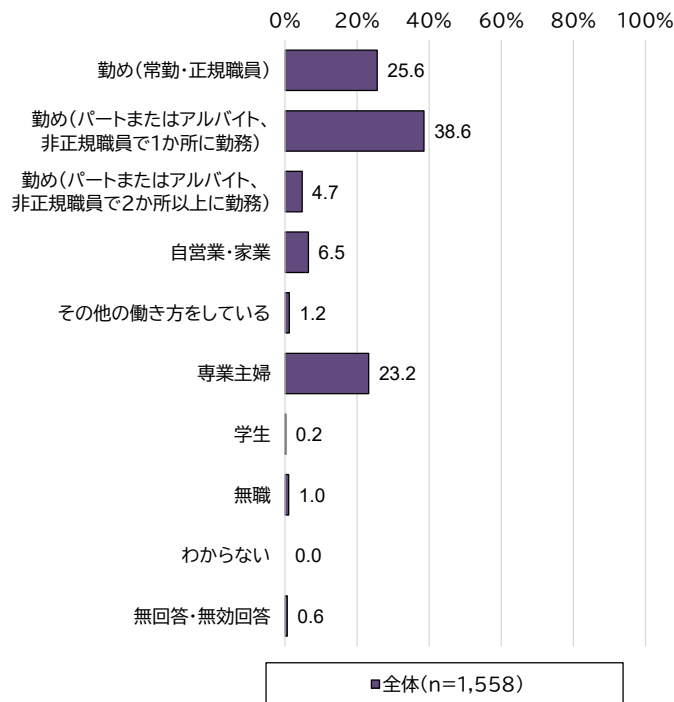
ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「勤め(常勤・正規職員)」が 45.1%と最も多く、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 32.4%、「自営業・家業」が 9.9%であった。

困窮層(n=41)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 53.7%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が 12.2%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)」が 9.8%であった。

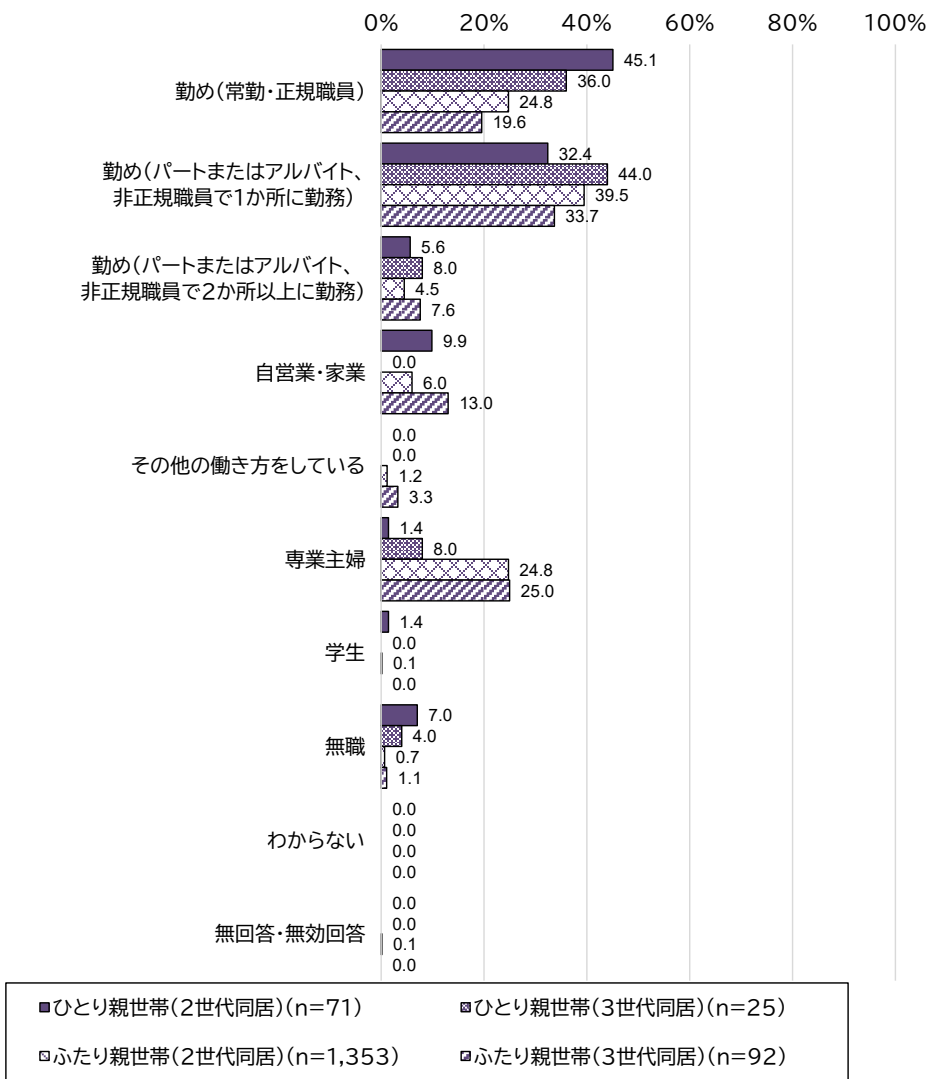
#### 【小学5年生保護者問 4】

お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答)

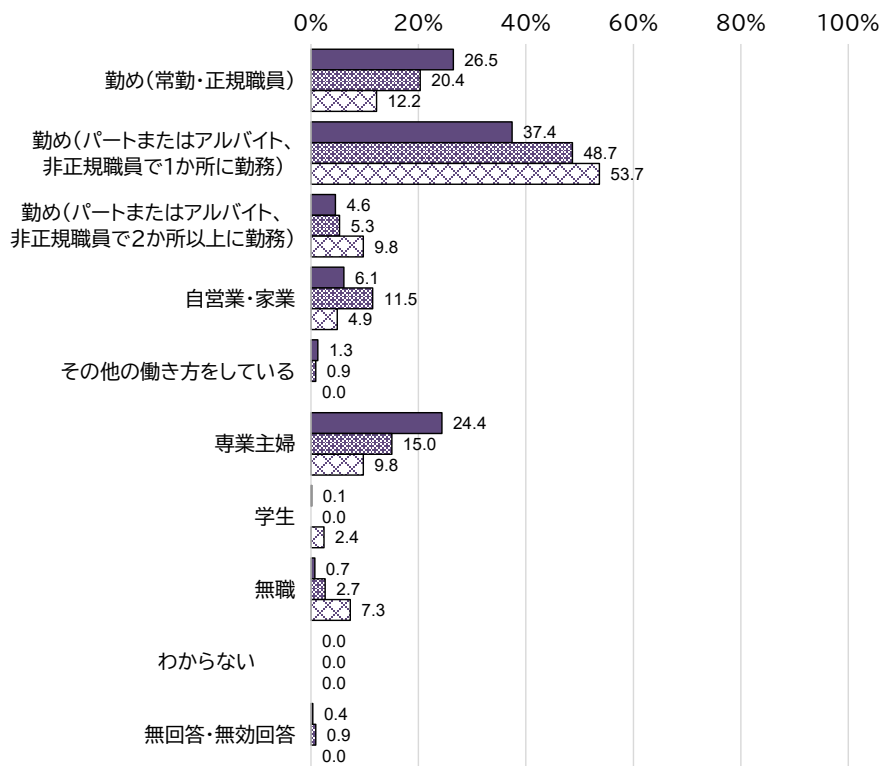
図表 3-8 母親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 3-9 母親の現在の就業状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-10 母親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,400)    ▨周辺層(n=113)    ▩困窮層(n=41)

## イ 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

父子家庭ではない世帯かつ問4で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 48.9%と最も多く、「土曜出勤」がある方が 35.9%、「日曜・祝日出勤」がある方が 27.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=64)では、「土曜出勤」がある方が 46.9%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 37.5%であった。

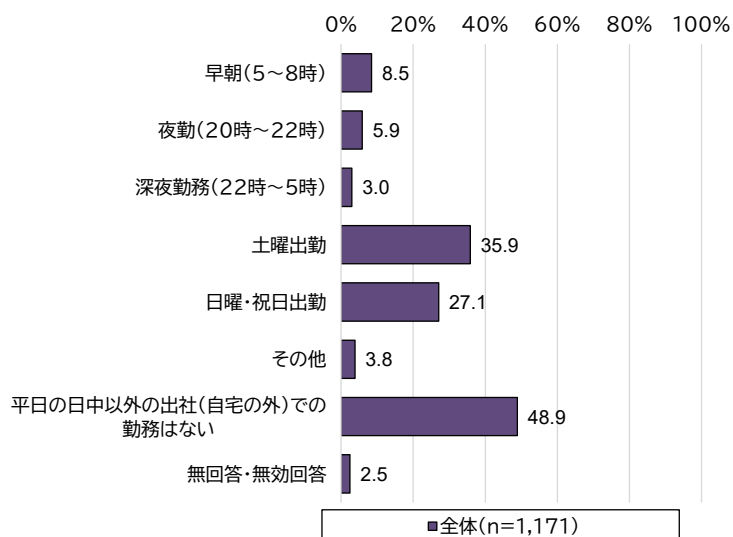
困窮層(n=33)では、「日曜・祝日出勤」がある方が 60.6%と最も多く、「土曜出勤」がある方が 45.5%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 24.2%であった。

生活満足 低位(n=119)では、「土曜出勤」がある方が 48.7%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方が 37.0%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 34.5%であった。

【小学5年生保護者問 4-1】

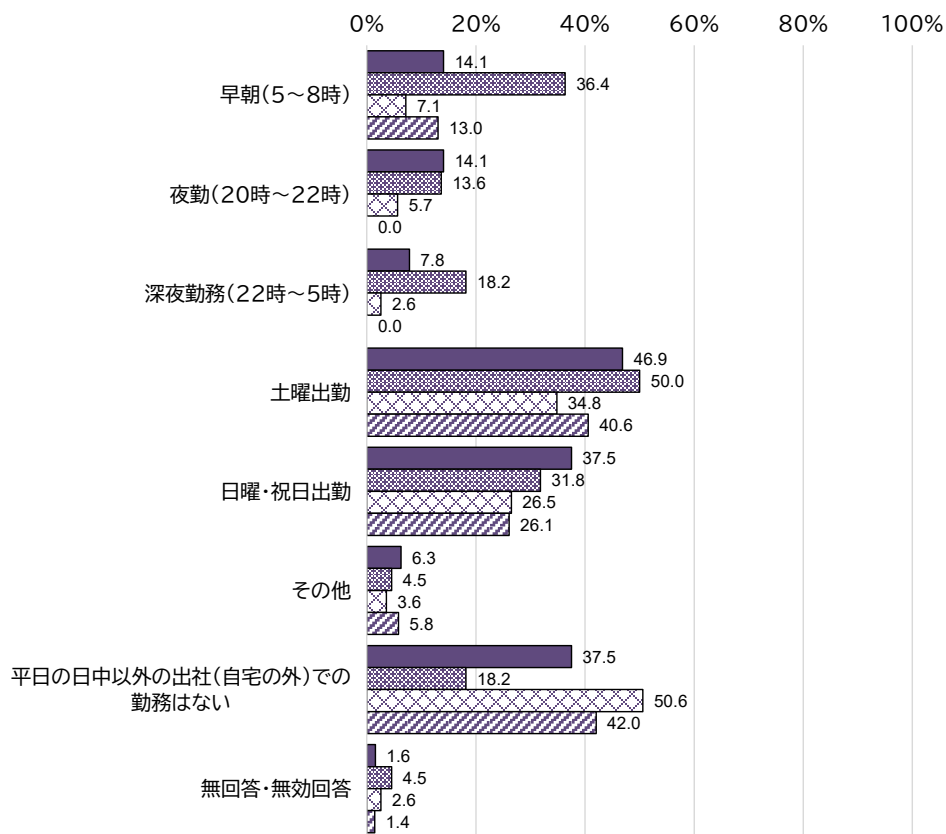
問 4 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お母さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 3-11 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



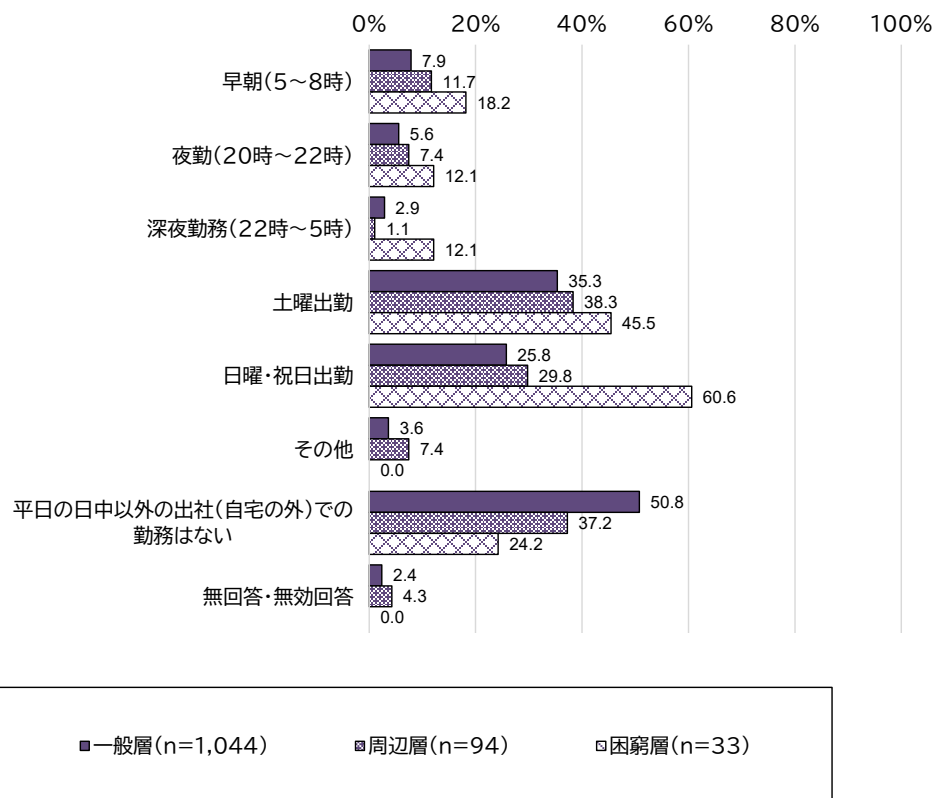


図表 3-12 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（世帯タイプ別クロス集計）

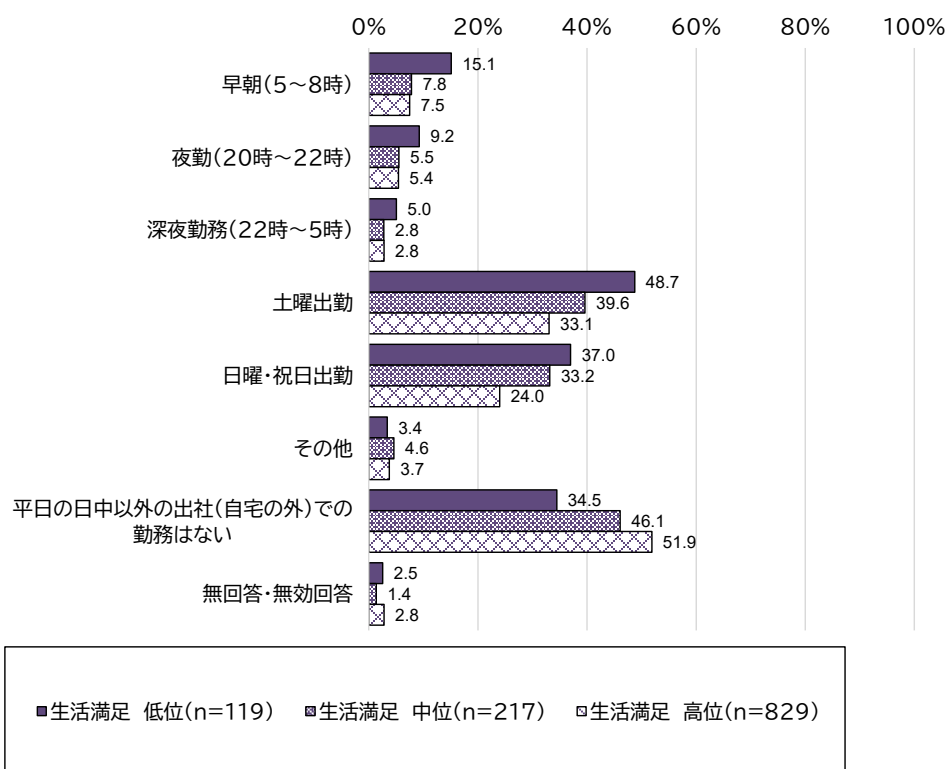


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=64)      □ひとり親世帯(3世代同居)(n=22)  
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,008)      □ふたり親世帯(3世代同居)(n=69)

図表 3-13 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-14 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活満足度別クロス集計）



## ウ 父親の就業状況

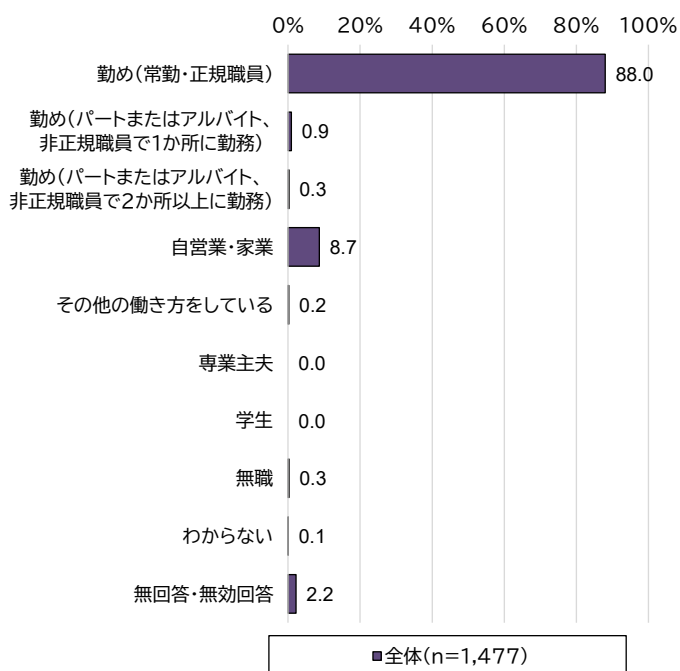
母子家庭ではない世帯の場合に、父親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が88.0%と最も多く、「自営業・家業」が8.7%であった。

困窮層(n=27)では、「勤め(常勤・正規職員)」が66.7%と最も多く、「自営業・家業」が22.2%であった。

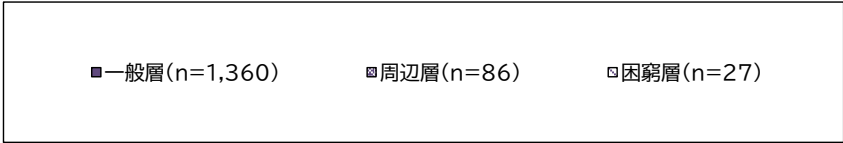
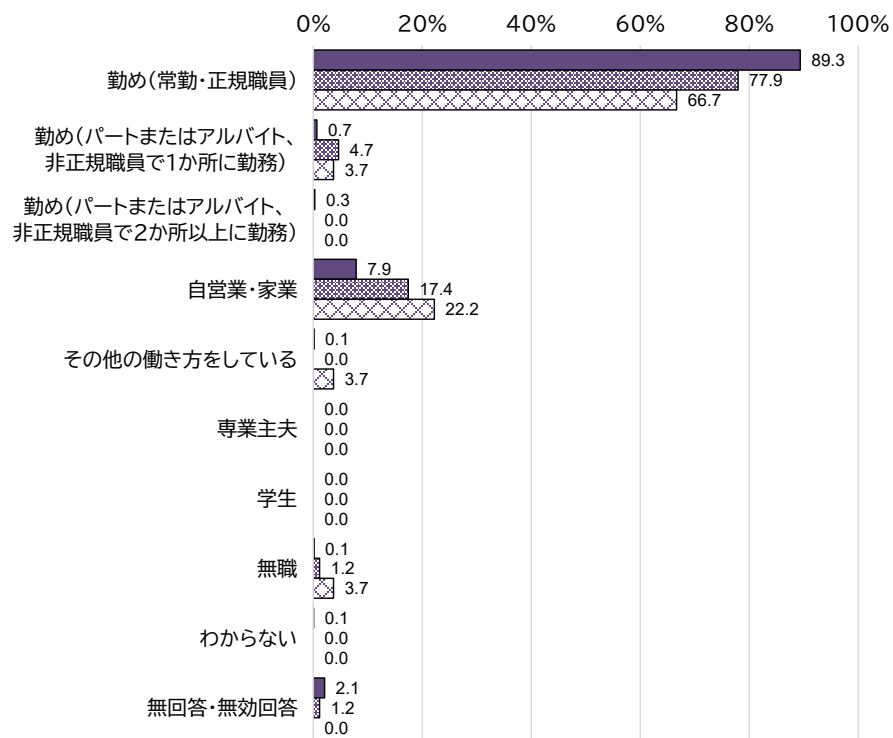
### 【小学5年生保護者問 5】

お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。(複数回答)

図表 3-15 父親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 3-16 父親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



## エ 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

母子家庭ではない世帯かつ問5で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、「土曜出勤」が41.1%と最も多く、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」が39.7%、「日曜・祝日出勤」が35.4%であった。

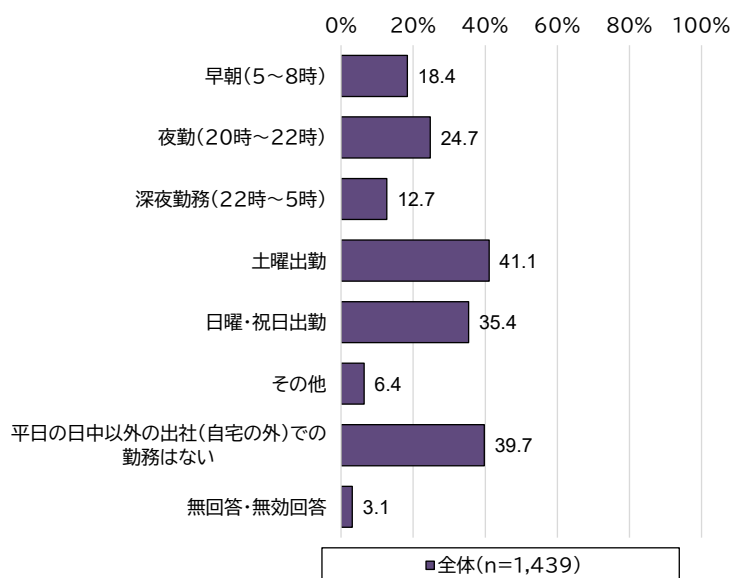
困窮層(n=26)では、「土曜出勤」が73.1%と最も多く、「日曜・祝日出勤」が57.7%、「早朝(5～8時)」が34.6%であった。

生活満足 低位(n=133)では、「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」が57.9%と最も多く、「夜勤(20時～22時)」が38.3%であった。

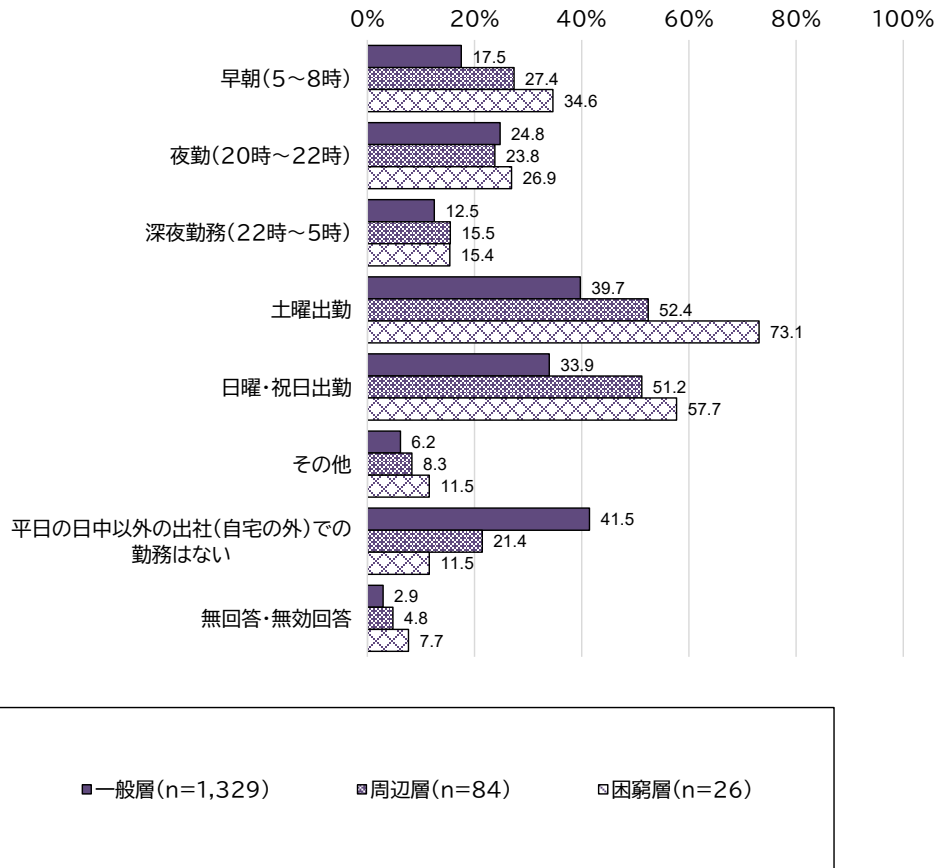
【小学5年生保護者問5-1】

問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お父さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

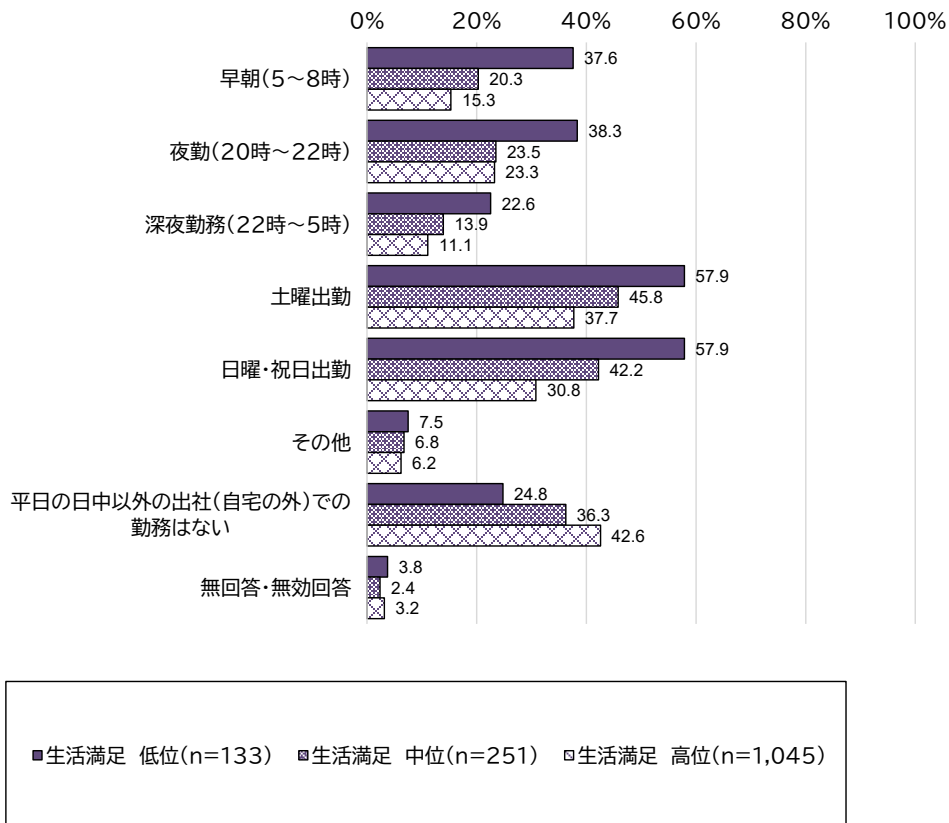
図表 3-17 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



図表 3-18 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-19 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活満足度別クロス集計）



### (3) お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

#### ア 子育ての中でしていること

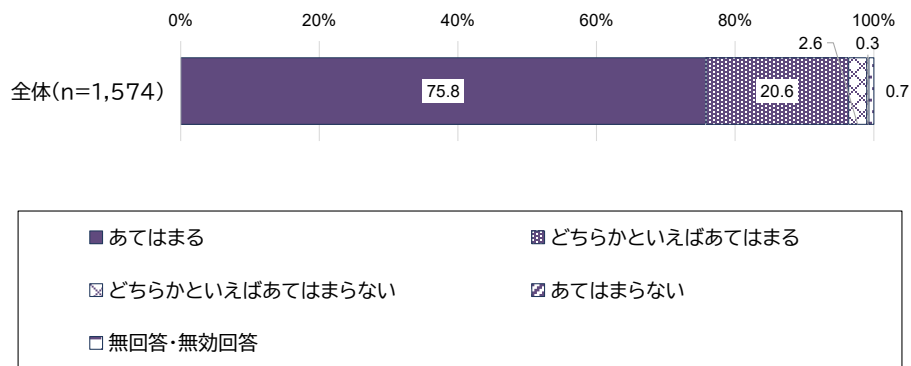
「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」は、「あてはまる」が 75.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 20.6%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が 64.4%、「どちらかといえばあてはまる」が 28.1%であった。

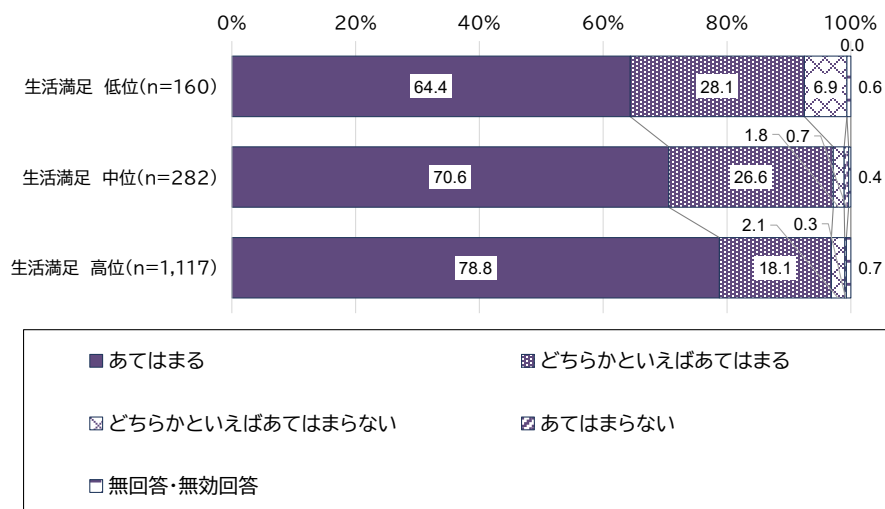
【小学5年生保護者問 6A】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 3-20 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (単純集計)



図表 3-21 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



「お子さんの勉強をみる」は、「あてはまる」が47.4%、「どちらかといえばあてはまる」が33.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「あてはまる」が34.9%、「どちらかといえばあてはまる」が37.2%であった。

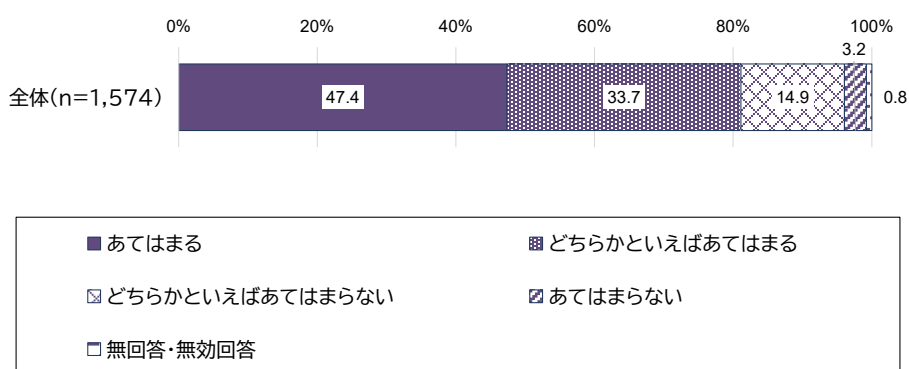
困窮層(n=44)では、「あてはまる」が38.6%、「どちらかといえばあてはまる」が31.8%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が33.1%、「どちらかといえばあてはまる」が35.6%であった。

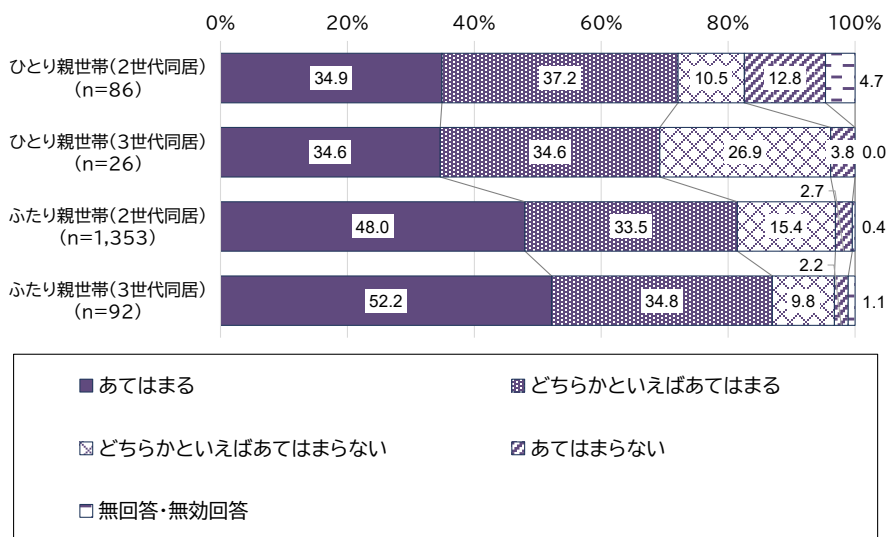
【小学5年生保護者問 6B】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 3-22 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (単純集計)

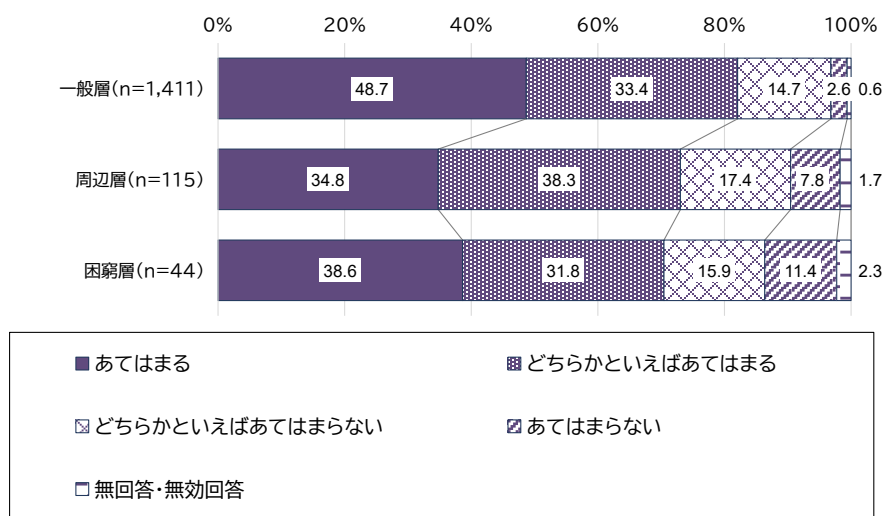


図表 3-23 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)

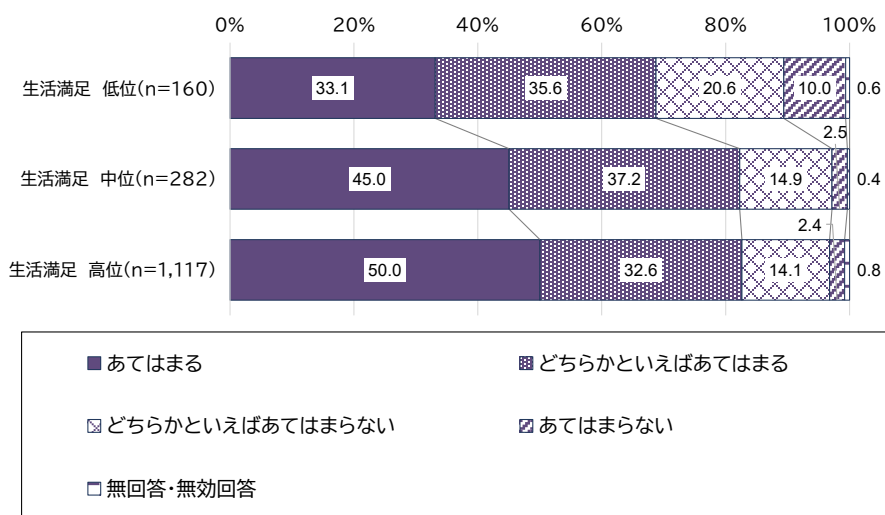




図表 3-24 「お子さんの勉強をみる」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-25 「お子さんの勉強をみる」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」は、「あてはまる」が69.1%、「どちらかといえばあてはまる」が24.6%であった。

前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は今回調査は69.1%、前回調査は57.7%で、11.4ポイント増加した。

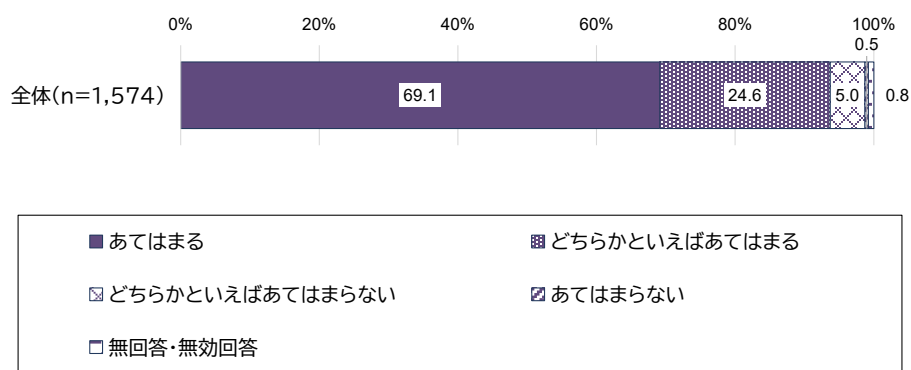
困窮層(n=44)では、「あてはまる」が47.7%、「どちらかといえばあてはまる」が38.6%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が55.6%、「どちらかといえばあてはまる」が31.9%であった。

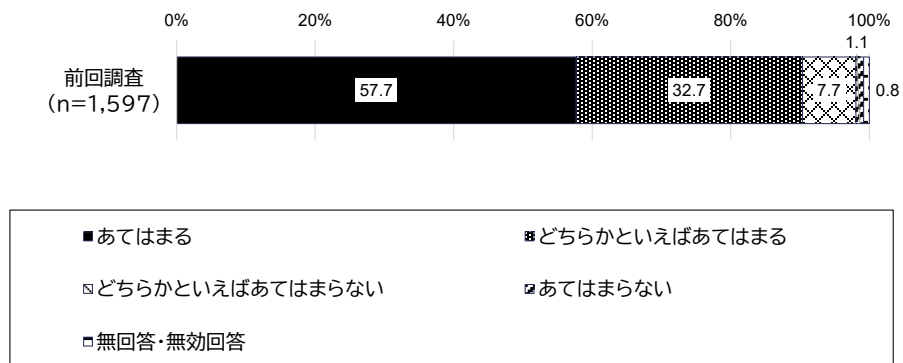
【小学5年生保護者問 6C】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

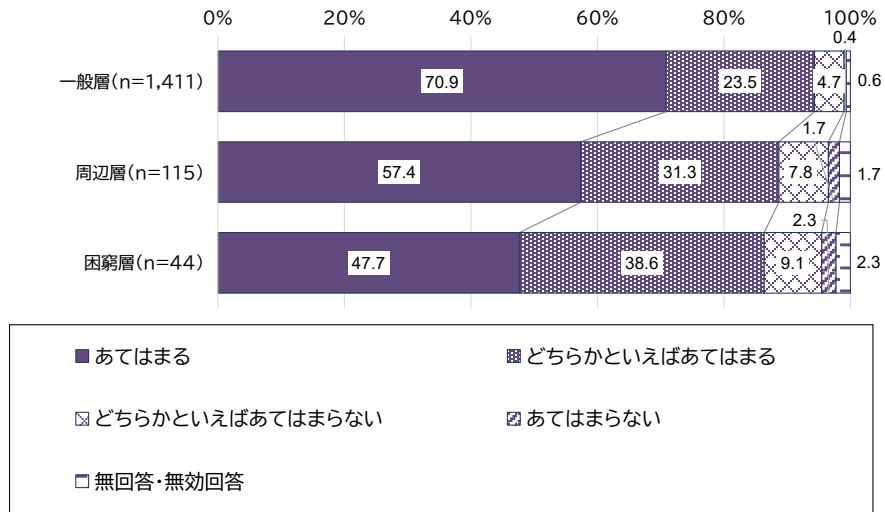
図表 3-26 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (単純集計)



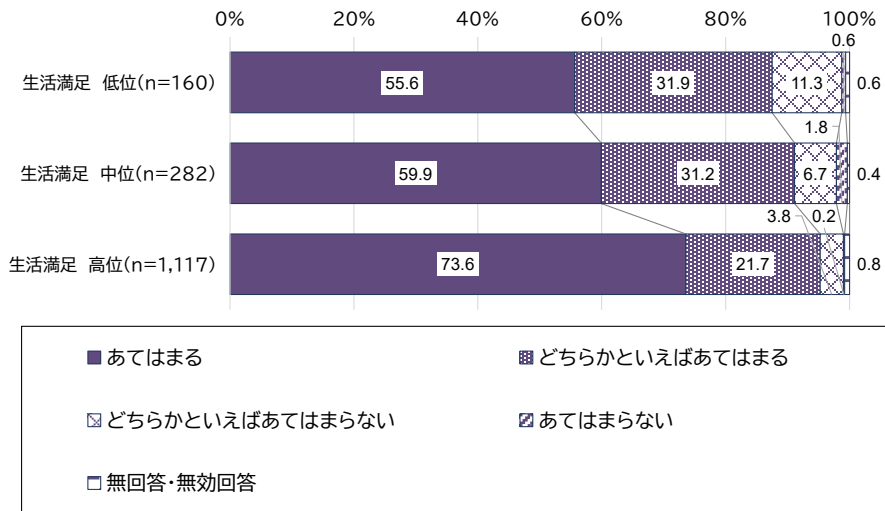
図表 3-27 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (前回調査 単純集計)



図表 3-28 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-29 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」は、「あてはまる」が 59.1、「どちらかといえばあてはまる」が 31.4%であった。

前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は、今回調査は 59.1%、前回調査は 50.2%で、8.9 ポイント増加した。

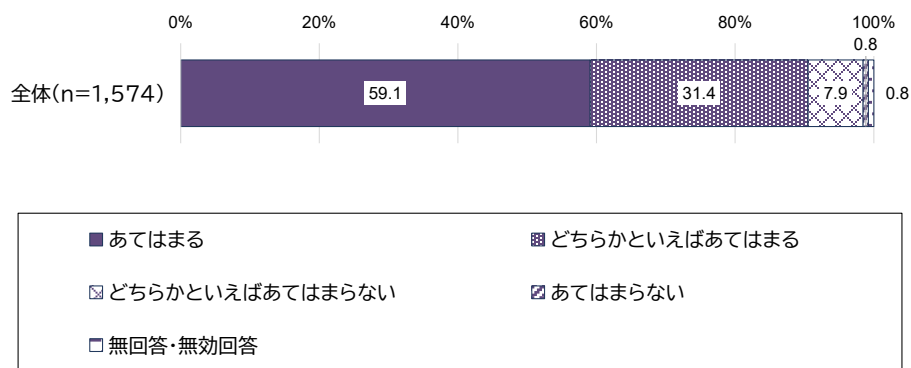
困窮層(n=44)では、「あてはまる」が 40.9%、「どちらかといえばあてはまる」が 34.1%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が 45.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 32.5%であった。

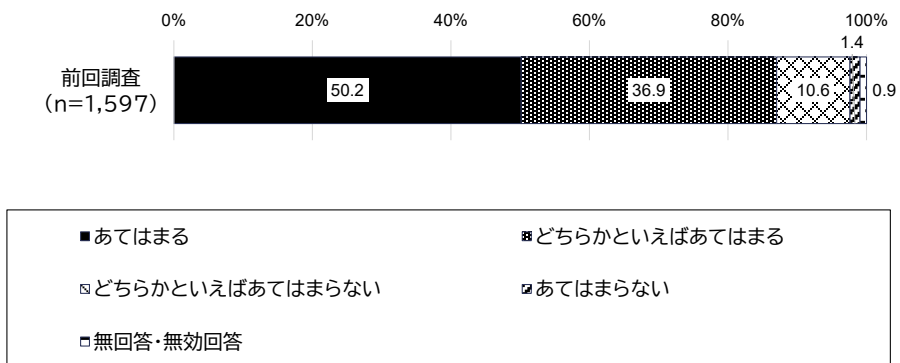
【小学5年生保護者問 6D】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

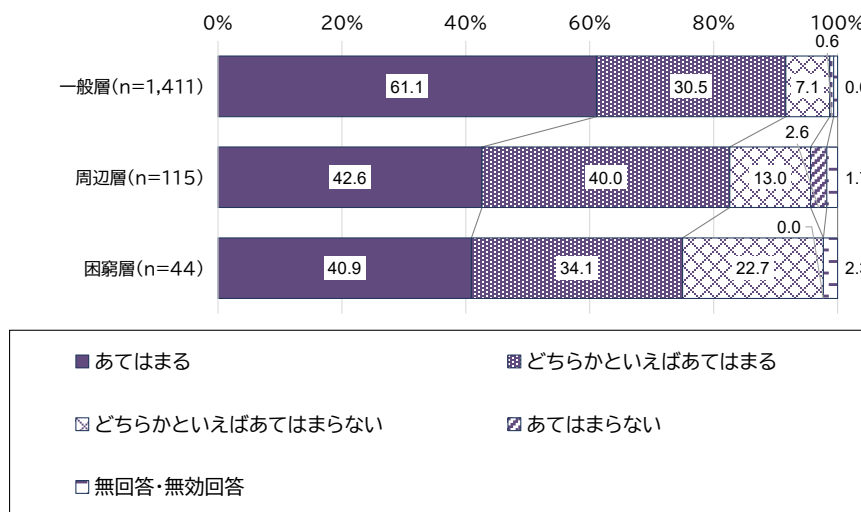
図表 3-30 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況 (単純集計)



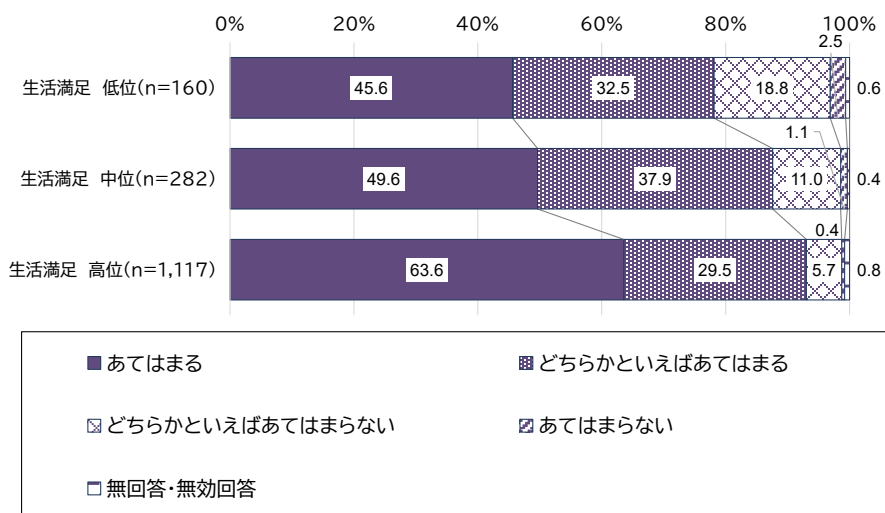
図表 3-31 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況 (前回調査 単純集計)



図表 3-32 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況  
(生活困難層別クロス集計)



図表 3-33 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況  
(生活満足度別クロス集計)



## イ 過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

過去1年間に、子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった経験については、「なかった」が80.0%、「あった」が19.2%であった。

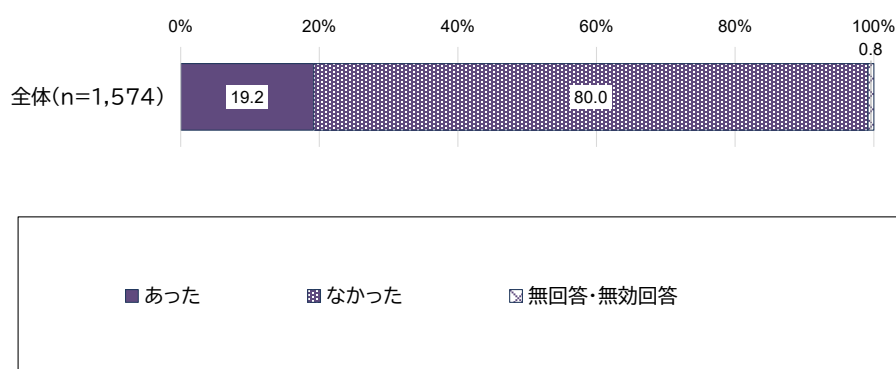
困窮層(n=44)では、「なかった」が50.0%、「あった」が47.7%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「なかった」が65.6%、「あった」が33.8%であった。

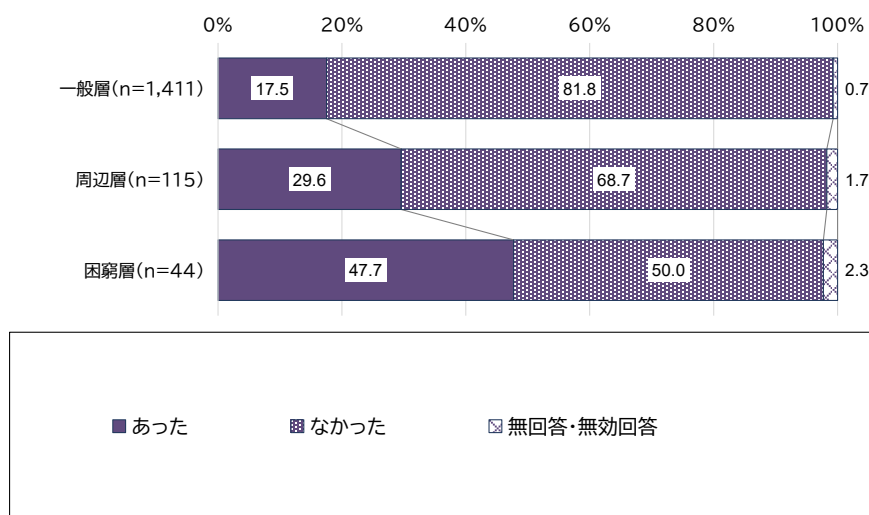
【小学5年生保護者問 7】

過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(単一回答)

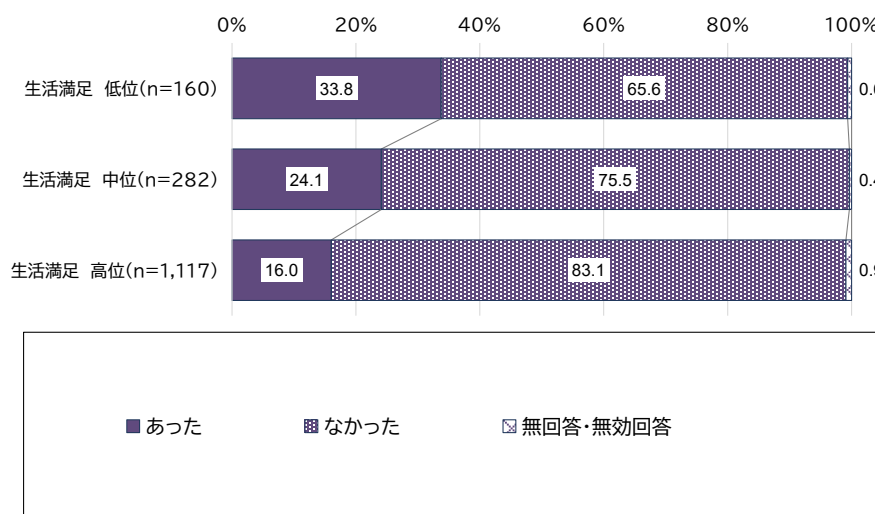
図表 3-34 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (単純集計)



図表 3-35 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (生活困難層別クロス集計)



図表 3-36 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験  
(生活満足度別クロス集計)



## ウ 医療機関を受診させなかった理由

問7で、過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「あった」と回答した方に、その理由について尋ねたところ、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が79.1%と最も多く、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が25.8%、「子ども本人が受診しなかったため」が19.2%であった。

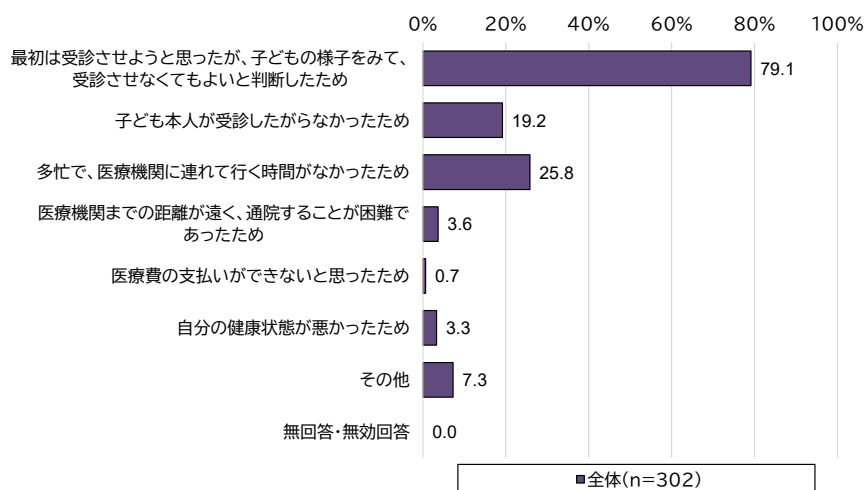
困窮層(n=21)では、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が57.1%と最も多く、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が47.6%、「子ども本人が受診しなかったため」「医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため」が14.3%であった。

生活満足 低位(n=54)では、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が66.7%と最も多く、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が42.6%、「子ども本人が受診しなかったため」が25.9%であった。

### 【小学5年生保護者問7-1】

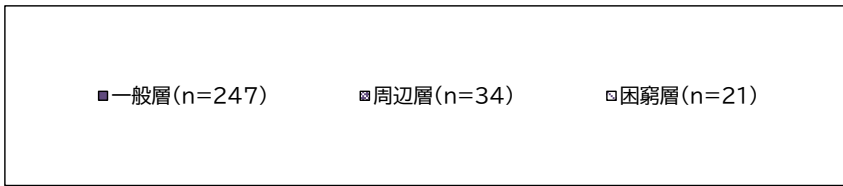
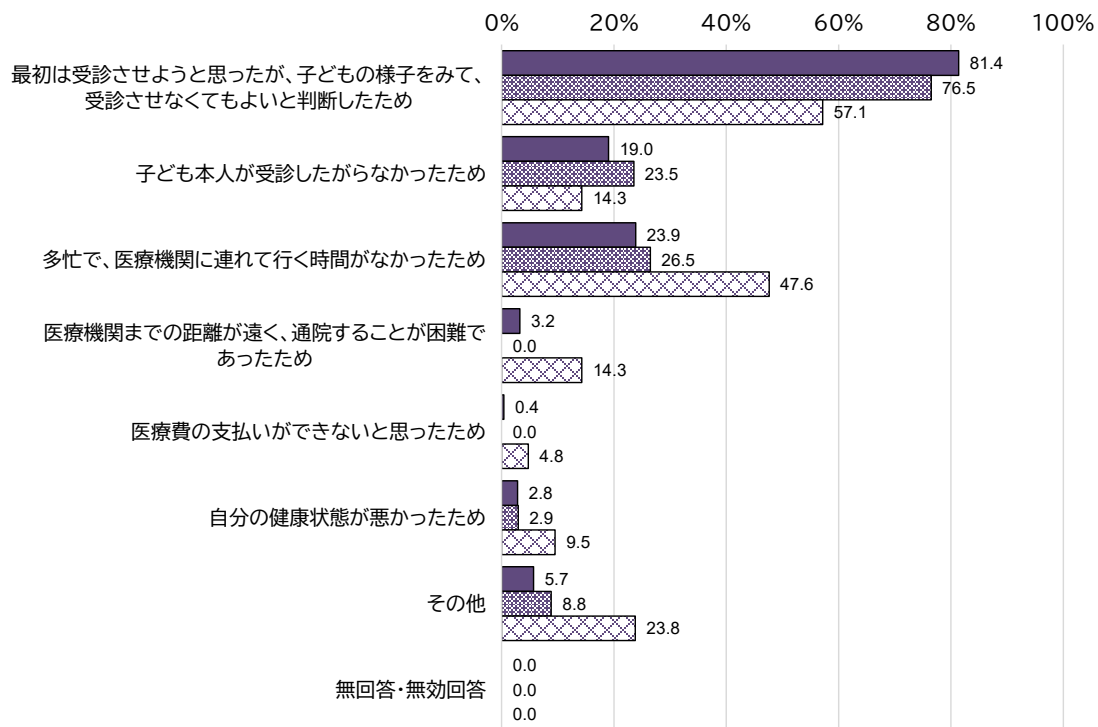
問7-1で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-37 医療機関を受診させなかった理由 (単純集計)

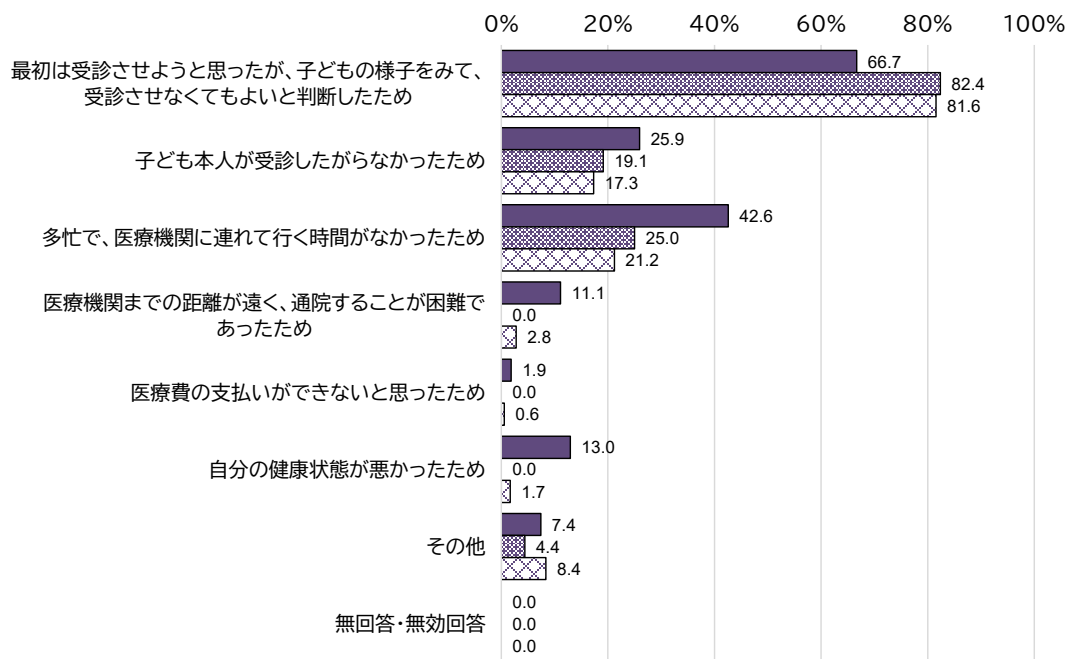




図表 3-38 医療機関を受診させなかった理由（生活困難層別クロス集計）



図表 3-39 医療機関を受診させなかった理由（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=54)   ■生活満足 中位(n=68)   □生活満足 高位(n=179)

## 工 発達に関する医師の診断

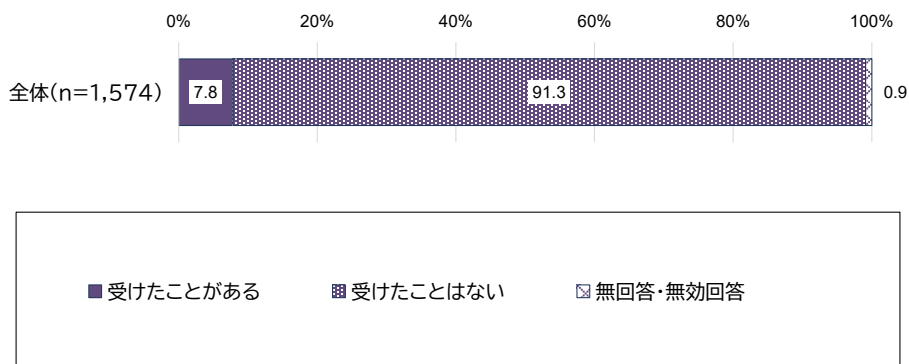
子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがあるかどうかについては、「受けたことはない」が91.3%、「受けたことがある」が7.8%であった。

困窮層(n=44)では、「受けたことはない」が79.5%と最も多く、「受けたことがある」が18.2%であった。

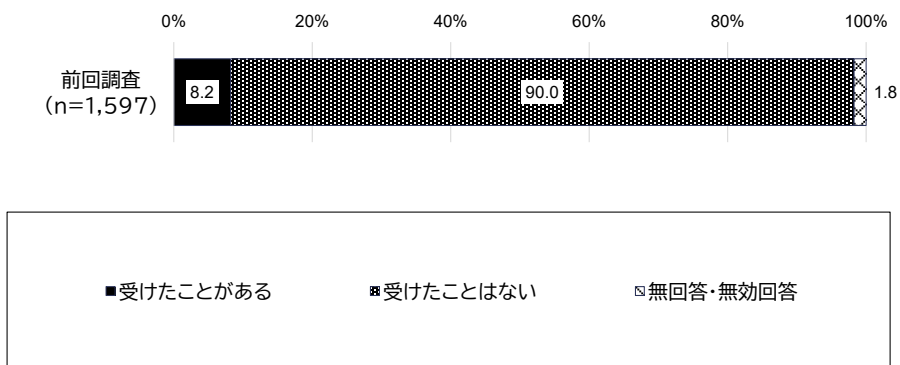
### 【小学5年生保護者問 8】

お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか。(単一回答)

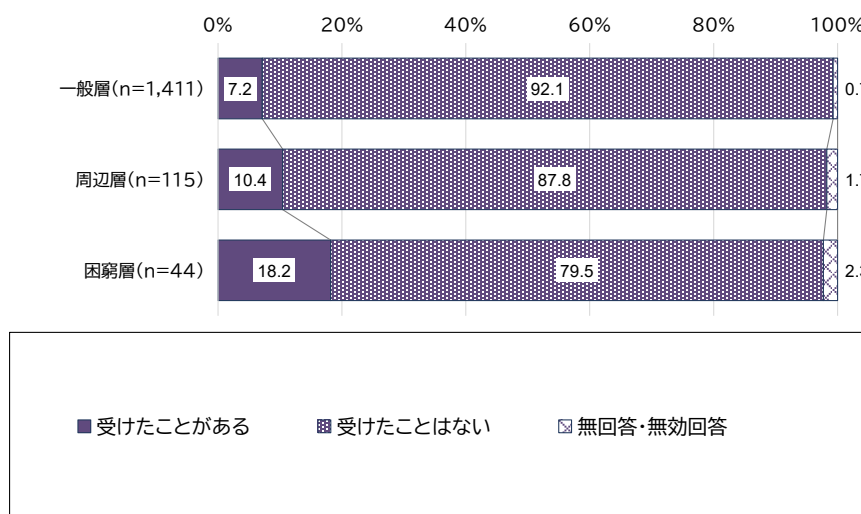
図表 3-40 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (単純集計)



図表 3-41 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (前回調査 単純集計)



図表 3-42 回答者の子どもの発達に関する医師の診断（生活困難層別クロス集計）



### オ 医師の診断結果

問 8 で子どもの発達に関して何らかの医師の診断を「受けたことがある」と回答した方に対して、医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が 41.5%と最も多く、「知的な遅れ」が 23.6%、「身体障がい」が 5.7%であった。

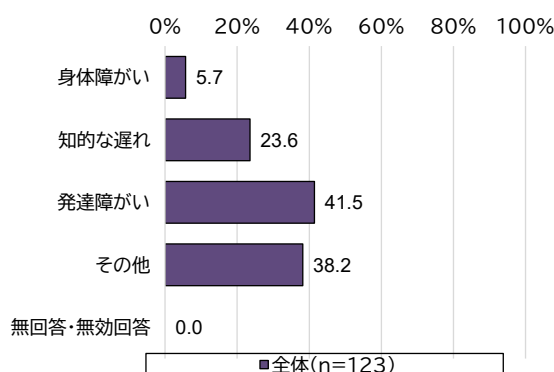
前回調査と比較すると、「知的な遅れ」と回答した割合は、今回調査は 23.6%、前回調査は 11.5%で、12.1 ポイント増加した。

困窮層(n=8)では、「知的な遅れ」が 62.5%と最も多く、「発達障がい」が 25.0%であった。

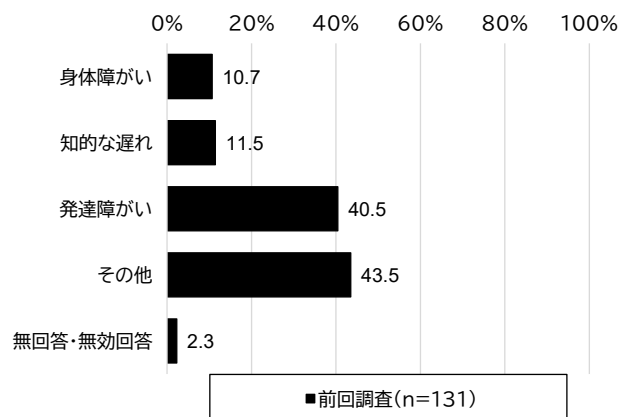
【小学5年生保護者問 8-1】

問8で「1. 受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それはどのような診断ですか。(複数回答)

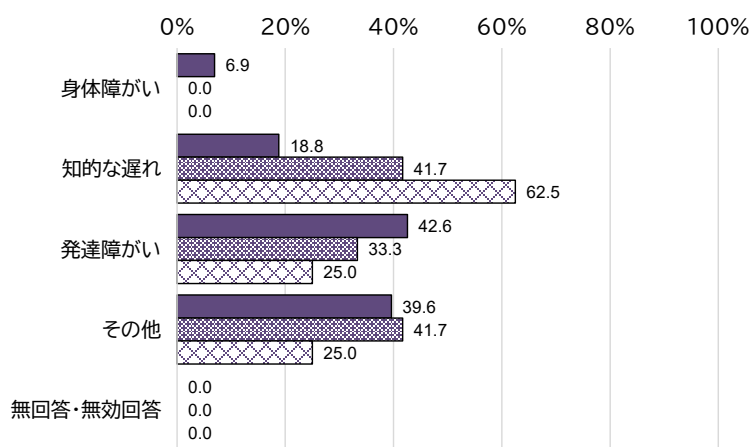
図表 3-43 医師の診断結果（単純集計）



図表 3-44 医師の診断結果（前回調査 単純集計）



図表 3-45 医師の診断結果（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=101)    ▨周辺層(n=12)    ▩困窮層(n=8)

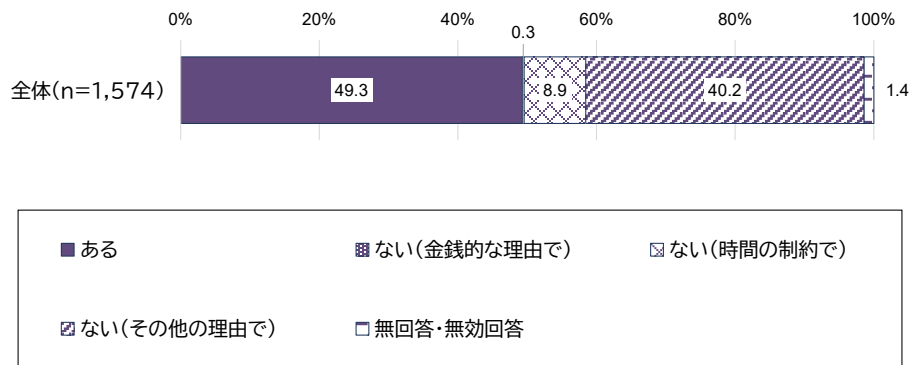
## カ 体験の剥奪

「海水浴に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、0.3%であった。

【小学5年生保護者問 9A】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 3-46 「海水浴に行く」の実施状況 (単純集計)



「博物館・美術館・水族館などに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、1.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「ない(金銭的な理由で)」が、8.1%であった。

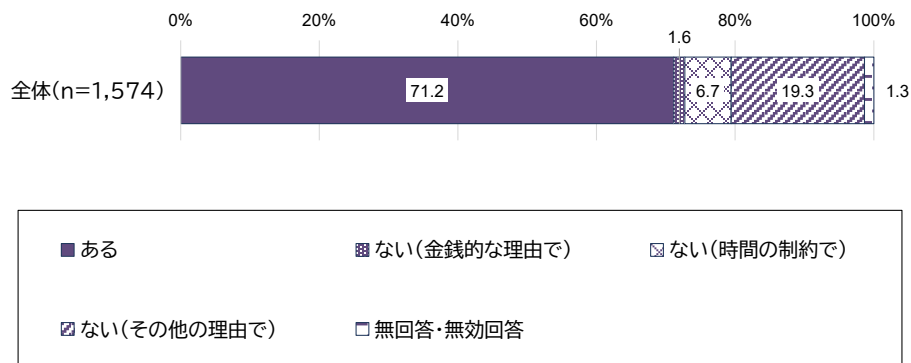
困窮層(n=44)では、「ない(金銭的な理由で)」が31.8%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「ない(金銭的な理由で)」が10.0%であった。

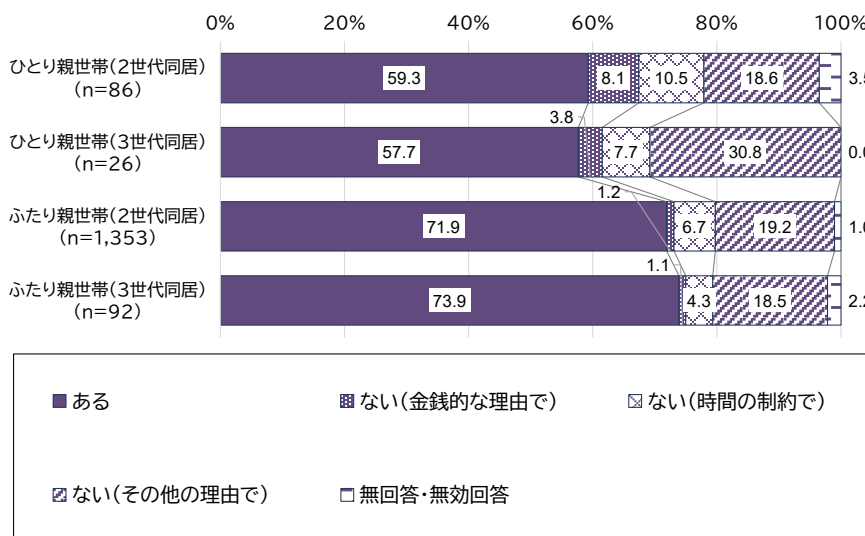
【小学5年生保護者問 9B】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

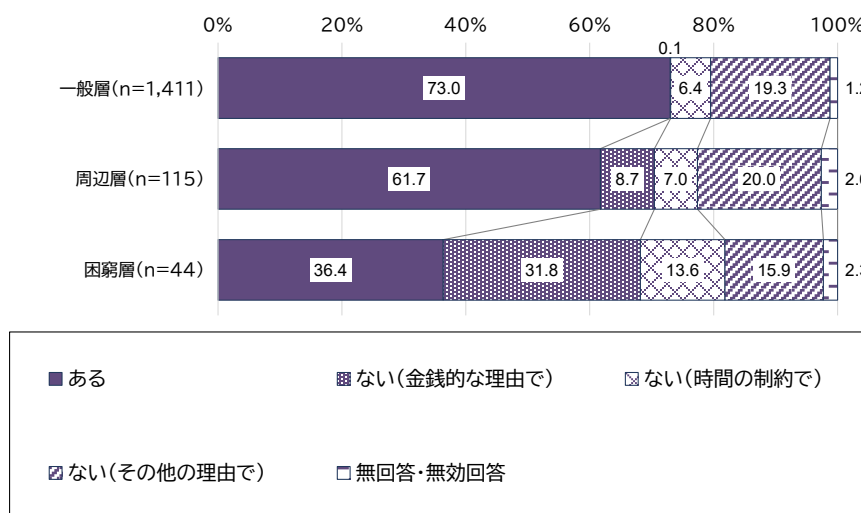
図表 3-47 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況 (単純集計)



図表 3-48 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

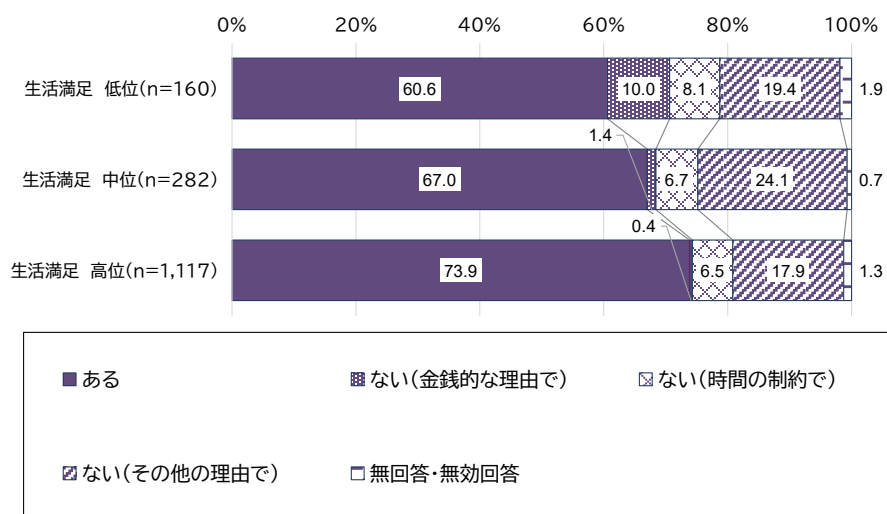


図表 3-49 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>19</sup>



<sup>19</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-50 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

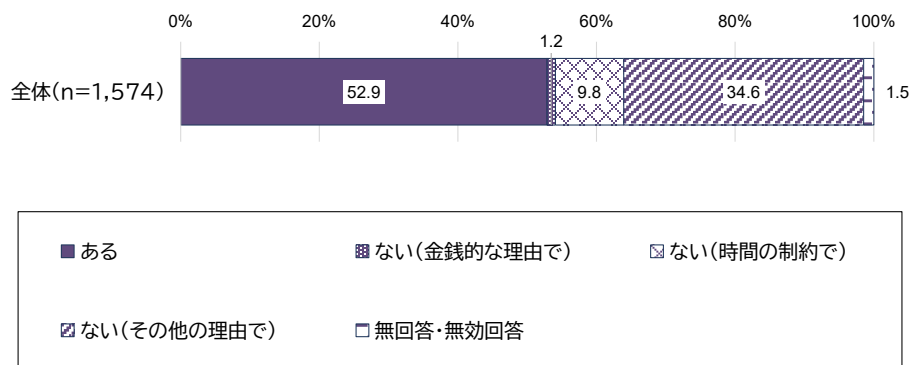


「キャンプやバーベキューに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、1.2%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「ない(金銭的な理由で)」が 9.3%であった。  
 困窮層(n=44)では、「ない(金銭的な理由で)」が 22.7%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「ない(金銭的な理由で)」が、6.9%であった。

【小学5年生保護者問 9C】

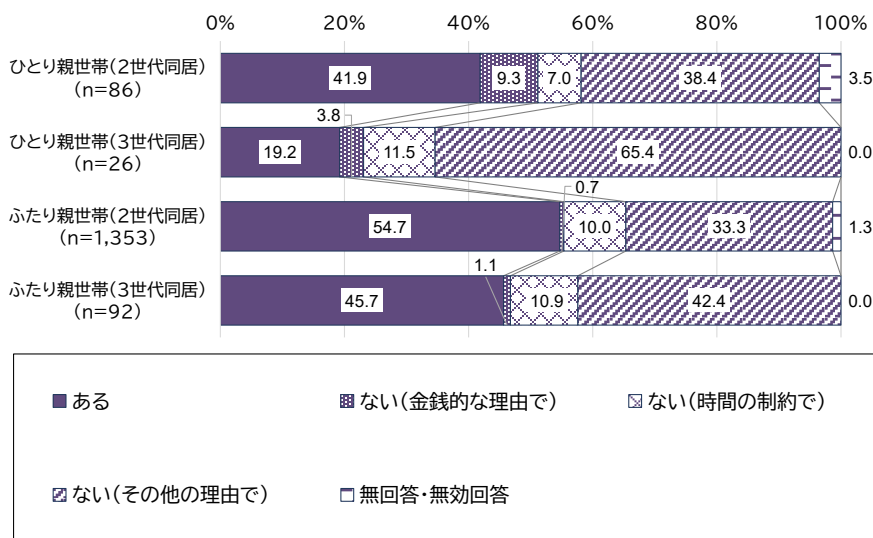
過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 3-51 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（単純集計）

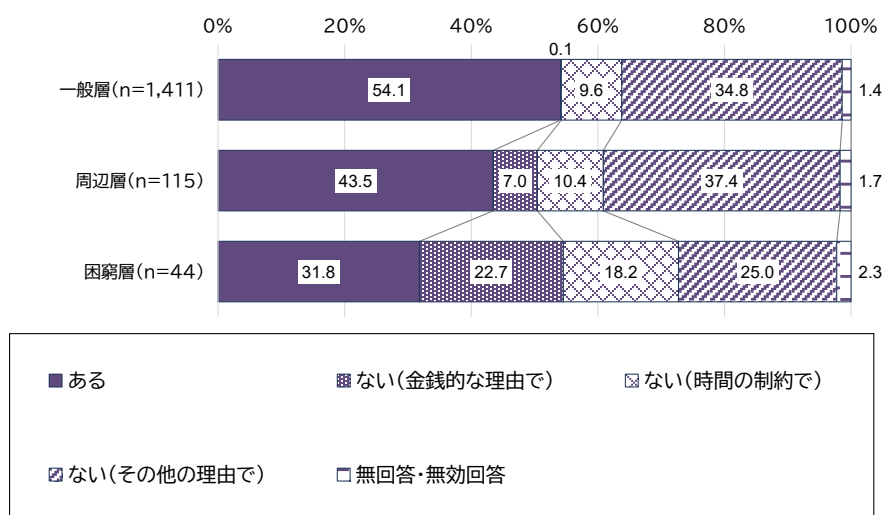




図表 3-52 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

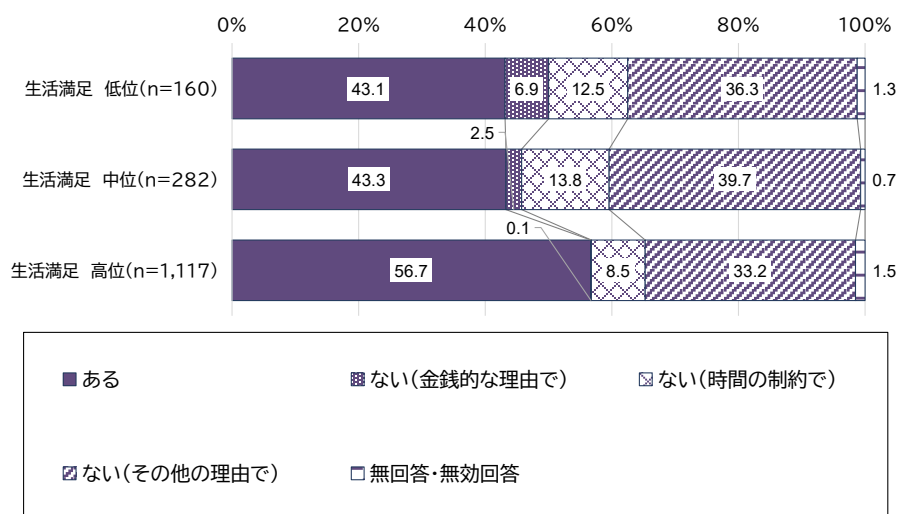


図表 3-53 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>20</sup>



<sup>20</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-54 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

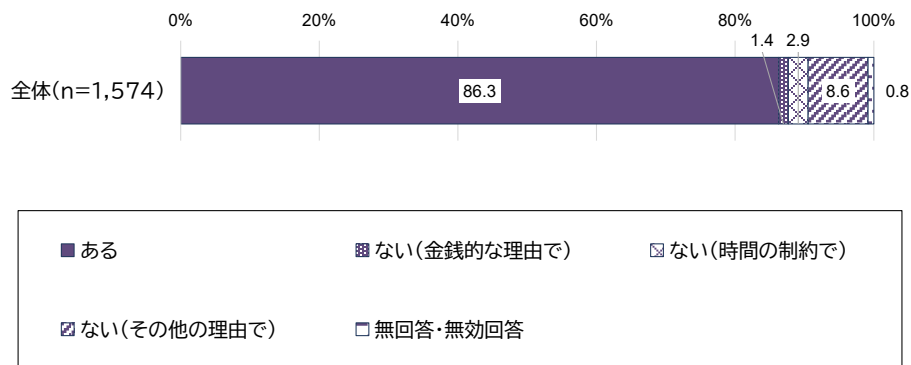


「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が 1.4%であった。

【小学5年生保護者問 9D】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 3-55 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（単純集計）

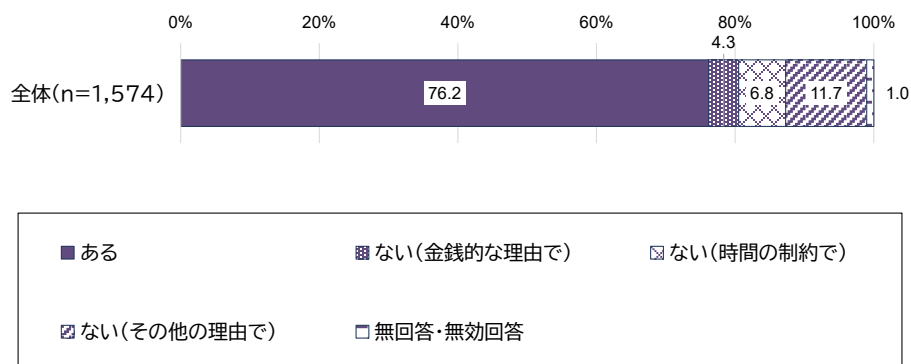


「遊園地やテーマパークに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が4.3%であった。

【小学5年生保護者問 9E】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 3-56 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況 (単純集計)



## キ 家庭での経験の剥奪

「毎月おこづかいを渡す」は、「経済的にできない」が 2.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「経済的にできない」が 11.6%であった。

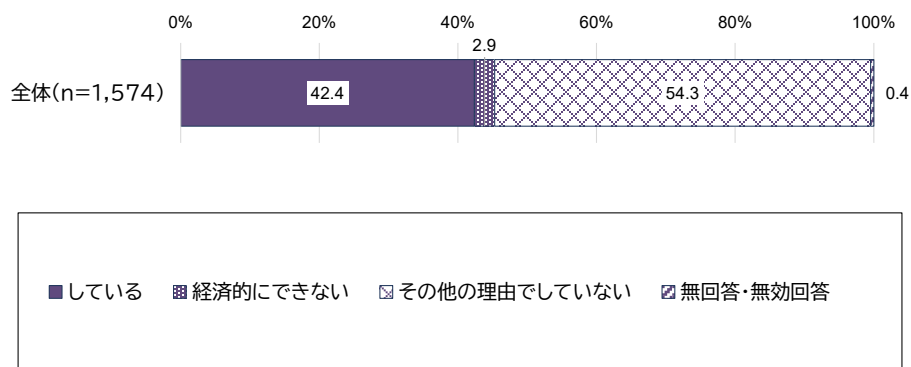
困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が 43.2%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「経済的にできない」が 11.9%であった。

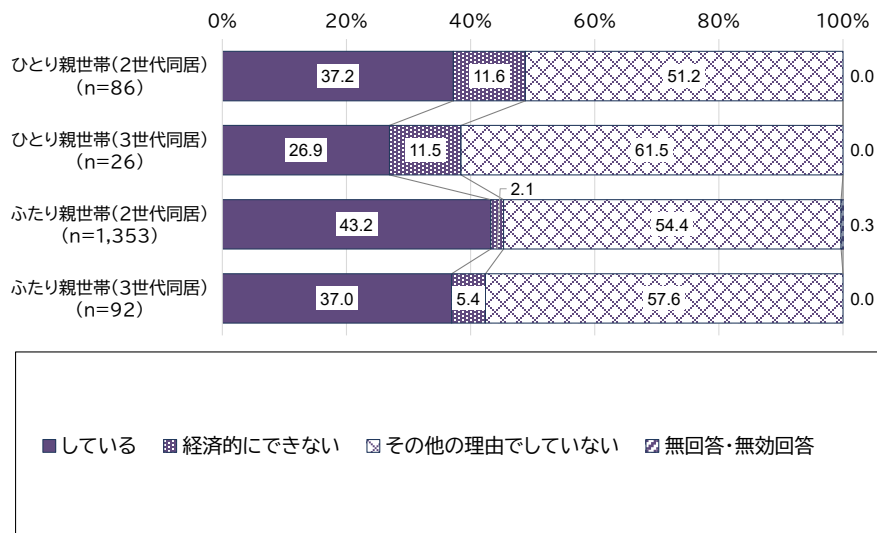
【小学5年生保護者問 10A】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

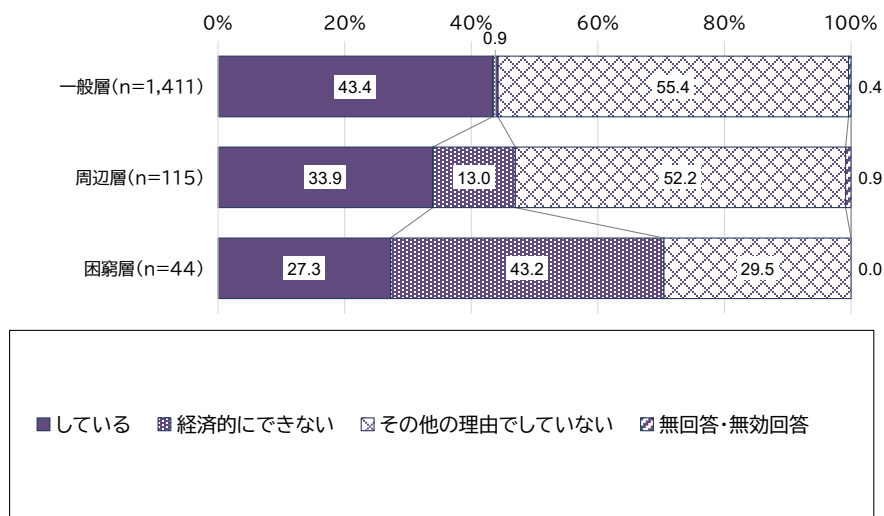
図表 3-57 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（単純集計）



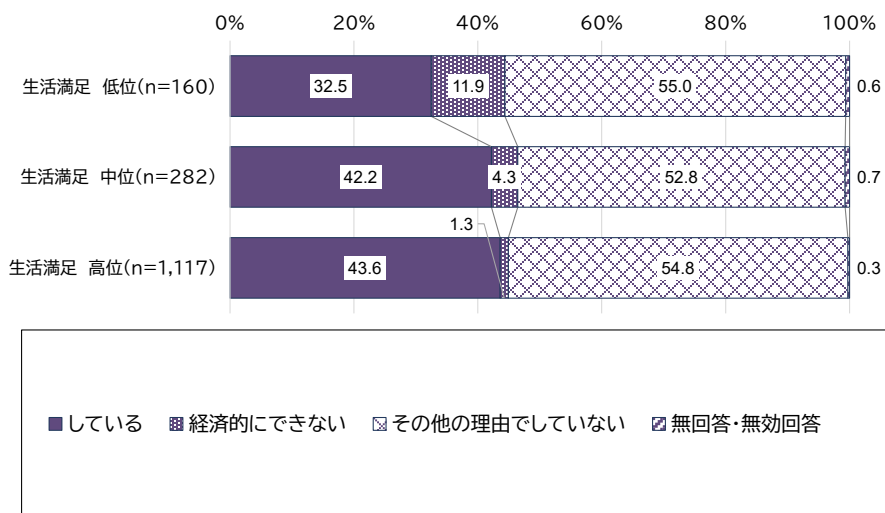
図表 3-58 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-59 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>21</sup>



図表 3-60 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



<sup>21</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

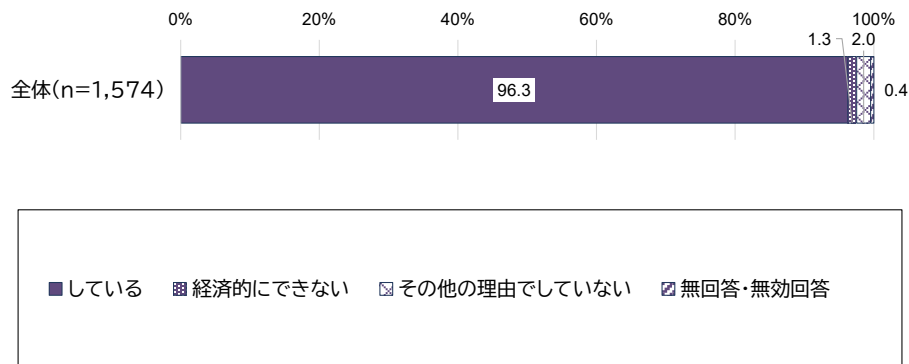
「毎年新しい洋服・靴を買う」は、「経済的にできない」が 1.3%であった。

困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が 27.3%であった。

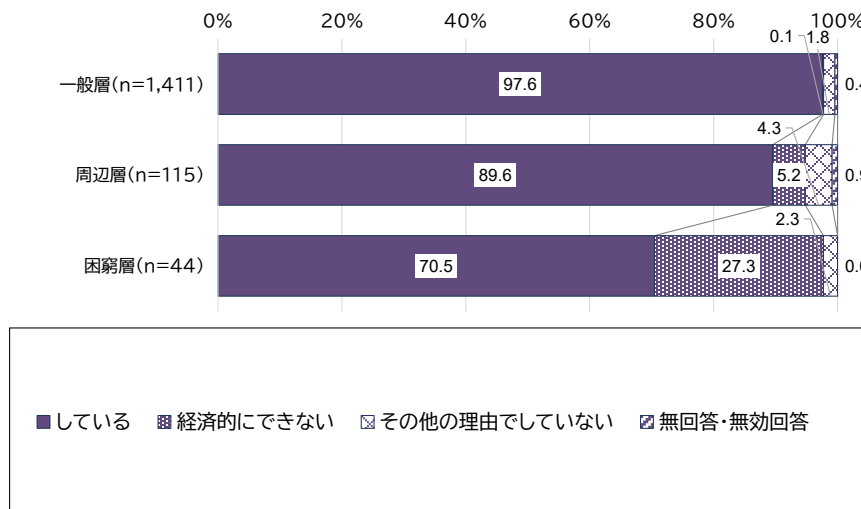
【小学5年生保護者問 10B】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 3-61 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況（単純集計）



図表 3-62 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>22</sup>



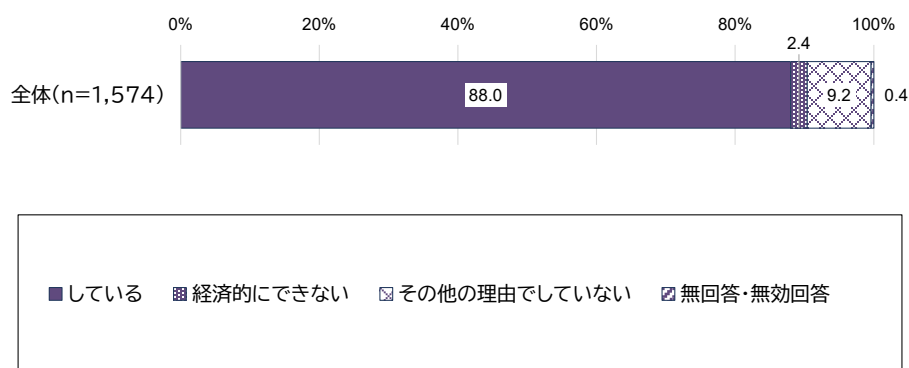
<sup>22</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」は、「経済的にできない」が 2.4%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「経済的にできない」が 10.5%であった。  
 困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が 47.7%であった。  
 生活満足 低位(n=160) では、「経済的にできない」が 8.8%であった。

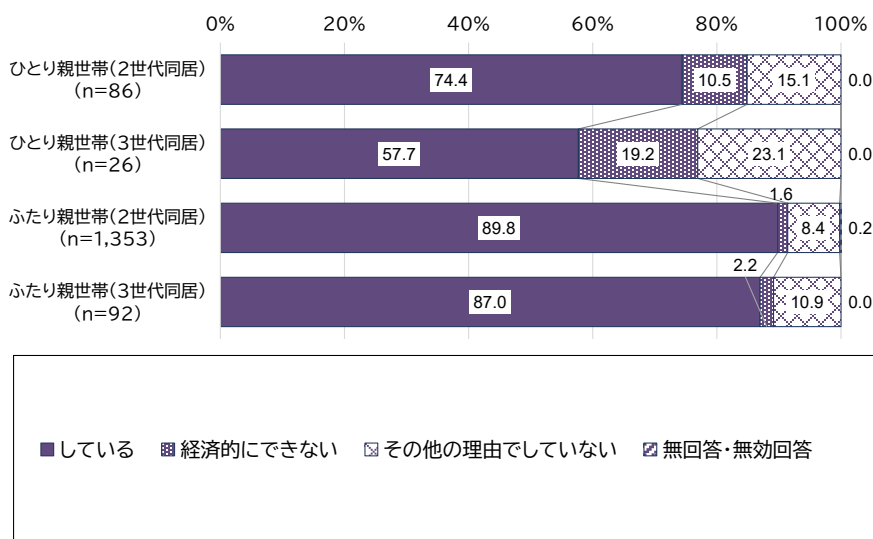
【小学5年生保護者問 10C】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

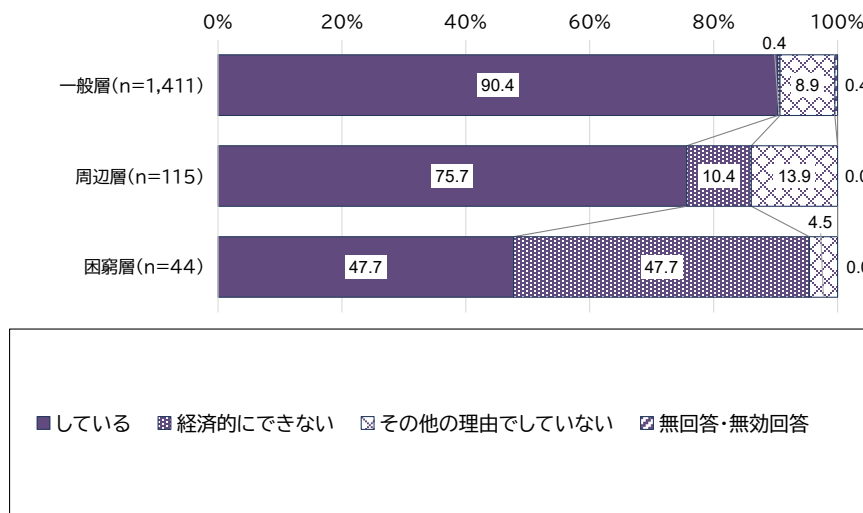
図表 3-63 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (単純集計)



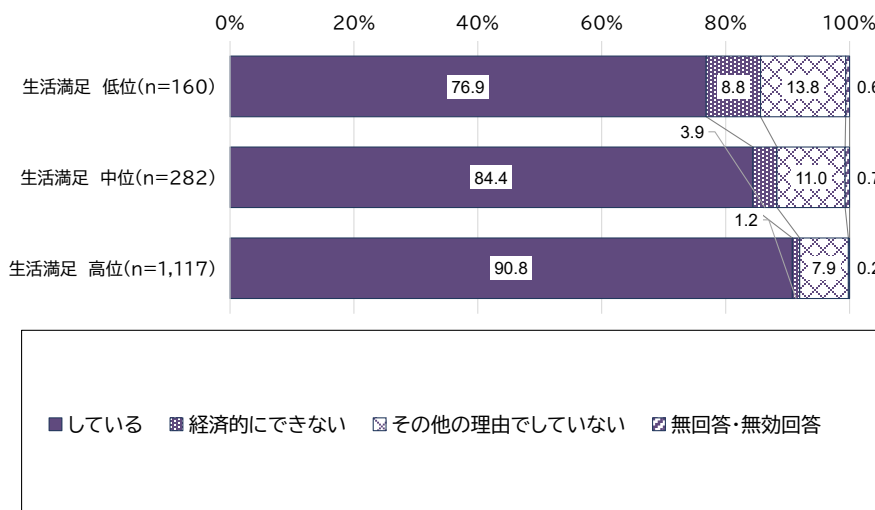
図表 3-64 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-65 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)<sup>23</sup>



図表 3-66 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



<sup>23</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

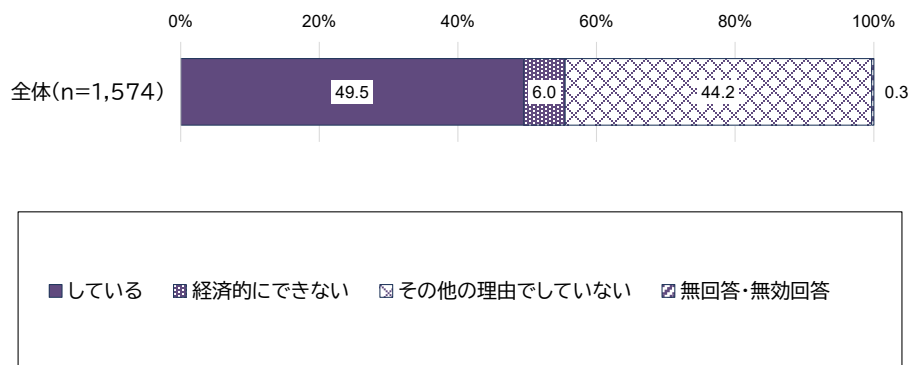


「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」は、「経済的にできない」が6.0%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「経済的にできない」が17.4%であった。  
 困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が63.6%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「経済的にできない」が21.3%であった。

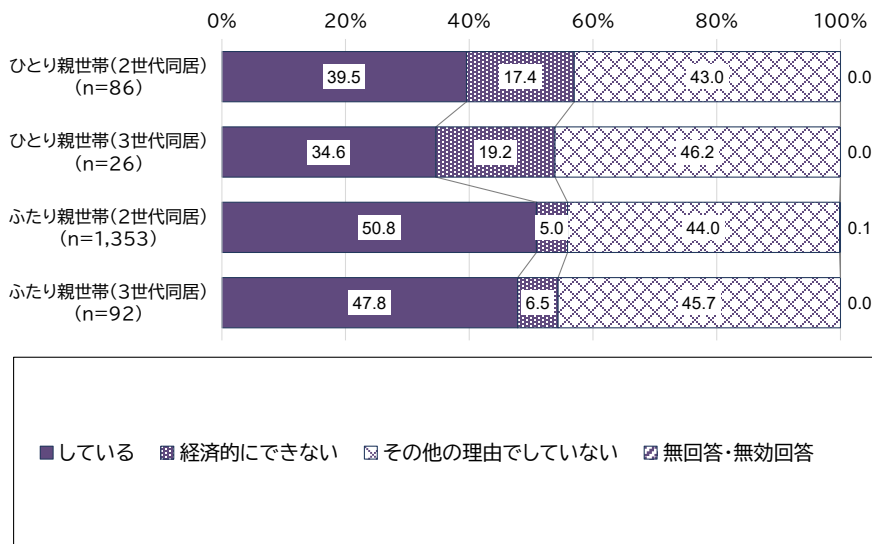
【小学5年生保護者問 10D】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

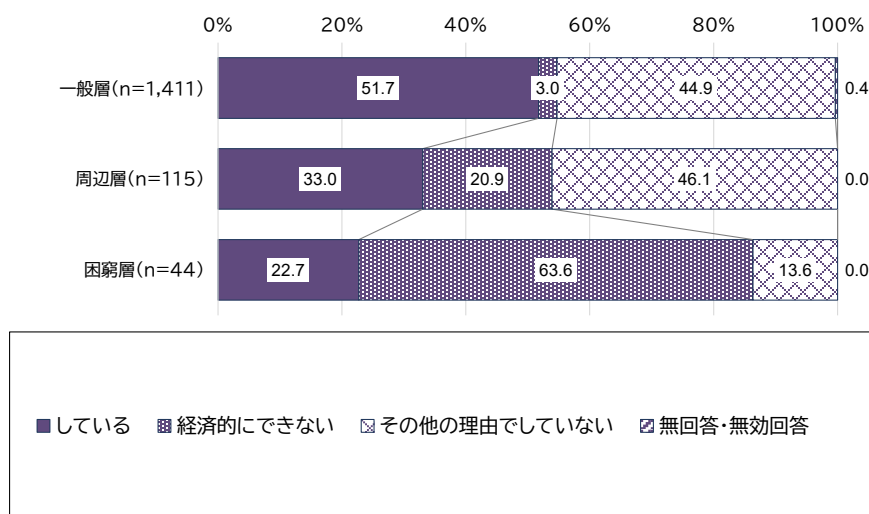
図表 3-67 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (単純集計)



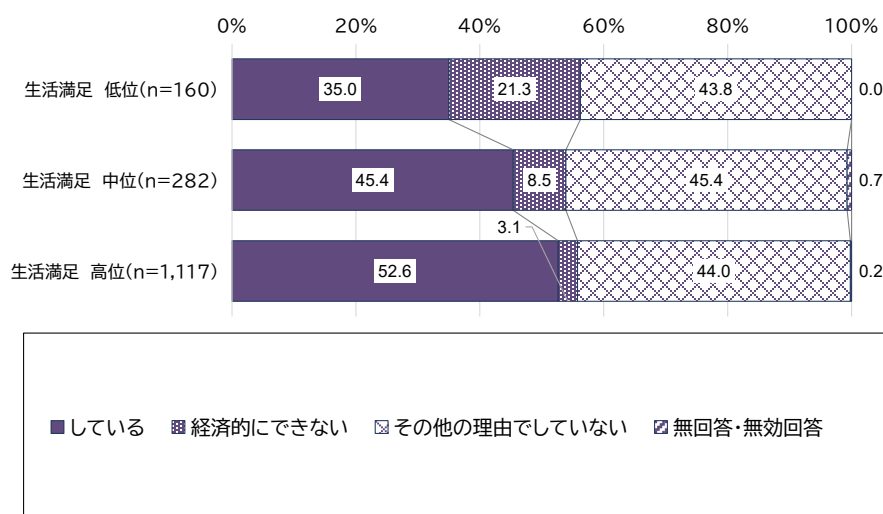
図表 3-68 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-69 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況  
(生活困難層別クロス集計)<sup>24</sup>



図表 3-70 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況  
(生活満足度別クロス集計)



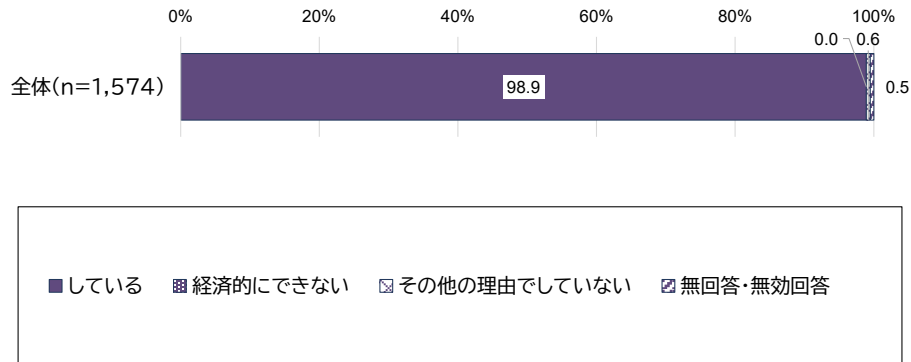
<sup>24</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「お誕生日のお祝いをする」は、「経済的にできない」は0.0%であった。

【小学5年生保護者問 10E】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 3-71 「お誕生日のお祝いをする」の実施状況 (単純集計)



「1年に1回くらい家族旅行に行く」は、「経済的にできない」が5.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「経済的にできない」が18.6%であった。

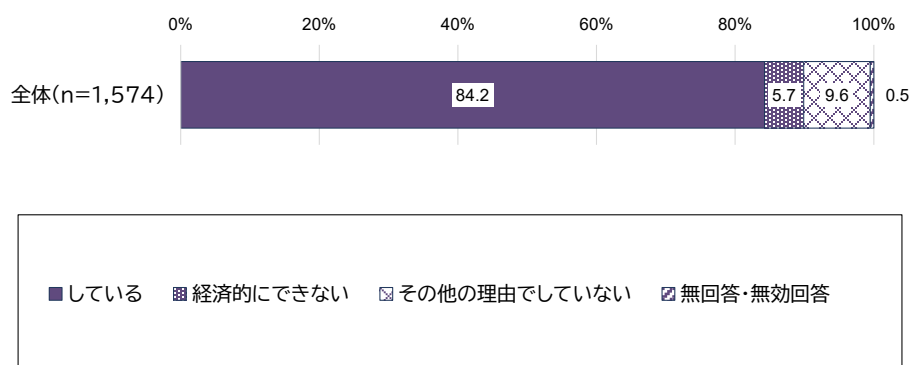
困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が65.9%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「経済的にできない」が19.4%であった。

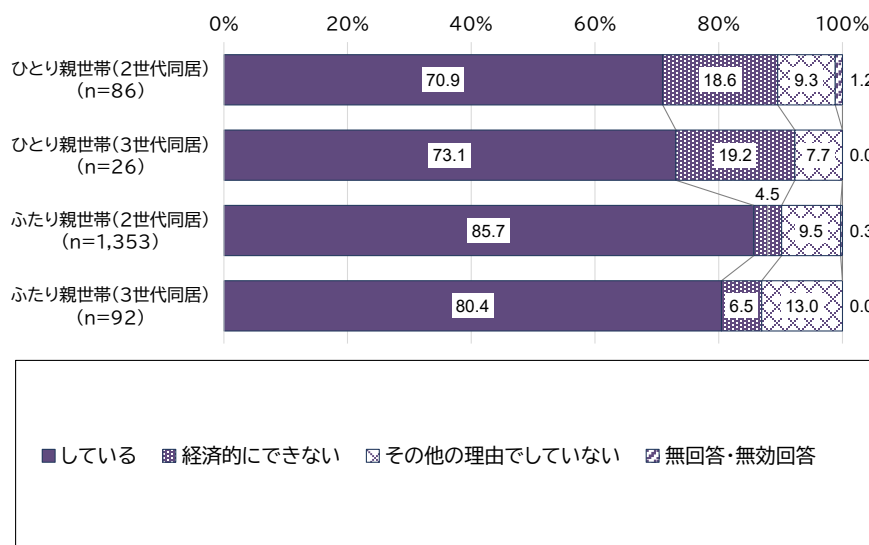
【小学5年生保護者問 10F】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

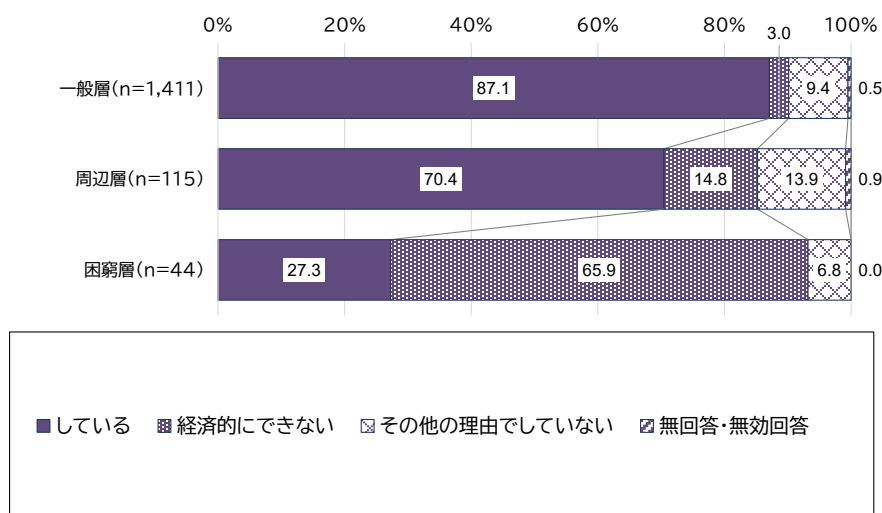
図表 3-72 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況 (単純集計)



図表 3-73 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

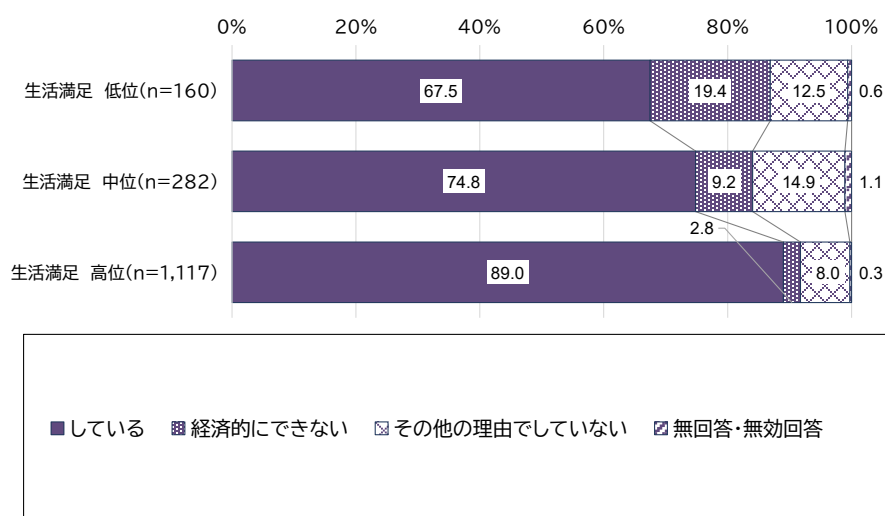


図表 3-74 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>25</sup>



<sup>25</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-75 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

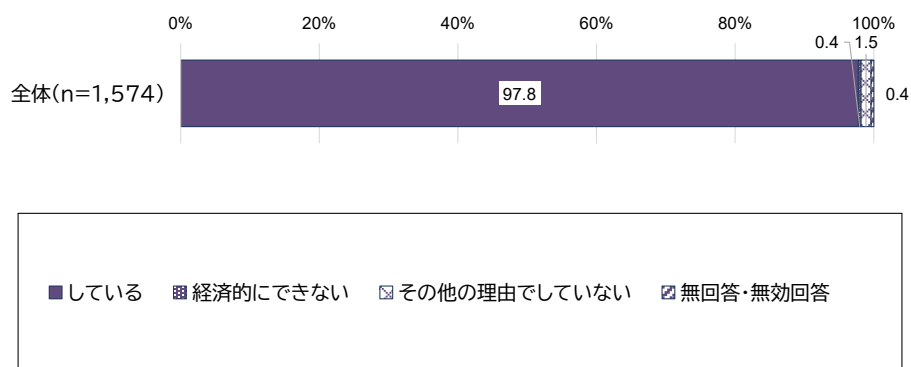


「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」は、「経済的にできない」が0.4%であった。

【小学5年生保護者問 10G】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（単一回答）

図表 3-76 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」の実施状況（単純集計）

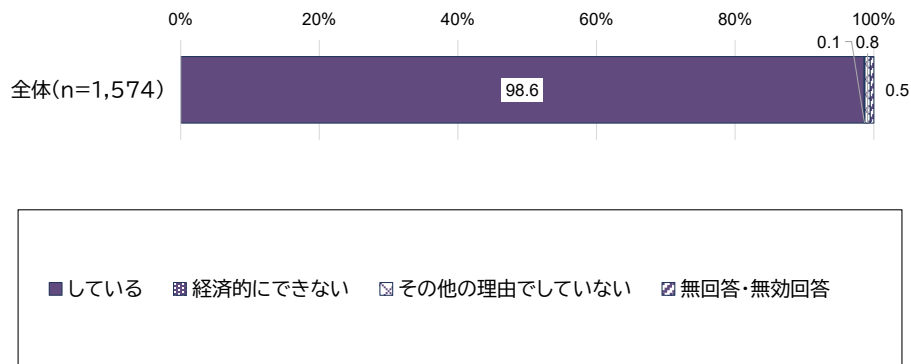


「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」は、「経済的にできない」は0.1%であった。  
 困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が4.5%であった。

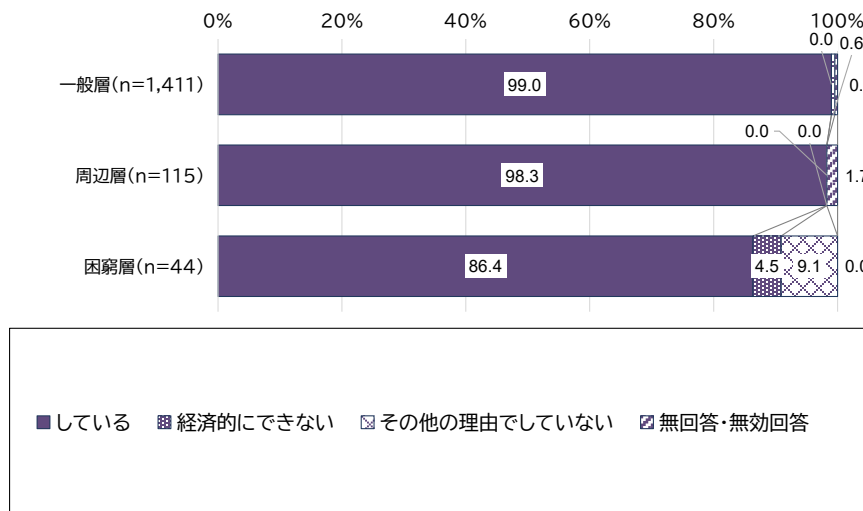
【小学5年生保護者問 10H】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 3-77 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（単純集計）



図表 3-78 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



## ク 経済的理由で世帯にないもの

経済的理由のために世帯にないものを尋ねたところ、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 78.7%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 5.1%、「自家用車」が 4.4%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 2.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 53.5%であった。世帯にないものに関する回答では、「自家用車」が 27.9%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 15.1%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 12.8%であった。

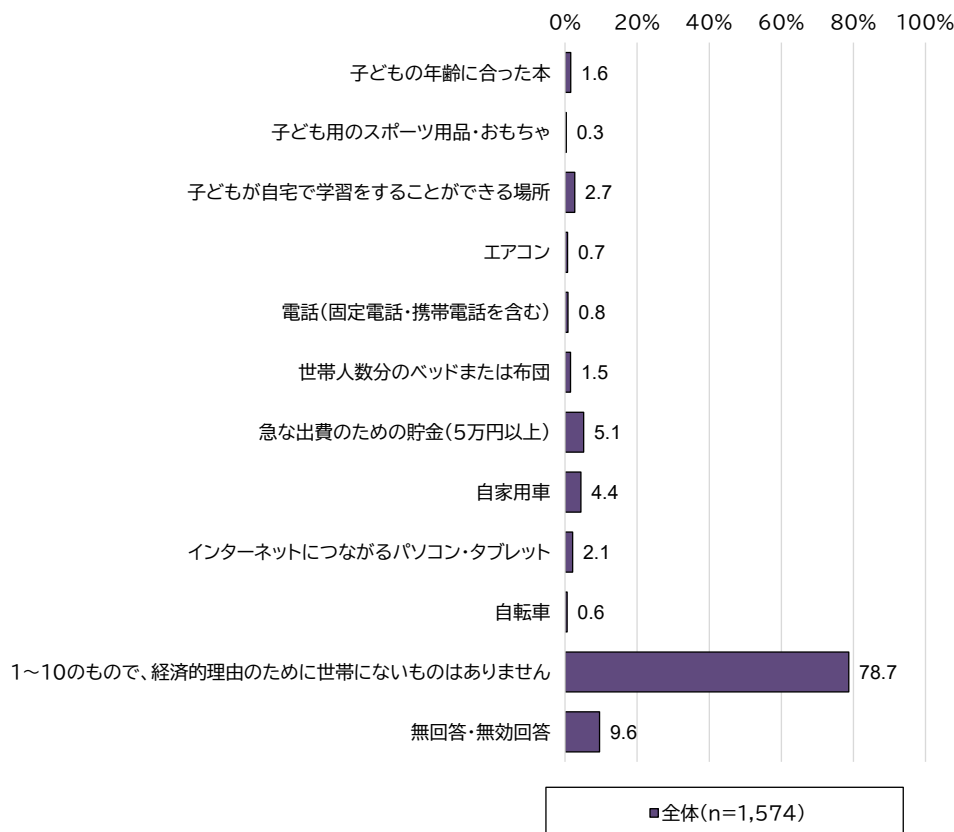
困窮層(n=44)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 15.9%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 61.4%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 36.4%、「インターネットにつながるパソコン・タブレット」が 31.8%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 59.4%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 22.5%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 11.9%、「自家用車」が 10.6%であった。

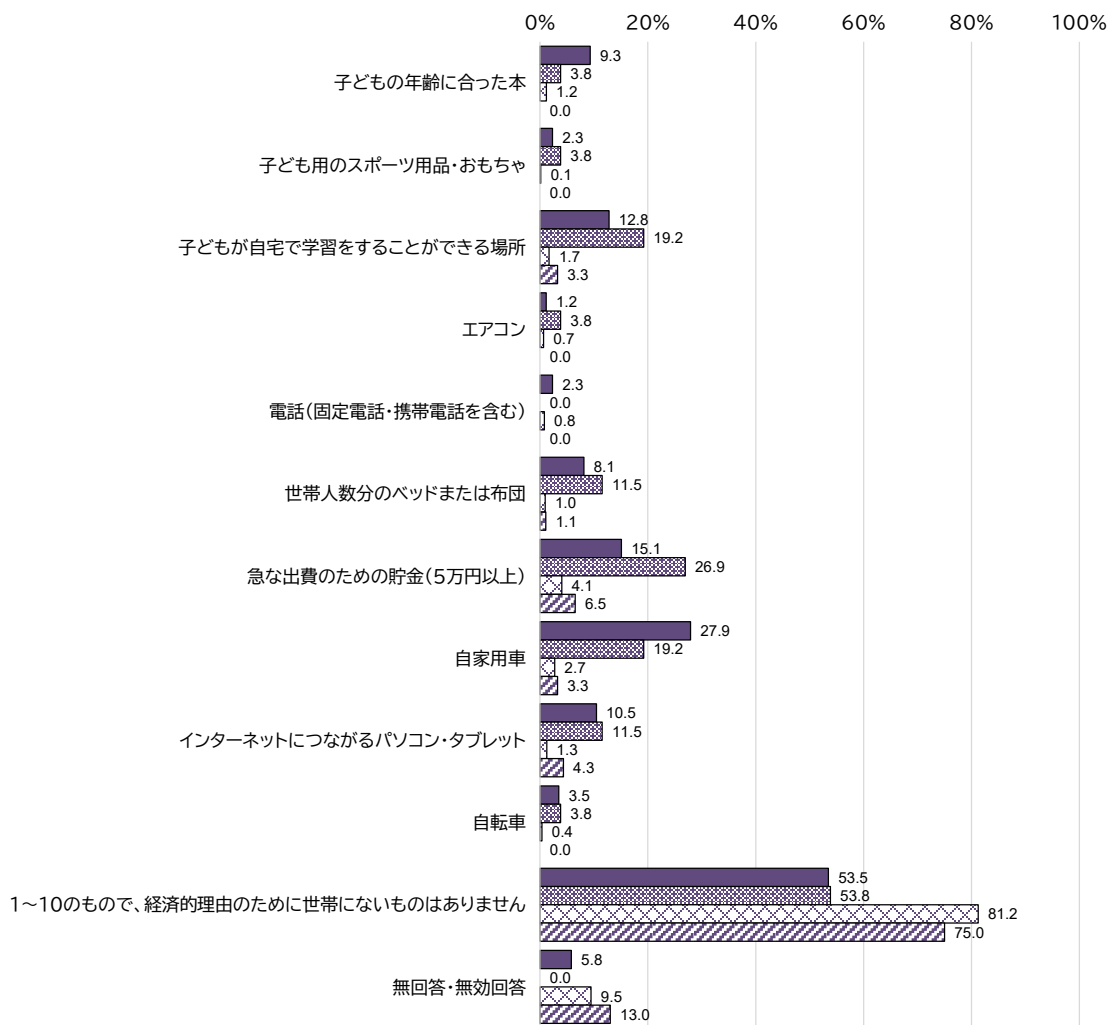
### 【小学5年生保護者問 11】

次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。(複数回答)

図表 3-79 経済的理由で世帯にないもの (単純集計)



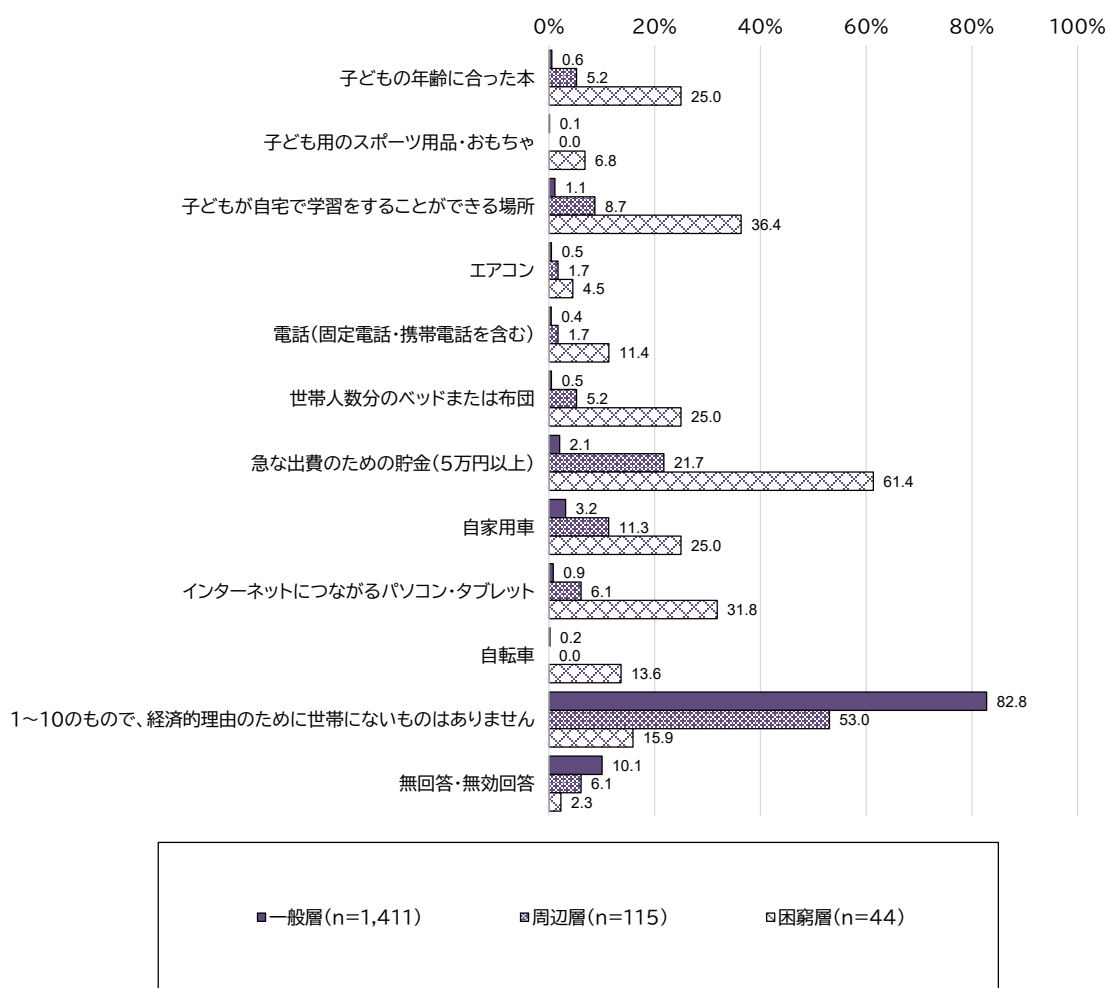
図表 3-80 経済的理由で世帯にないもの（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)      ▨ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)  
 ▨ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,353)      ▩ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

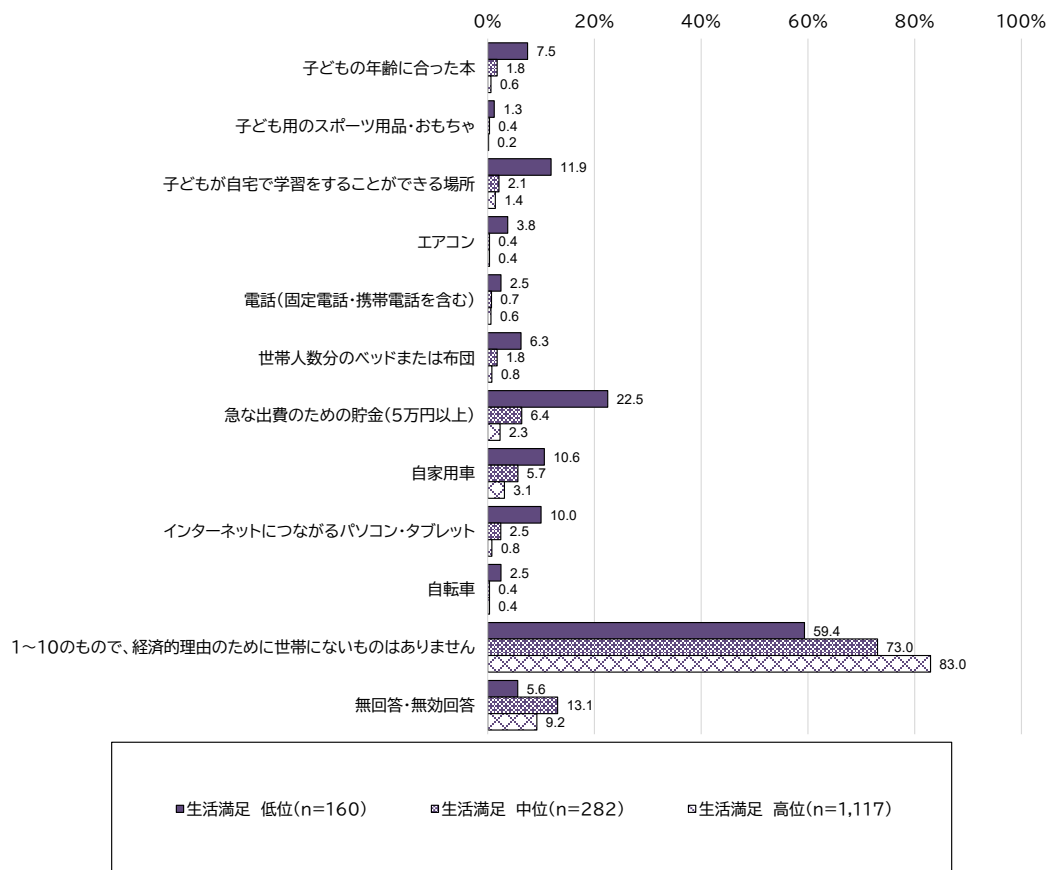


図表 3-81 経済的理由で世帯にないもの（生活困難層別クロス集計）<sup>26</sup>



<sup>26</sup> 「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-82 経済的理由で世帯にないもの（生活満足度別クロス集計）



## ケ 進学への希望

子どもの進学への希望についてみると、「大学またはそれ以上」が 73.6%と最も多く、「まだわからない」が 14.6%、「高専・短大・専門学校等まで」が 7.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「大学またはそれ以上」が 62.8%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」が 16.3%、「まだわからない」が 14.0%であった。

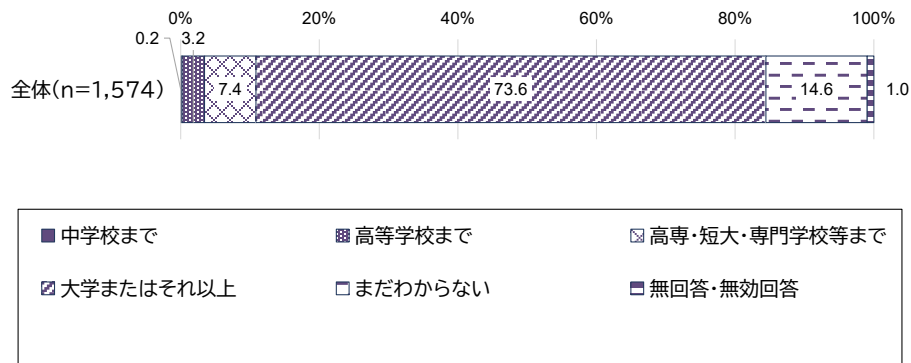
困窮層(n=44)では、「大学またはそれ以上」が 40.9%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」「まだわからない」がともに 20.5%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「大学またはそれ以上」が 59.4%と最も多く、「まだわからない」が 20.0%、「高専・短大・専門学校等まで」が 10.0%であった。

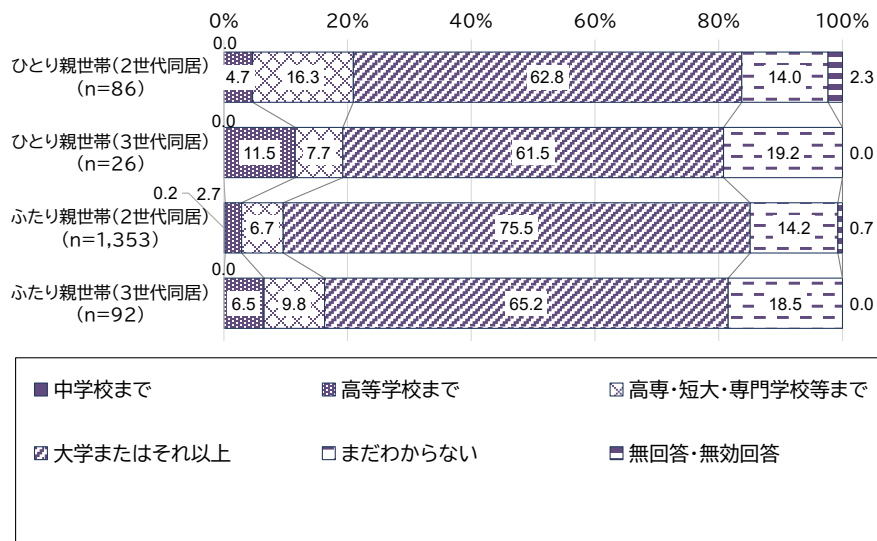
### 【小学5年生保護者問 12】

お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(単一回答)

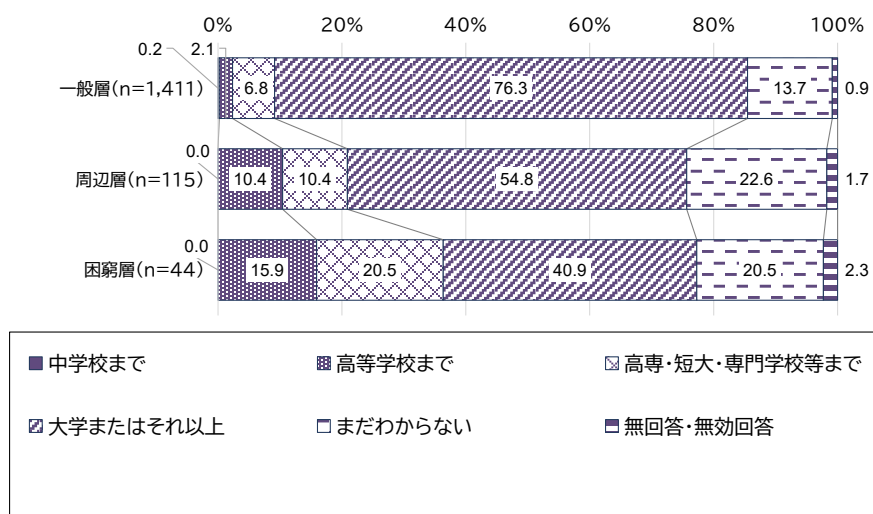
図表 3-83 子どもの進学への希望 (単純集計)



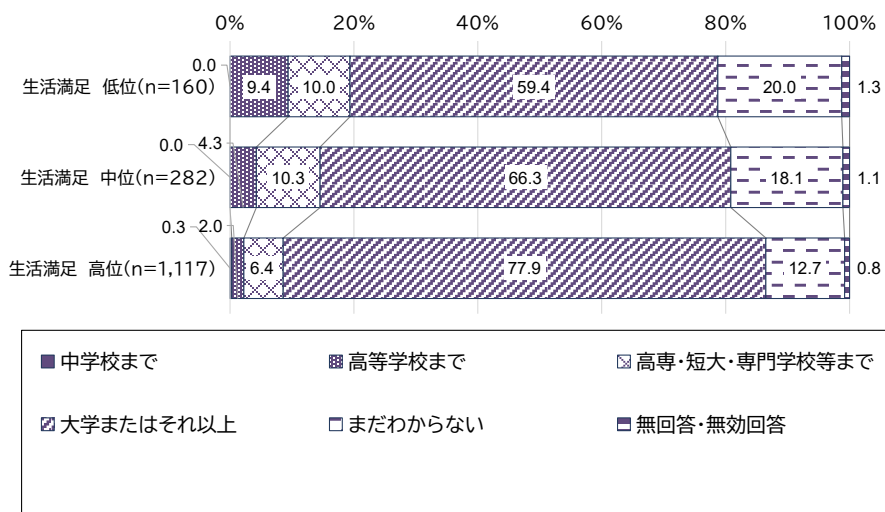
図表 3-84 子どもの進学への希望 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-85 子どもの進学への希望（生活困難層別クロス集計）



図表 3-86 子どもの進学への希望（生活満足度別クロス集計）



## コ 希望どおり進学すると思うか

問 12 で 5(まだわからない)以外の回答をした方に、子どもが希望どおりの学校まで進むことになると思かどうか尋ねたところ、「思う」が 51.5%、「わからない」が 45.7%、「思わない」が 2.3%であった。

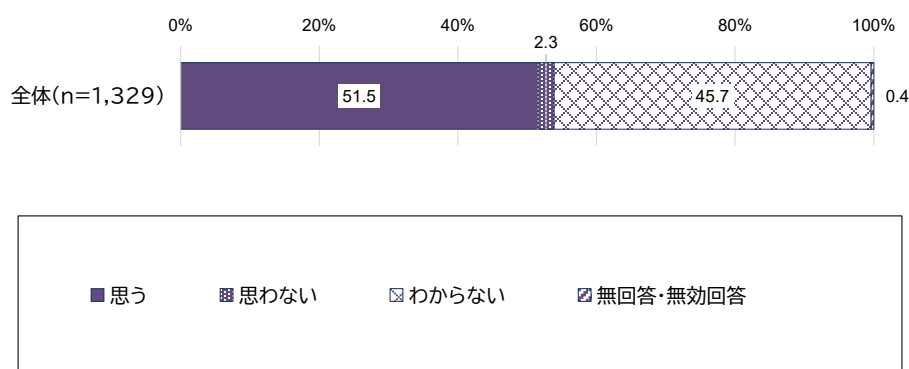
困窮層(n=34)では、「わからない」が 64.7%と最も多く、「思う」が 29.4%、「思わない」が 5.9%であった。

生活満足 低位(n=126) では、「わからない」が 61.1%と最も多く、「思う」が 32.5%、「思わない」が 6.3%であった。

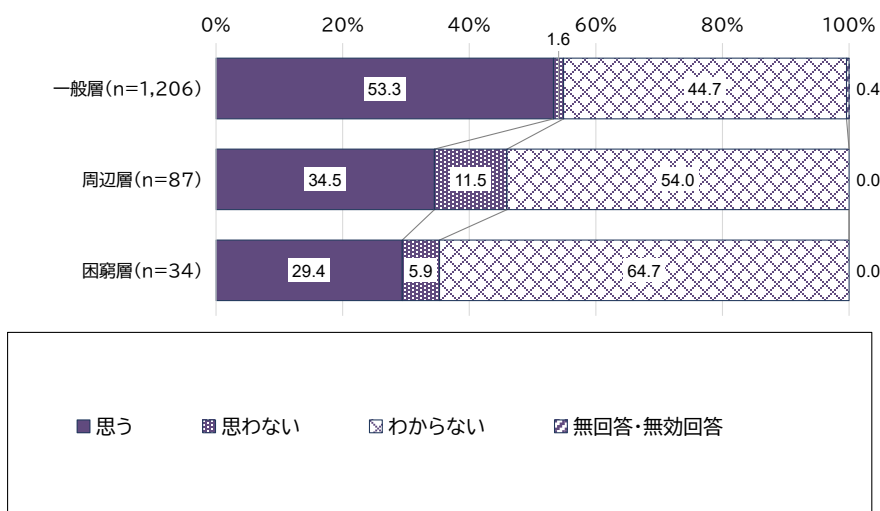
### 【小学5年生保護者問 12-1】

問 12 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。あなたは、お子さんが問 12 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(単一回答)

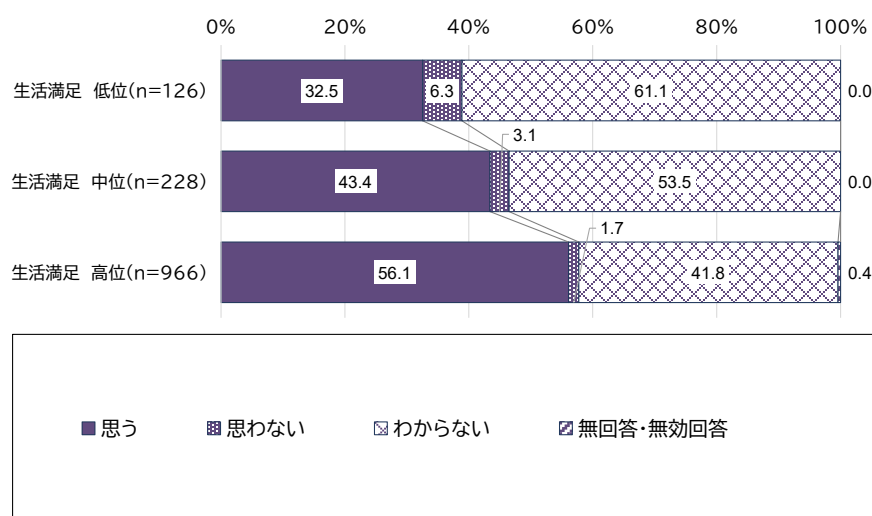
図表 3-87 希望どおり進学すると思うか（単純集計）



図表 3-88 希望どおり進学すると思うか（生活困難層別クロス集計）



図表 3-89 希望どおり進学すると思うか（生活満足度別クロス集計）



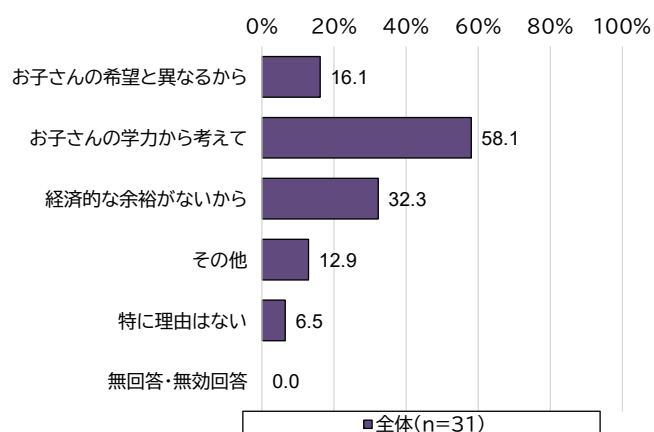
### サ 希望どおりの学校に進まないと思う理由

問 12-1で2(思わない)を選んだ方に、その理由について尋ねたところ、「お子さんの学力から考えて」が 58.1%と最も多く、「経済的な余裕がないから」が 32.3%、「お子さんの希望と異なるから」が 16.1%であった。

#### 【小学5年生保護者問 12-2】

問 12-1で「2. 思わない」を選んだ方にうかがいます。その理由について教えてください。(複数回答)

図表 3-90 希望どおりの学校に進まないと思う理由（単純集計）



## シ 子育てに関する悩みごと

子育てに関する悩みごとについて尋ねたところ、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が38.9%であった。悩み事の項目としては、「子どもの進学や受験が心配」が29.5%と最も多く、「子どもの教育費」が26.5%、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が身につけていない」が14.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が22.1%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が51.2%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が34.9%、「子どもの心身の発達や病気」が22.1%であった。

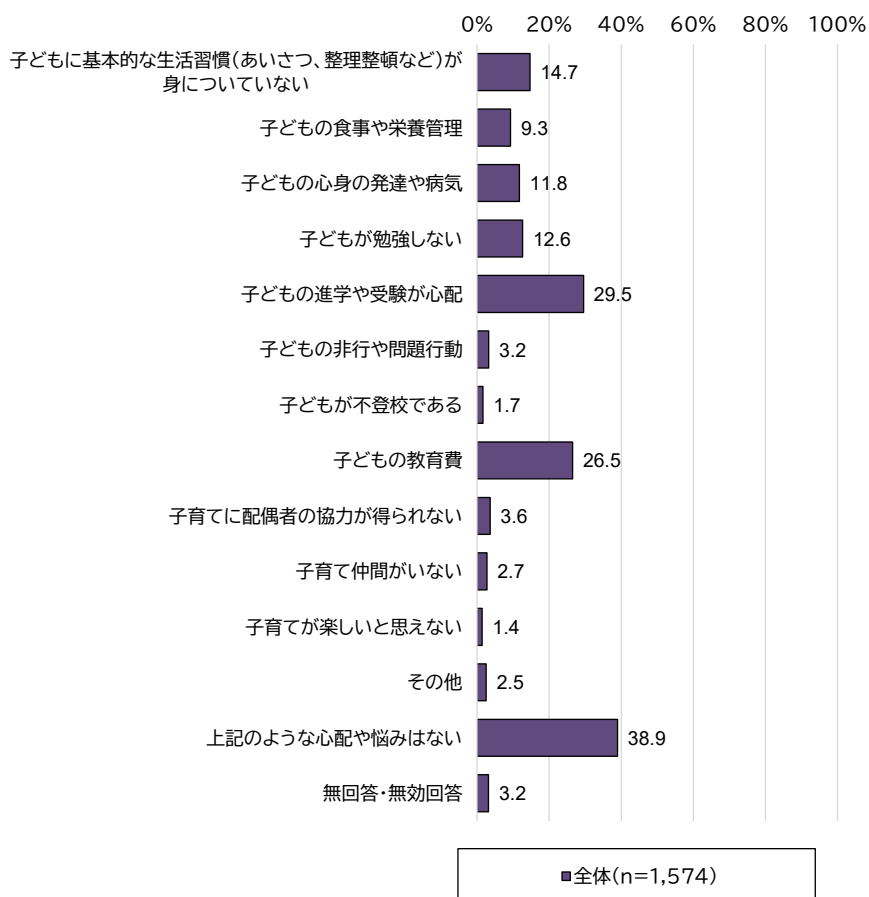
困窮層(n=44)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が9.1%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が81.8%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が34.1%、「子どもの心身の発達や病気」が29.5%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が12.5%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が58.8%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が46.9%、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が身につけていない」が29.4%であった。

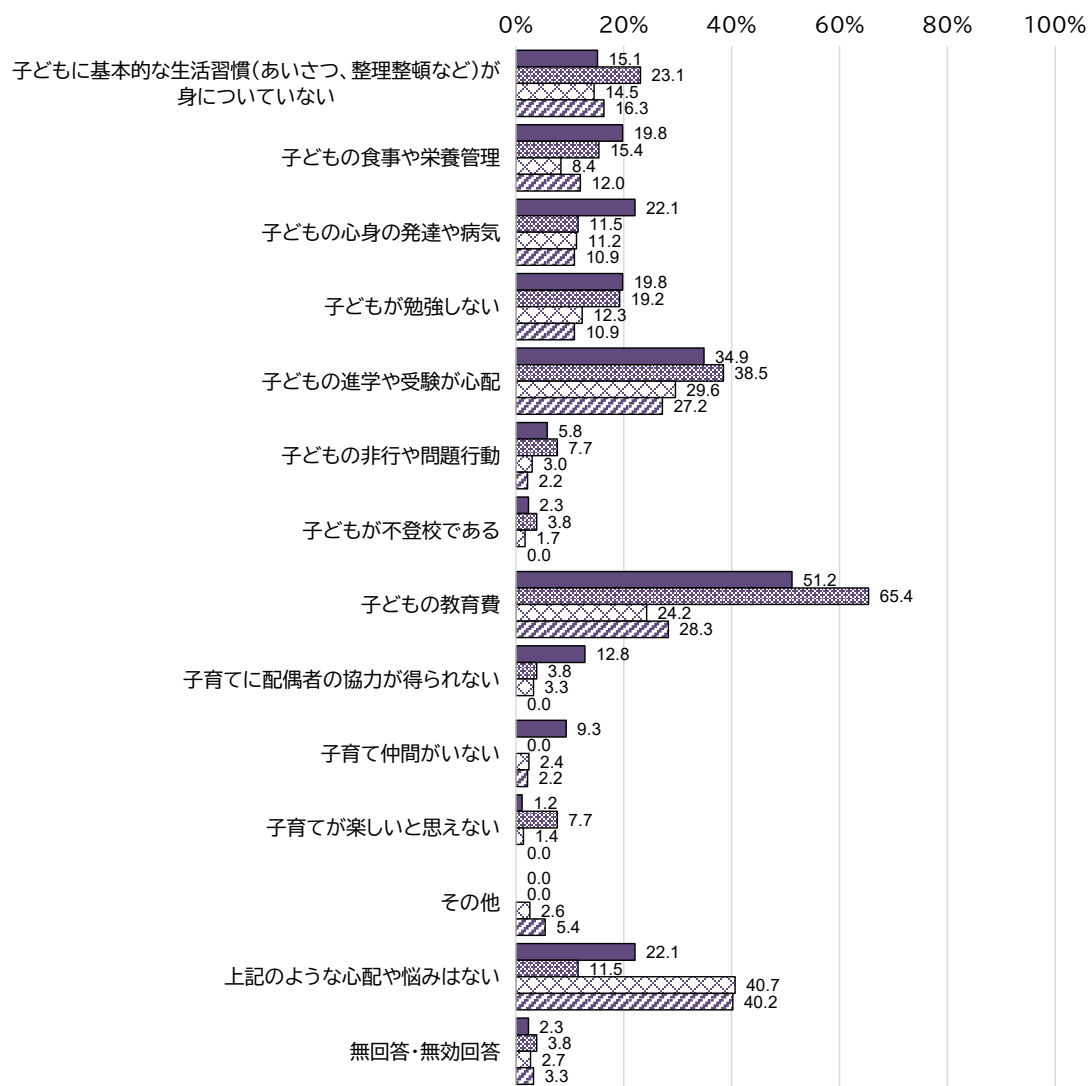
### 【小学5年生保護者問 13】

この調査票を受け取ったお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(複数回答)

図表 3-91 子育てに関する悩みごと (単純集計)



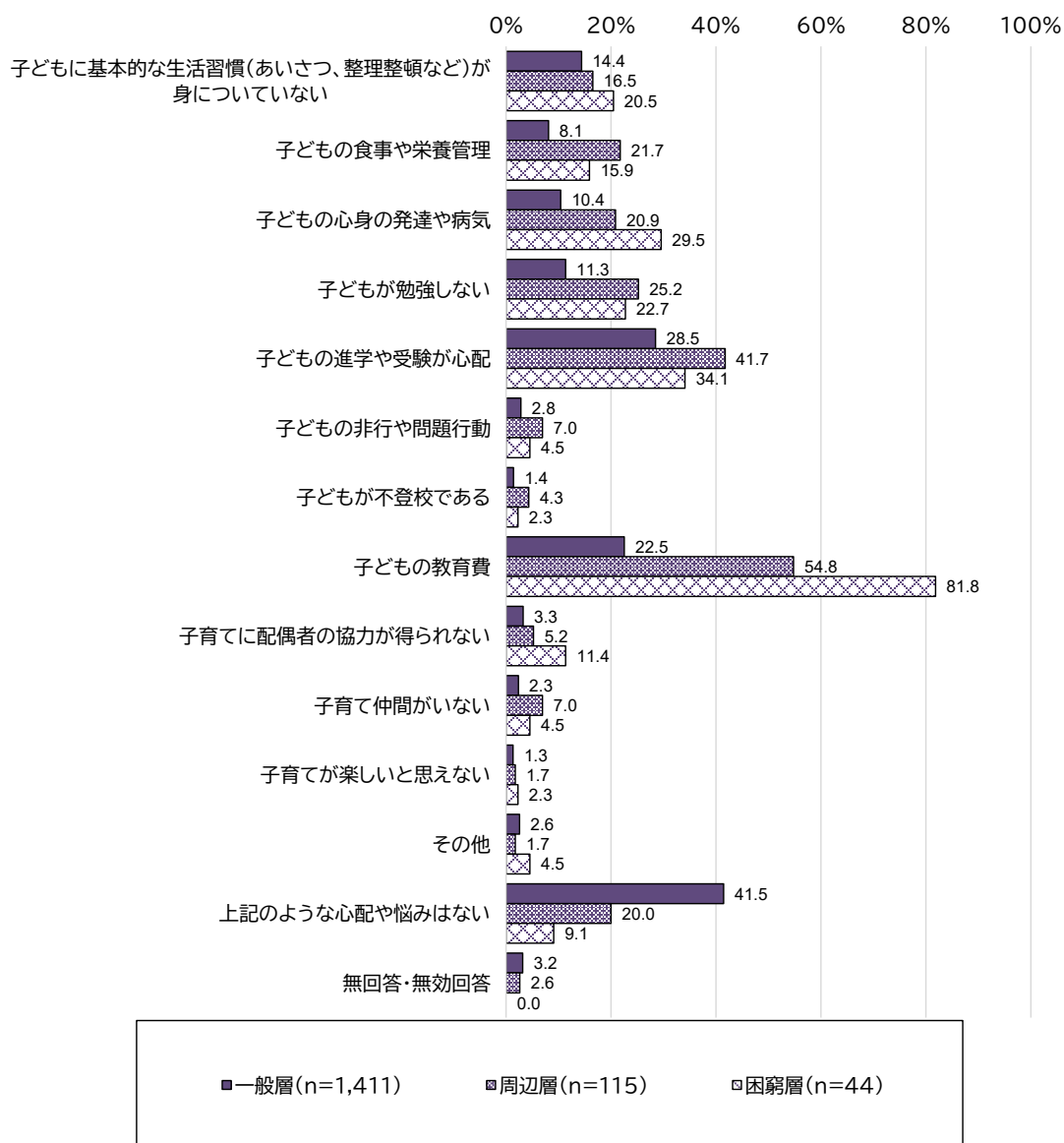
図表 3-92 子育てに関する悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）



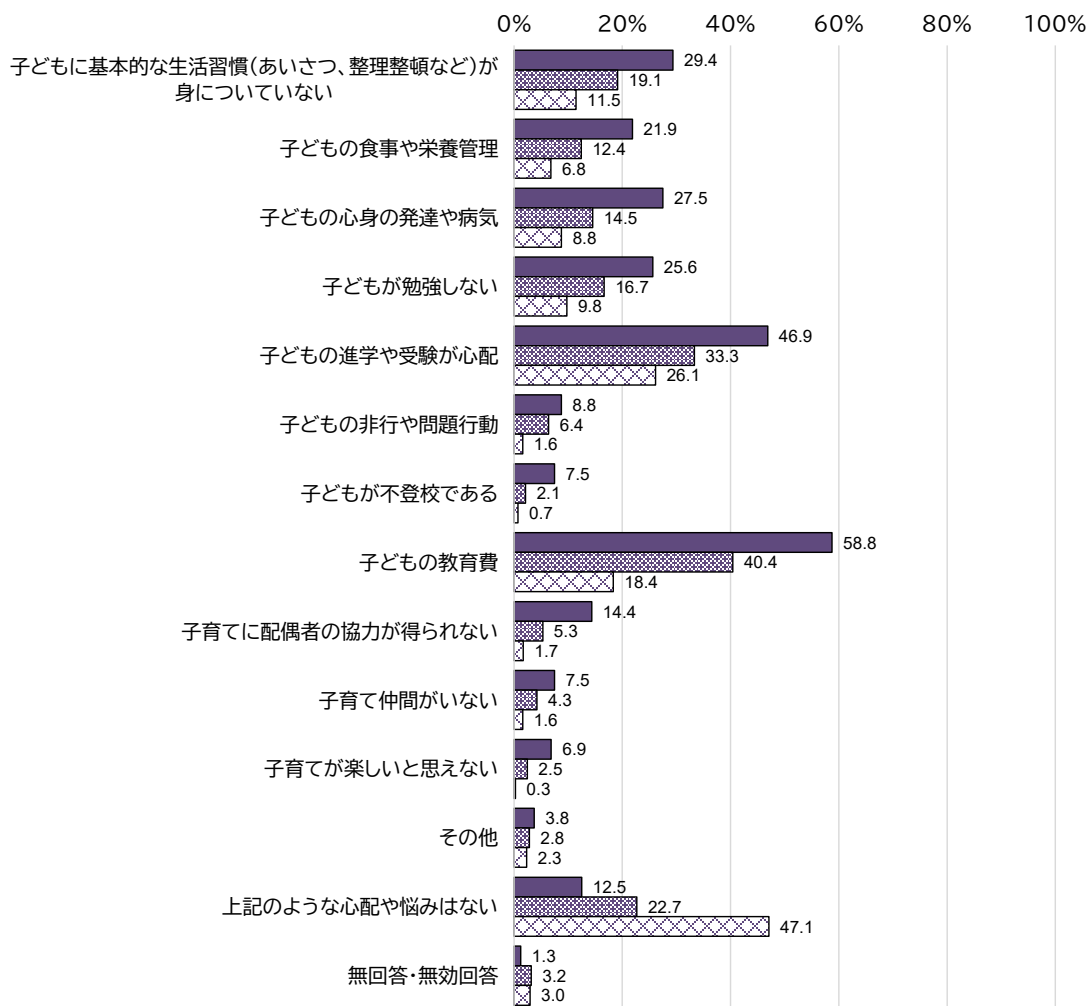
■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)      ■ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)  
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,353)      □ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)



図表 3-93 子育てに関する悩みごと（生活困難層別クロス集計）



図表 3-94 子育てに関する悩みごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=160) □生活満足 中位(n=282) ▨生活満足 高位(n=1,117)

## (4) あなたのことについてうかがいます

### ア 婚姻状況

回答者本人の婚姻状況について、「結婚している(事実婚を含む)」が 92.1%、「離婚(別居中を含む)」が 5.9%、「死別」が 0.8%であった。

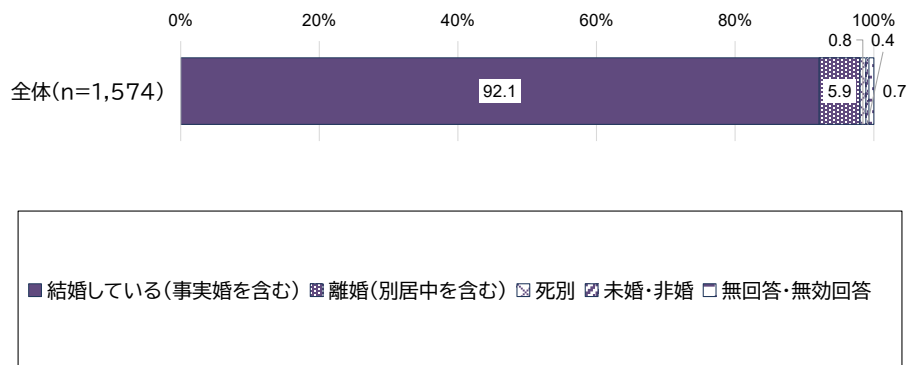
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「離婚(別居中を含む)」が 82.6%と最も多く、「死別」が 14.0%、「未婚・非婚」が 3.5%であった。

困窮層(n=44)では、「結婚している(事実婚を含む)」が 54.5%と最も多く、「離婚(別居中を含む)」が 40.9%、「死別」「未婚・非婚」がともに 2.3%であった。

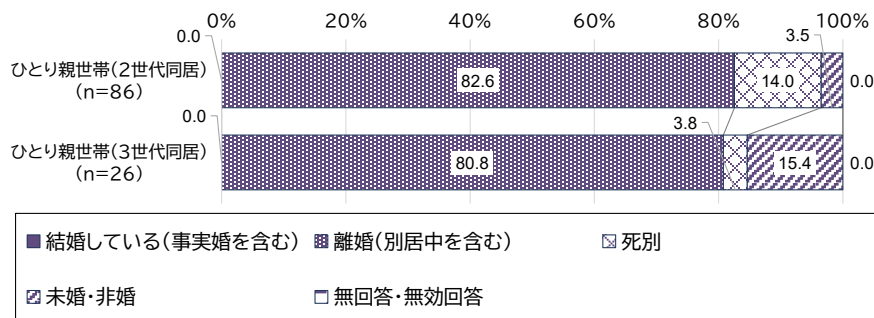
#### 【小学5年生保護者問 14】

現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(単一回答)

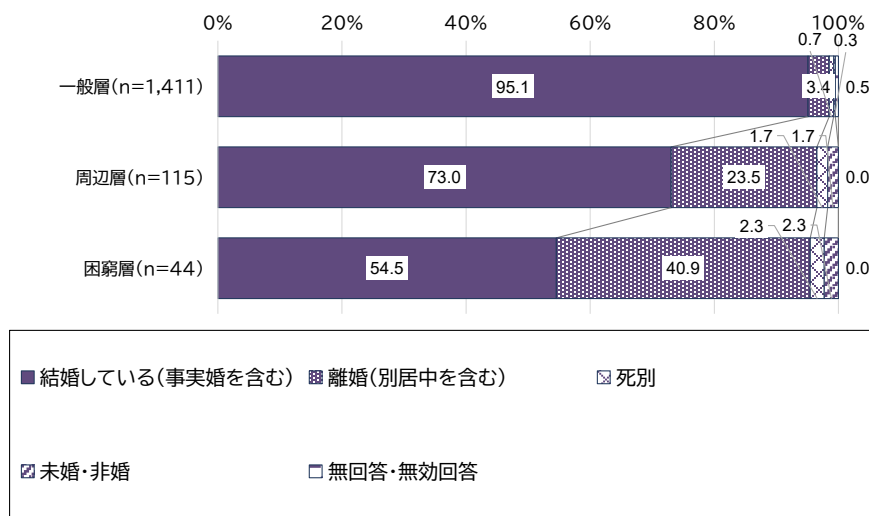
図表 3-95 回答者の婚姻状況 (単純集計)



図表 3-96 回答者の婚姻状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-97 回答者の婚姻状況（生活困難層別クロス集計）



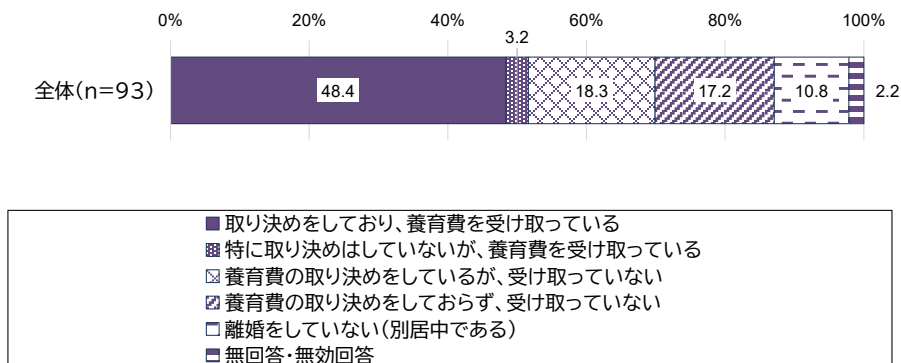
## イ 養育費の取り決め

問 14 で2(「離婚(別居中を含む)」)と回答した方に、離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしているかどうかについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が 48.4%と最も多く、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が 18.3%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 17.2%であった。

【小学5年生保護者問 14-1】

問 14 で、「2. 離婚(別居中を含む)」を選んだ方にうかがいます。離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。(単一回答)

図表 3-98 離婚した相手との、子どもの養育費の取り決めの有無（単純集計）



## ウ 健康状態に関する認識

回答者の健康状態については、「よい」が 45.0%と最も多く、「まあよい」が 25.3%、「ふつう」が 22.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「よい」が 38.4%と最も多く、「ふつう」が 25.6%、「まあよい」が 20.9%であった。

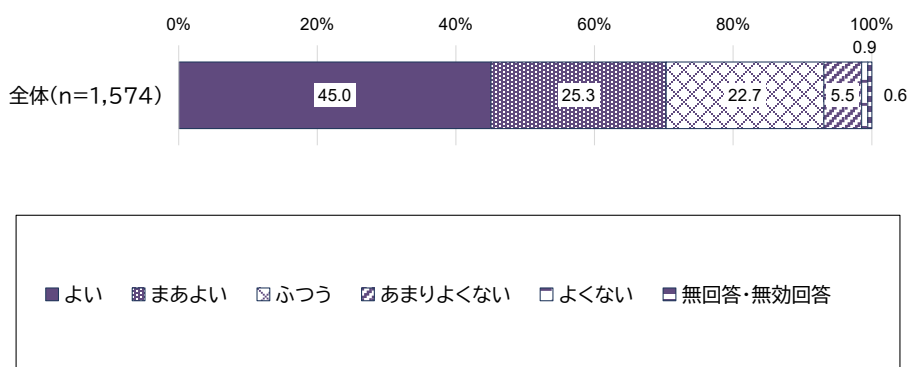
困窮層(n=44)では、「ふつう」が 34.1%と最も多く、「あまりよくない」が 29.5%、「まあよい」が 15.9%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「ふつう」が 38.1%と最も多く、「まあよい」が 23.8%、「あまりよくない」が 18.8%であった。

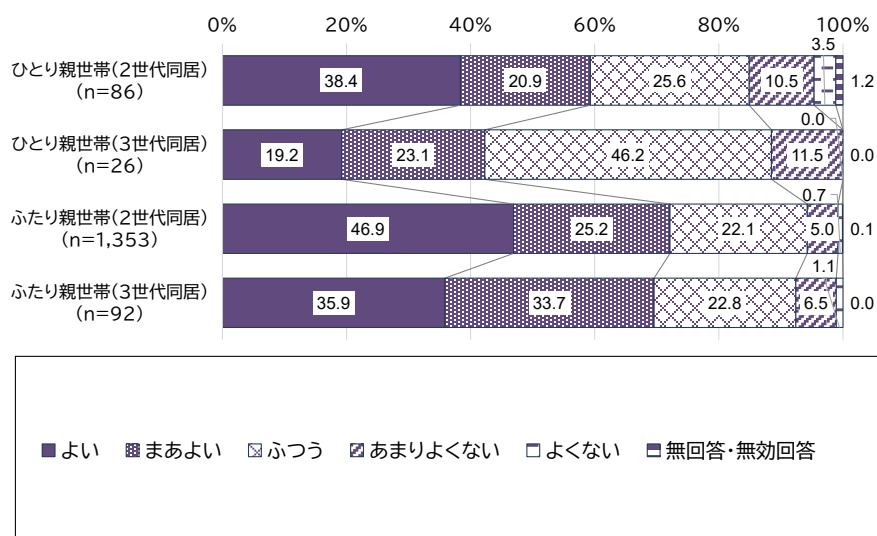
### 【小学5年生保護者問 15】

あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。(単一回答)

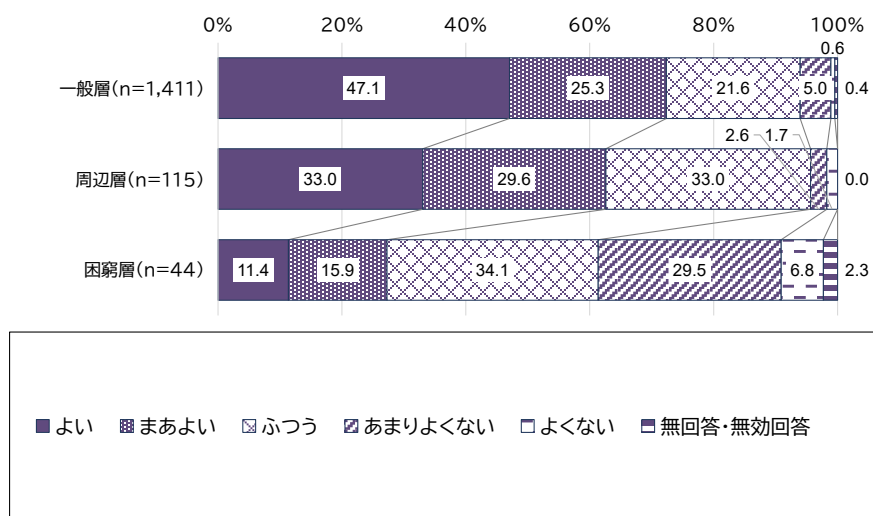
図表 3-99 回答者の健康状態に関する認識 (単純集計)



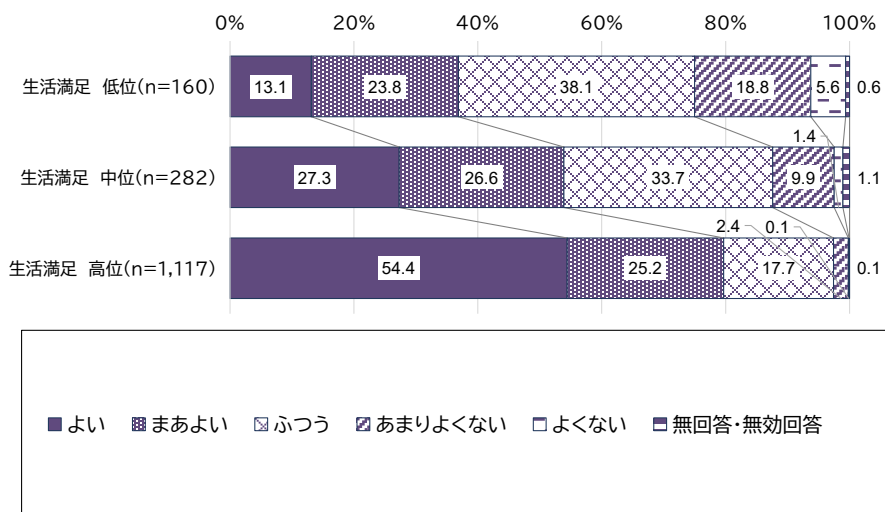
図表 3-100 回答者の健康状態に関する認識 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-101 回答者の健康状態に関する認識（生活困難層別クロス集計）



図表 3-102 回答者の健康状態に関する認識（生活満足度別クロス集計）



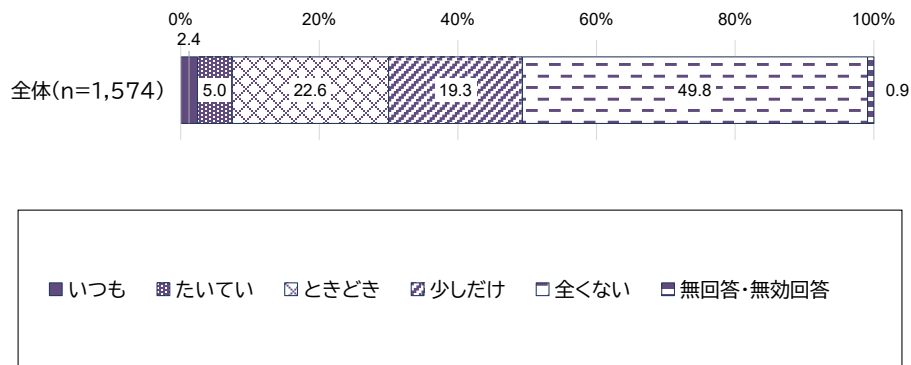
## エ 過去1か月間のこころの状態

「神経過敏に感じましたか」は、「全くない」が49.8%であった。

【小学5年生保護者問 16A】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-103 「神経過敏に感じましたか」の頻度 (単純集計)

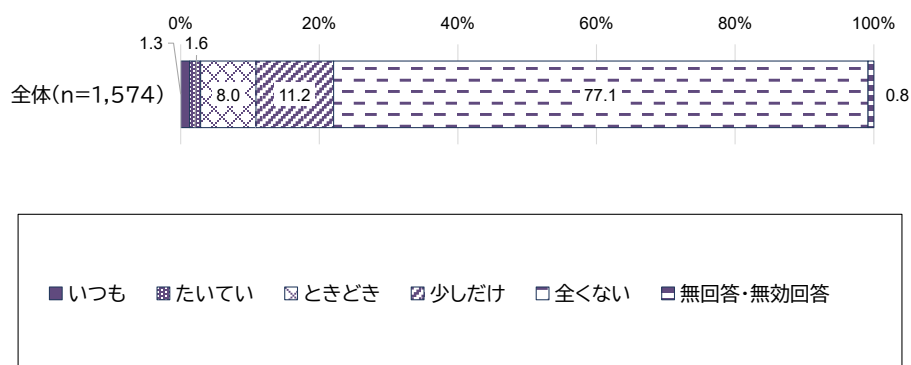


「絶望的だと感じましたか」は、「全くない」が77.1%であった。

【小学5年生保護者問 16B】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-104 「絶望的だと感じましたか」の頻度 (単純集計)

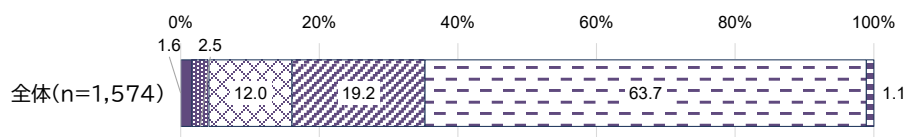


「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」は、「全くない」が63.7%であった。

【小学5年生保護者問 16C】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-105 「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」の頻度 (単純集計)



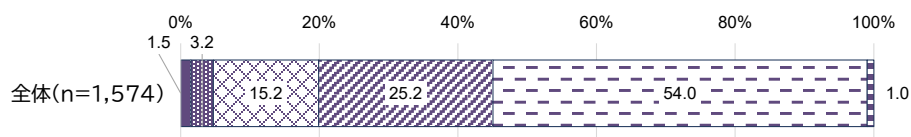
■ いつも ■ たいてい ■ ときどき ■ 少しだけ □ 全くない ■ 無回答・無効回答

「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」は、「全くない」が54.0%であった。

【小学5年生保護者問 16D】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-106 「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」の頻度 (単純集計)



■ いつも ■ たいてい ■ ときどき ■ 少しだけ □ 全くない ■ 無回答・無効回答

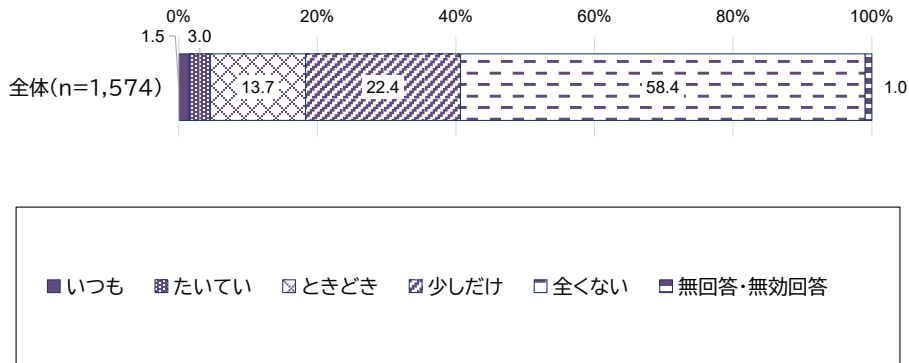


「何をするのも骨折りだと感じましたか」は、「全くない」が 58.4%であった。

【小学5年生保護者問 16E】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-107 「何をするのも骨折りだと感じましたか」の頻度 (単純集計)



「自分は価値のない人間だと感じましたか」は、「全くない」が 74.2%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「全くない」が 60.5%であった。

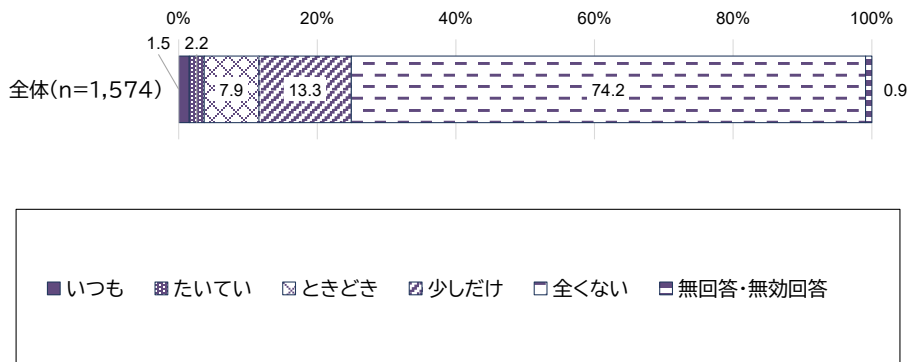
困窮層(n=44)では、「全くない」が 36.4%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「全くない」が 41.3%であった。

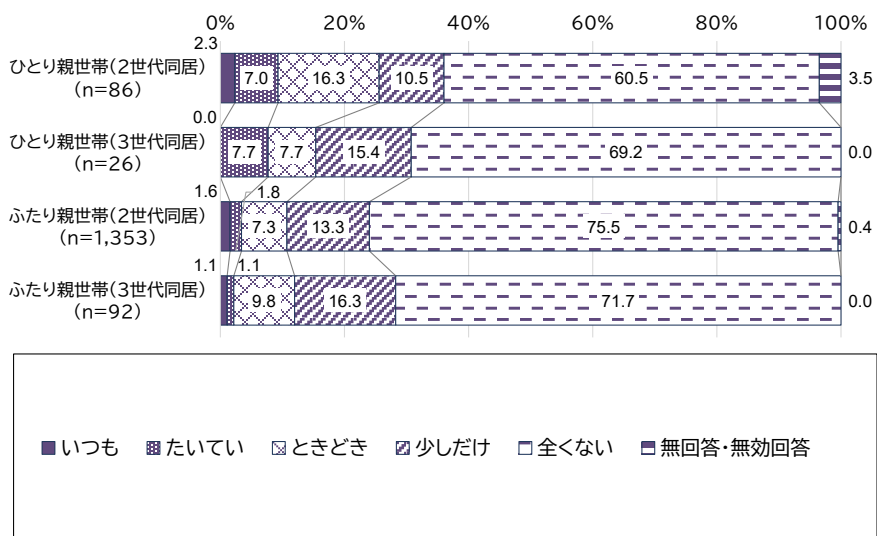
【小学5年生保護者問 16F】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

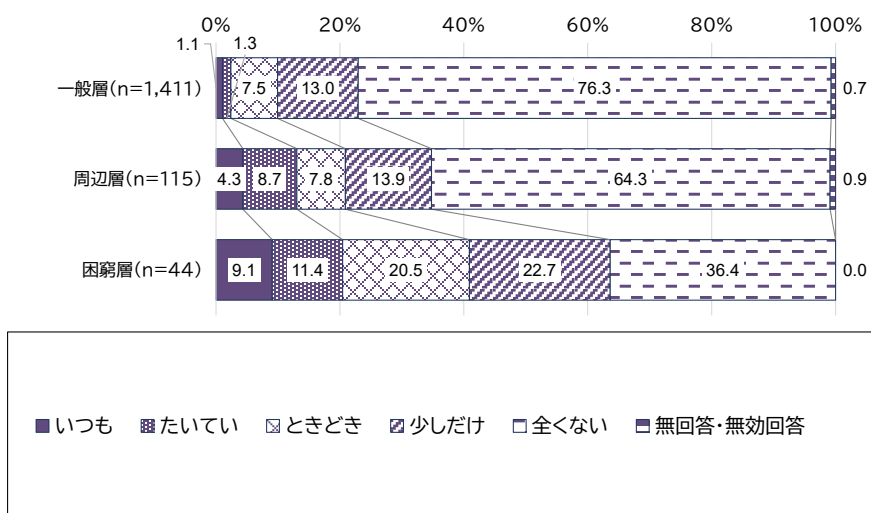
図表 3-108 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度 (単純集計)



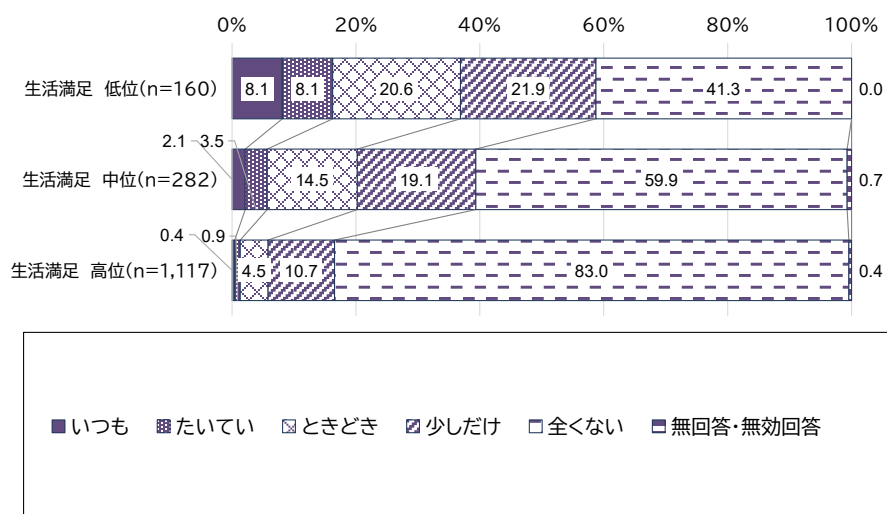
図表 3-109 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-110 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活困難層別クロス集計）



図表 3-111 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活満足度別クロス集計）



### オ 過去1か月間のこころの状態(K6)<sup>27</sup>

過去1か月間のこころの状態(K6)は、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、10.8%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、27.9%であった。

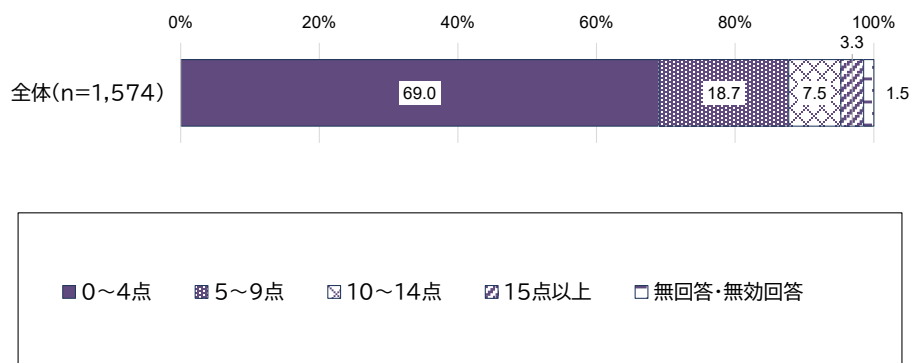
困窮層(n=44)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、50.0%であった。

生活満足 低位(n=160)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、39.4%であった。

#### 【小学5年生保護者 K6 得点】

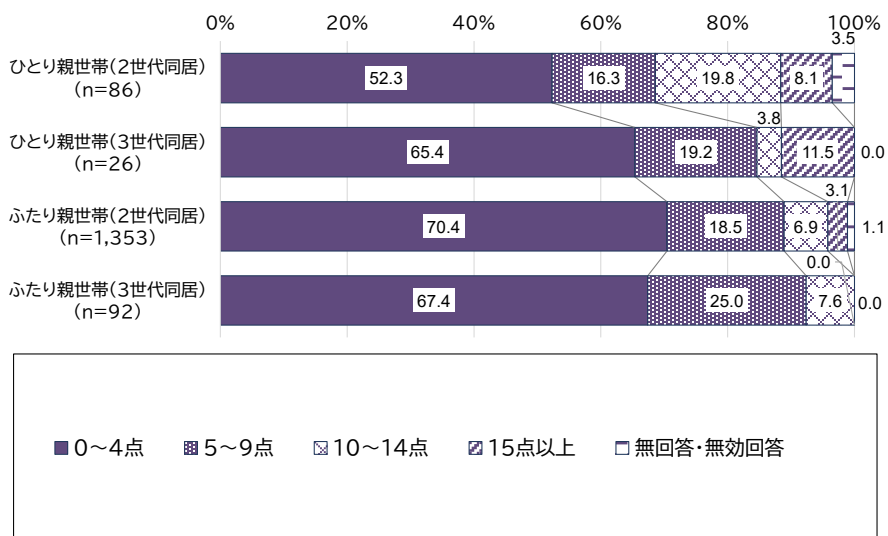
過去1か月間のこころの状態(K6)

図表 3-112 過去1か月間のこころの状態(K6)（単純集計）

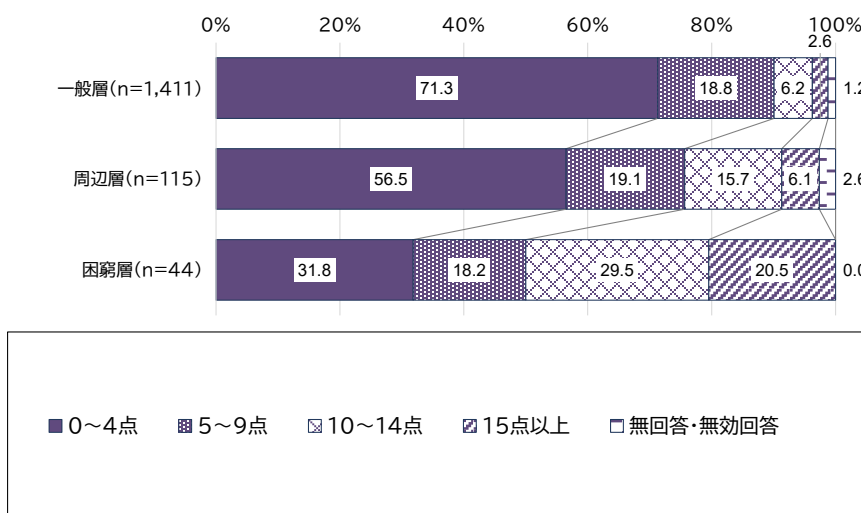


<sup>27</sup> 第1章3節2項アンケート調査結果の見方参照

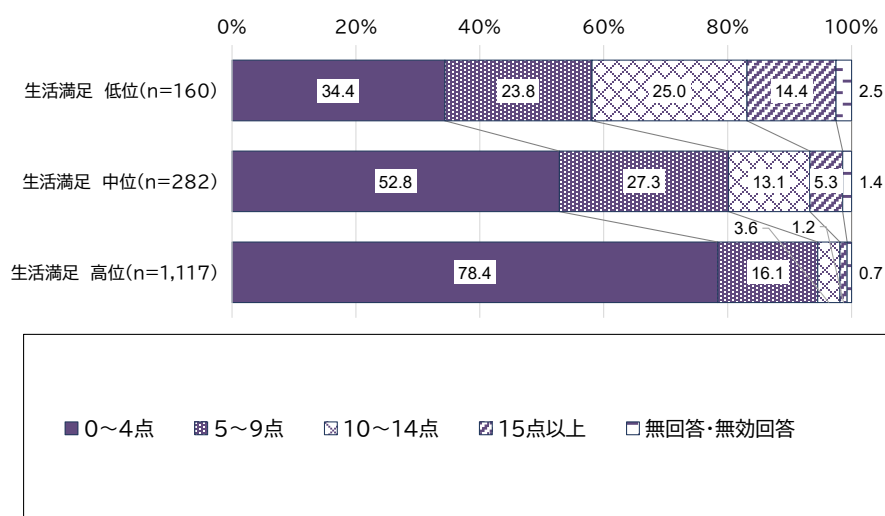
図表 3-113 過去1か月間のこころの状態(K6) (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-114 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活困難層別クロス集計)



図表 3-115 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活満足度別クロス集計)



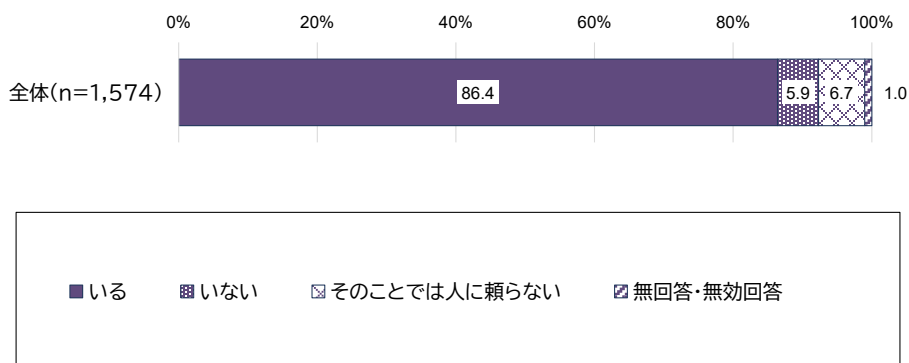
## カ 支えてくれる人・手伝ってくれる人

「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」についてみると、「いない」が 5.9%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が 19.8%であった。  
 困窮層(n=44)では、「いない」が 20.5%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が 20.0%であった。

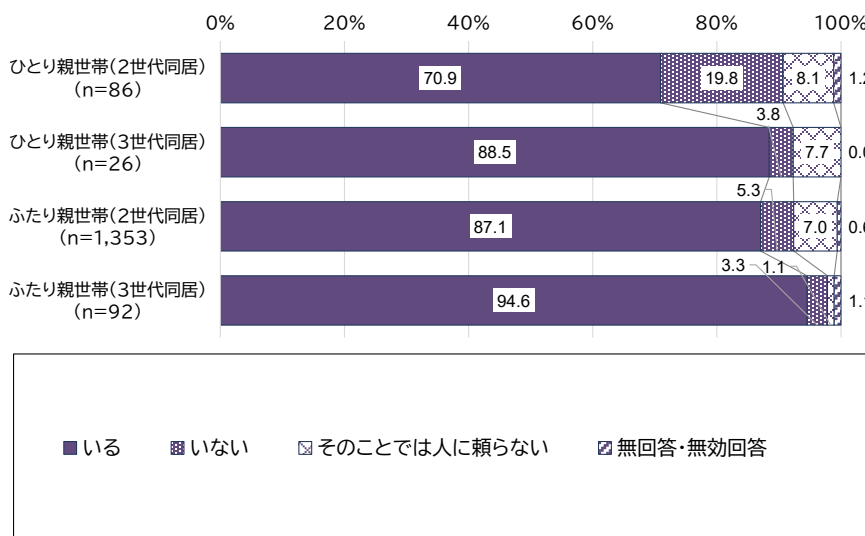
### 【小学5年生保護者問 17A】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

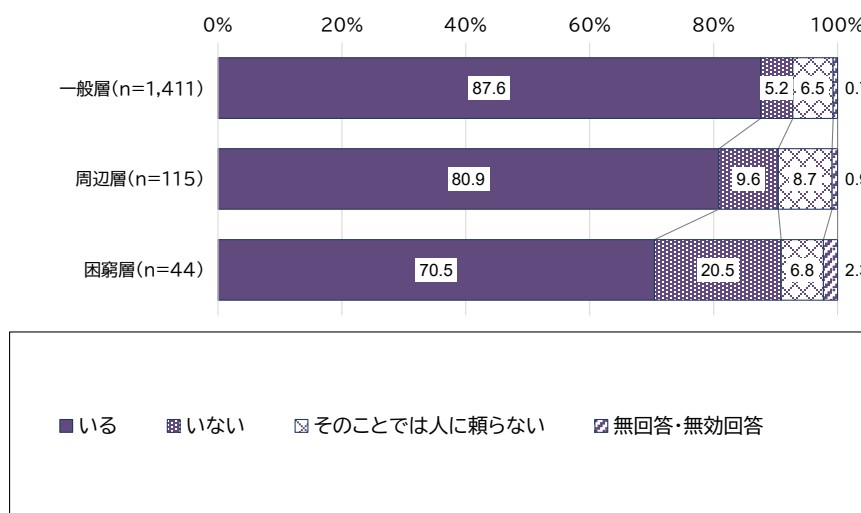
図表 3-116 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無 (単純集計)



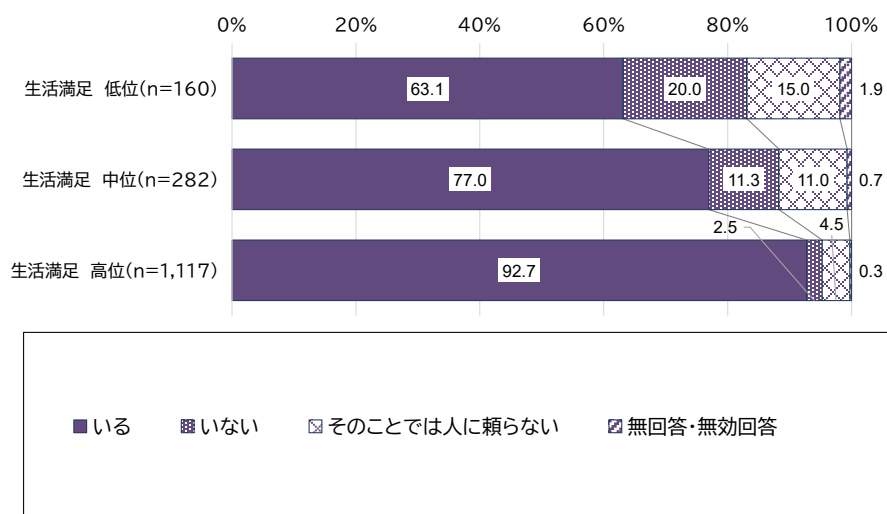
図表 3-117 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-118 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-119 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活満足度別クロス集計）

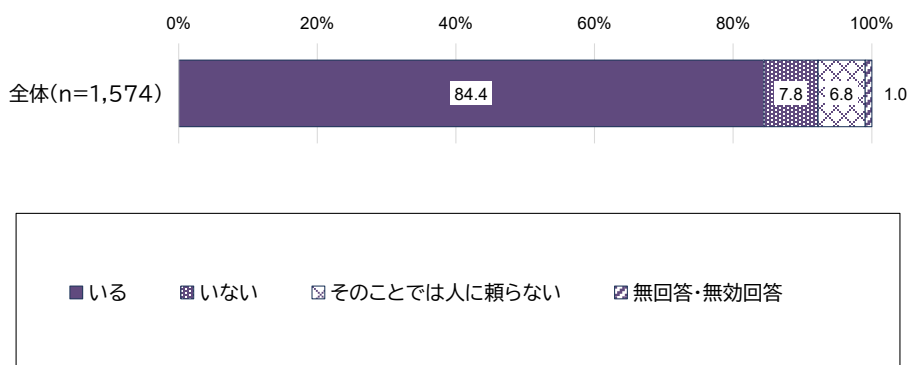


「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無は、「いない」が 7.8%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が 18.6%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が 22.5%であった。

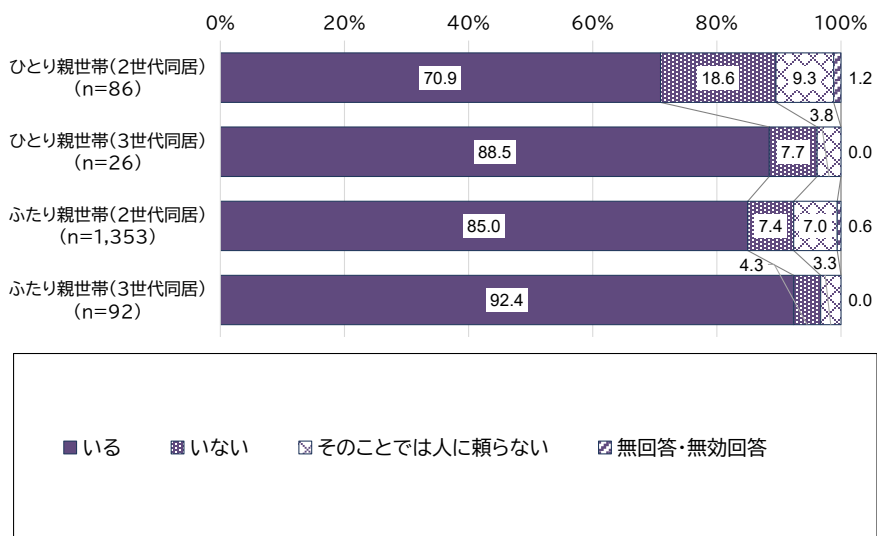
【小学5年生保護者問 17B】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

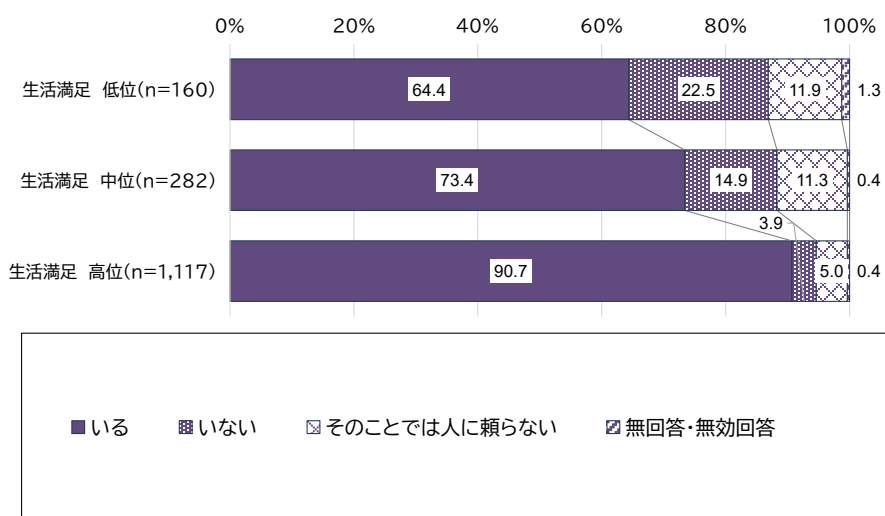
図表 3-120 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無（単純集計）



図表 3-121 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無  
(世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-122 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無 (生活満足度別集計)



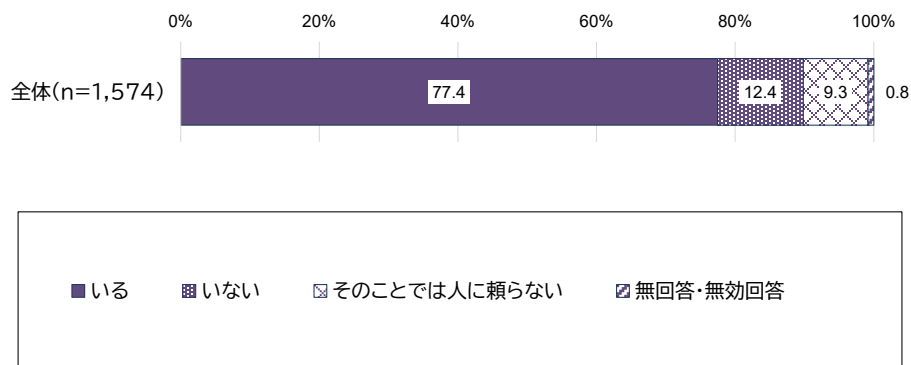


「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無は、「いない」が12.4%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が32.6%であった。  
 困窮層(n=44)では、「いない」が34.1%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が30.6%であった。

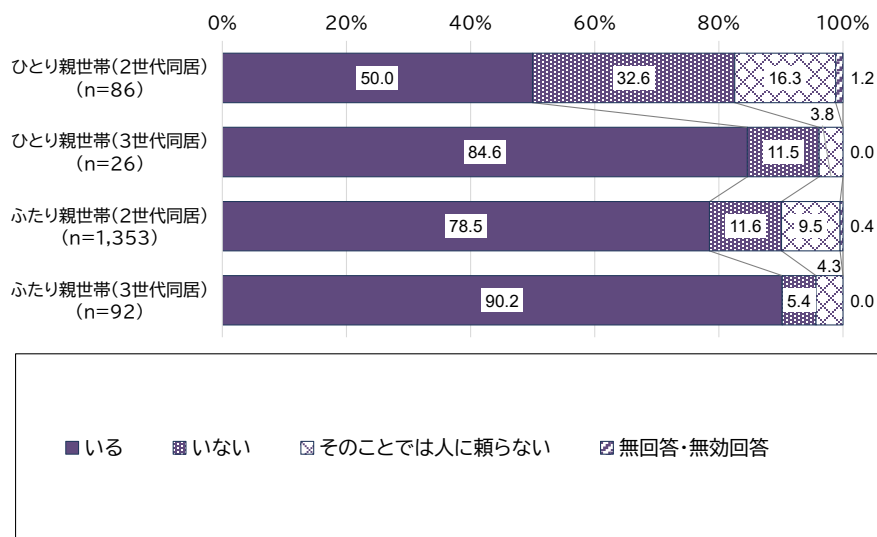
【小学5年生保護者問 17C】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

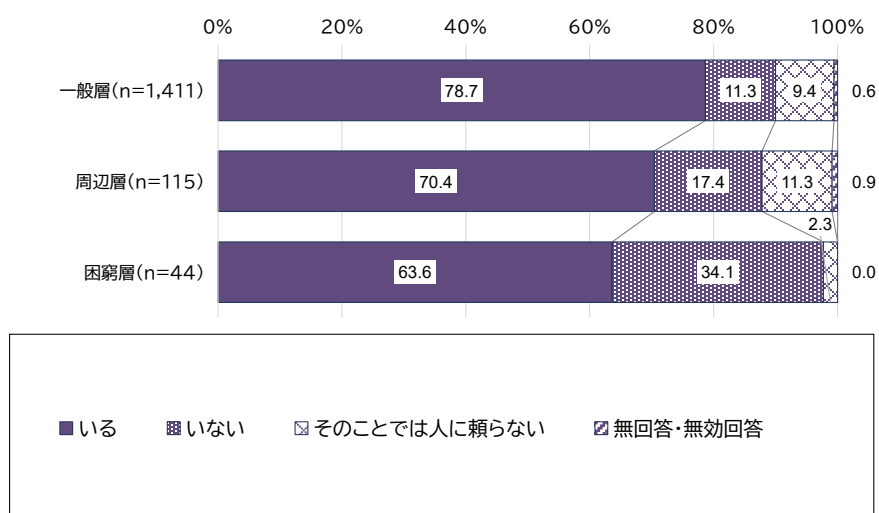
図表 3-123 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無 (単純集計)



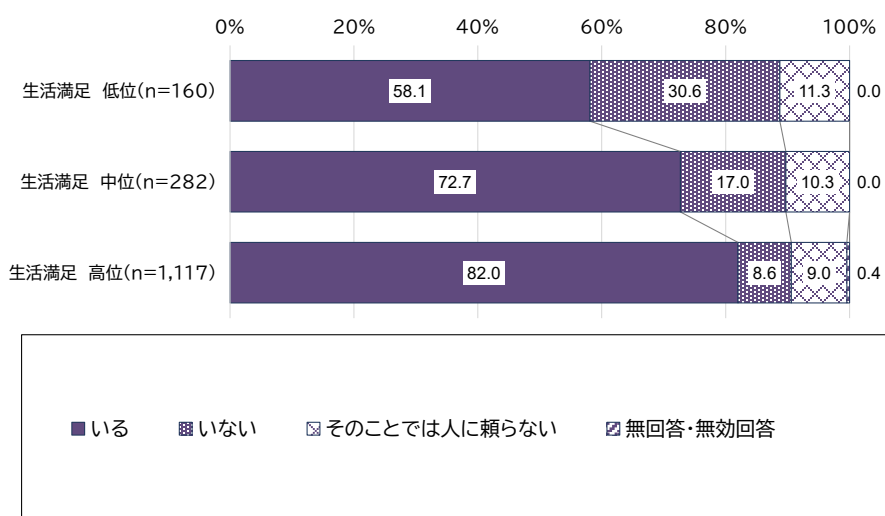
図表 3-124 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-125 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無  
(生活困難層別クロス集計)



図表 3-126 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無  
(生活満足度別クロス集計)

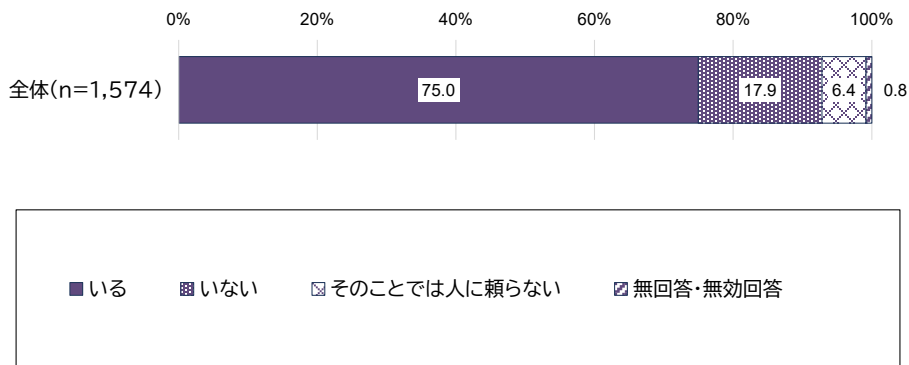


「留守を頼める人」の有無は、「いない」が17.9%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が33.7%であった。  
 困窮層(n=44)では、「いない」が36.4%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が35.6%であった。

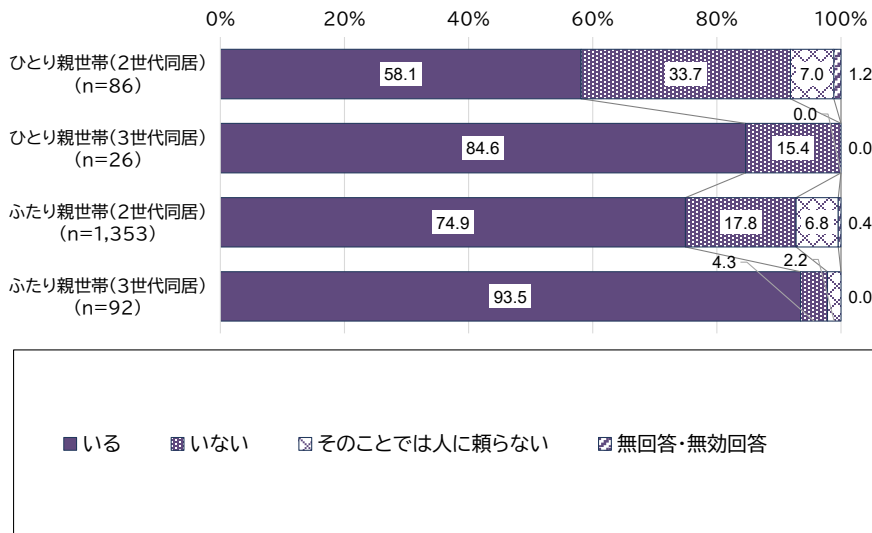
【小学5年生保護者問 17D】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

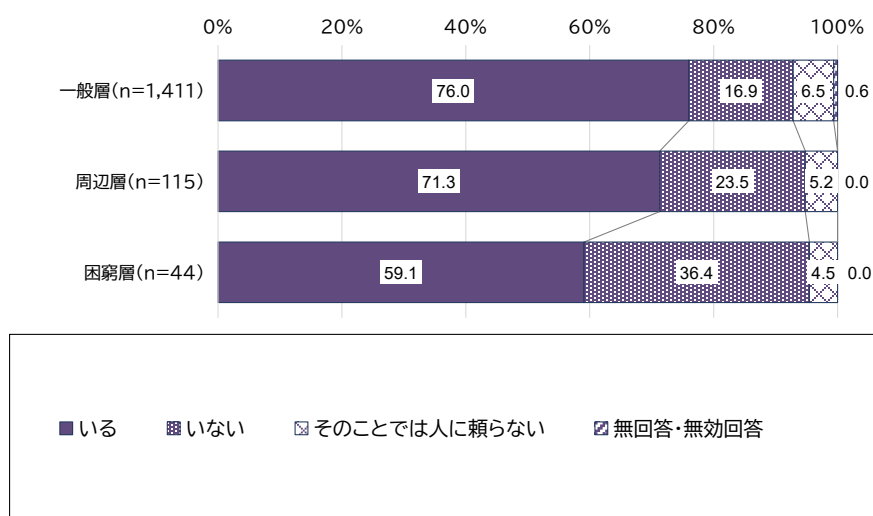
図表 3-127 留守を頼める人の有無 (単純集計)



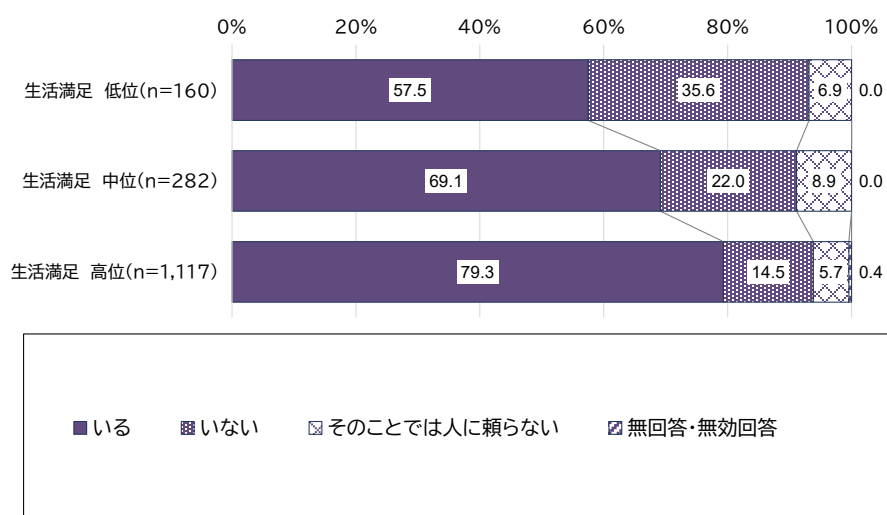
図表 3-128 留守を頼める人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-129 留守を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-130 留守を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）

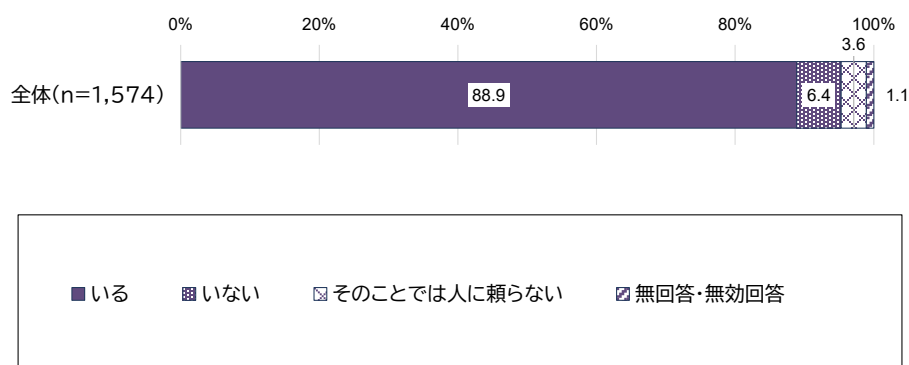


「重要な事柄の相談を出来る人」の有無は、「いない」が6.4%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が19.8%であった。  
 困窮層(n=44)では、「いない」が25.0%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が20.0%であった。

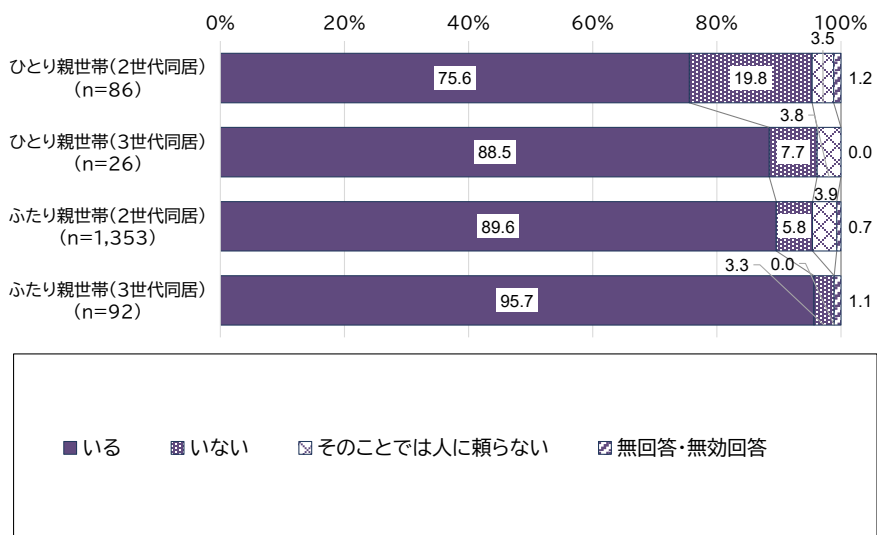
【小学5年生保護者問 17E】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

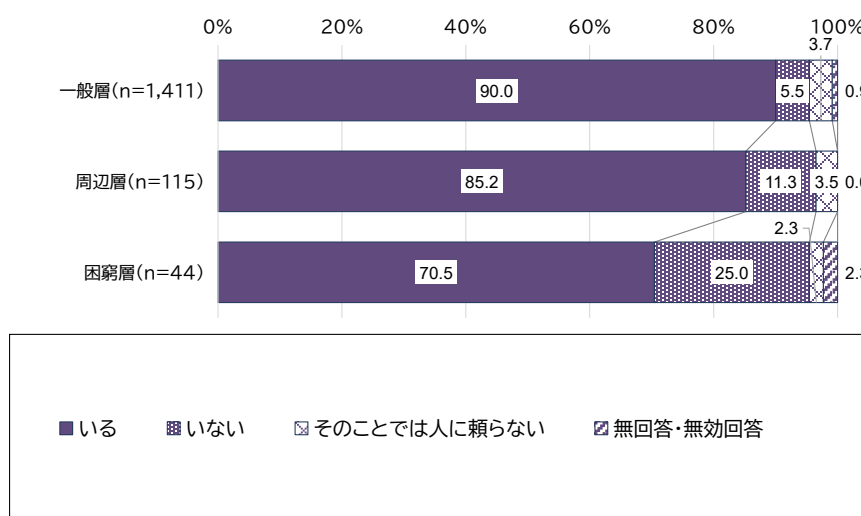
図表 3-131 重要な事柄の相談を出来る人の有無 (単純集計)



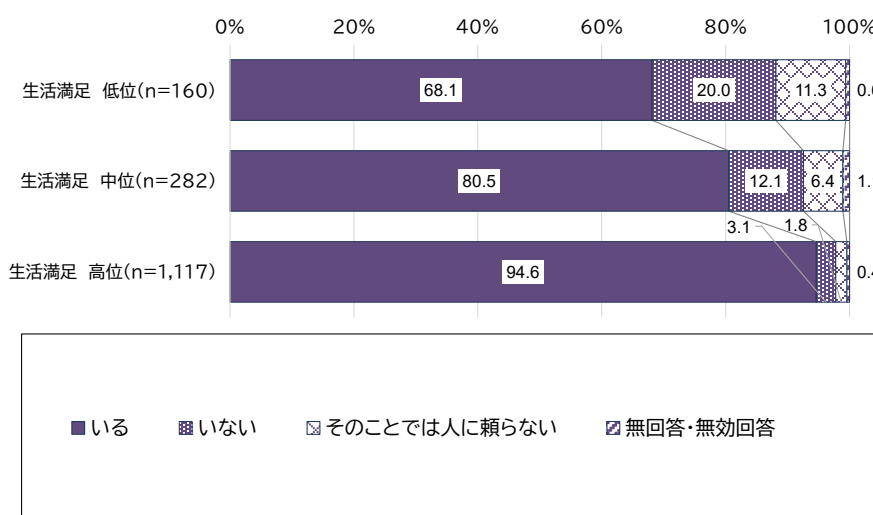
図表 3-132 重要な事柄の相談を出来る人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-133 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-134 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活満足度別クロス集計）

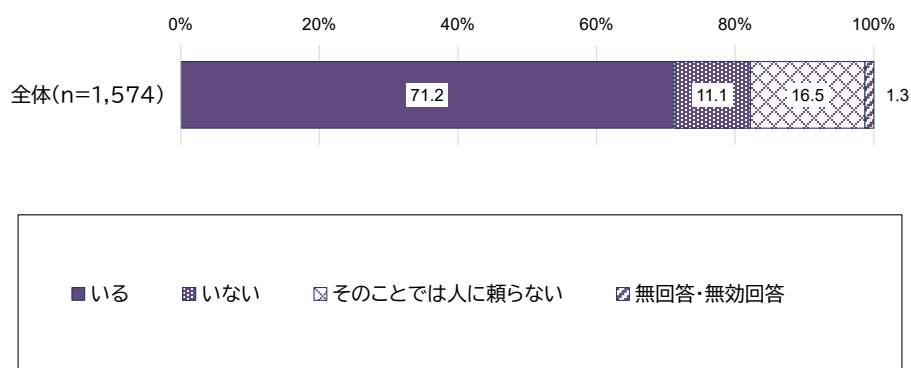


「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無は、「いない」が 11.1%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が 24.4%であった。  
 困窮層(n=44)では、「いない」が 38.6%であった。  
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が 29.4%であった。

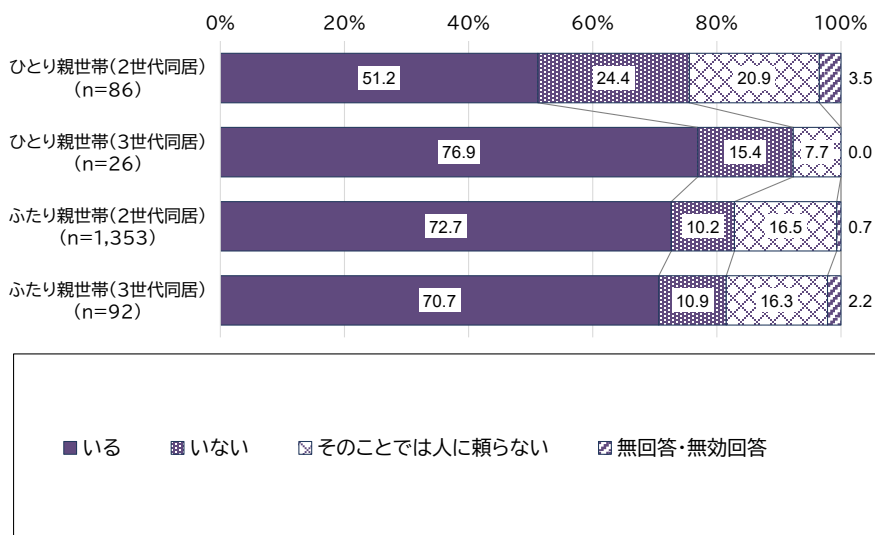
【小学5年生保護者問 17F】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

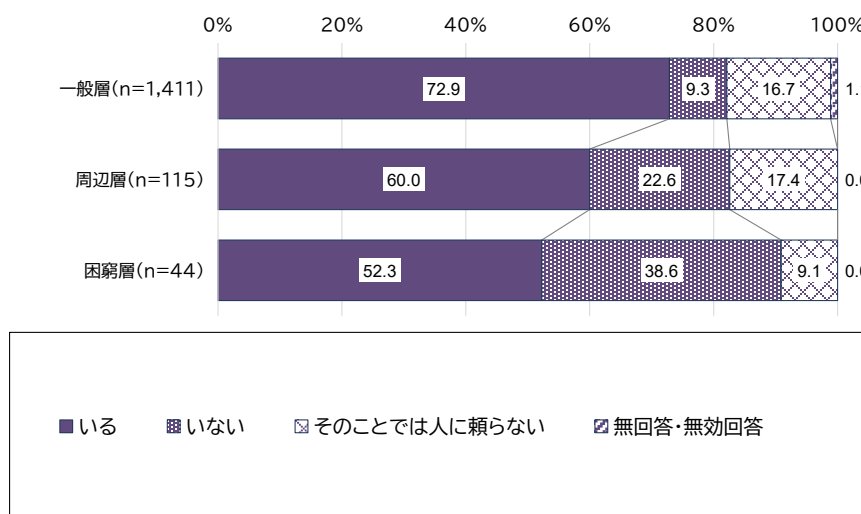
図表 3-135 いざという時のお金の援助を頼める人の有無 (単純集計)



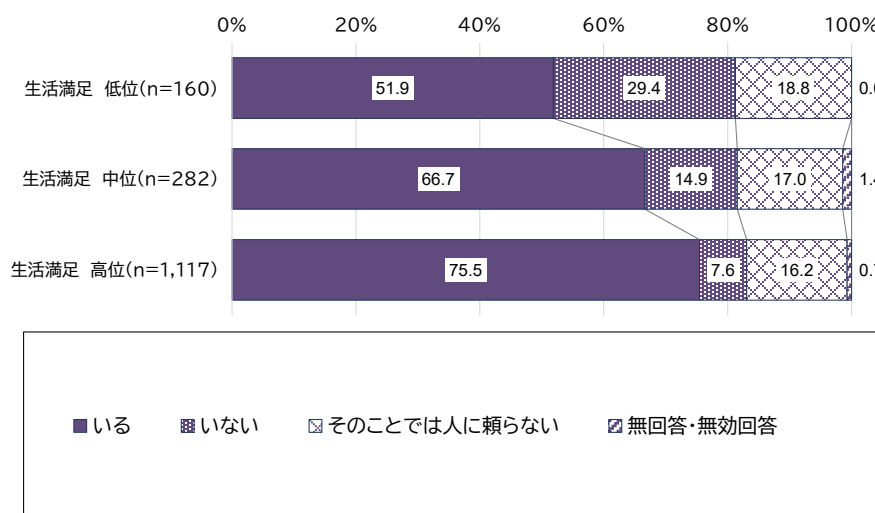
図表 3-136 いざという時のお金の援助を頼める人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-137 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-138 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）





## キ 相談相手・相談先

相談相手や相談先について尋ねた結果、「配偶者・パートナー」が 80.8%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 67.3%、「友人・知人」が 57.6%であった。また、「相談できる相手がない」は 1.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「友人・知人」が 61.6%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 51.2%、「きょうだい・その他の親戚」が 45.3%であった。また、「相談できる相手がない」は 5.8%であった。

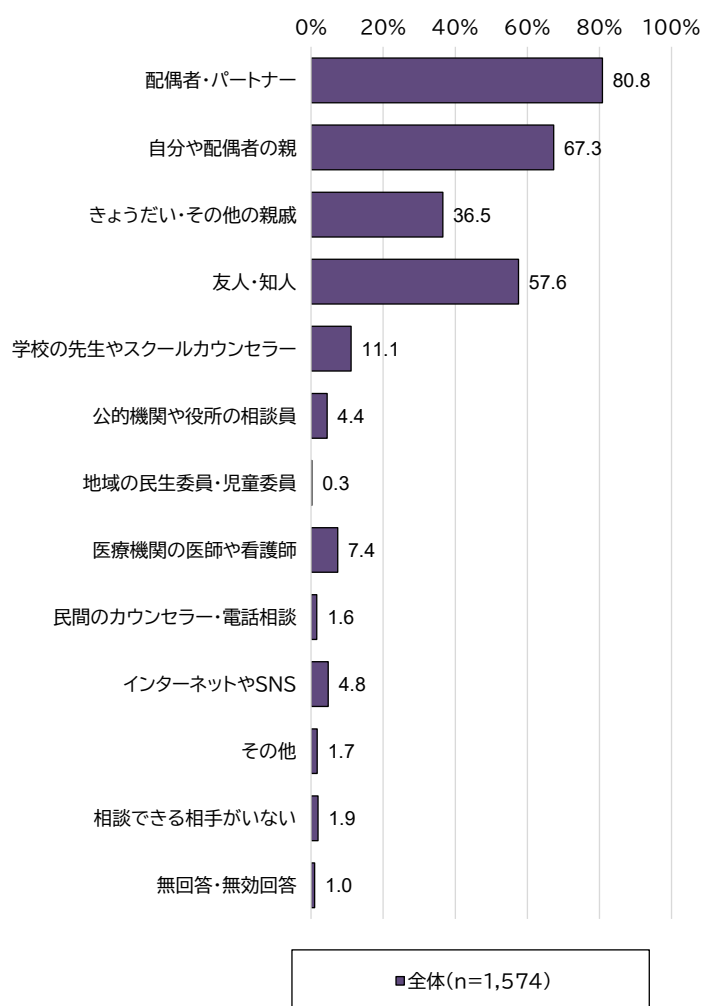
困窮層(n=44)では、「友人・知人」が 50.0%と最も多く、「配偶者・パートナー」が 43.2%、「自分や配偶者の親」が 40.9%であった。また、「相談できる相手がない」は 11.4%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「配偶者・パートナー」が 51.3%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 50.6%、「友人・知人」が 46.3%であった。また、「相談できる相手がない」は 10.0%であった。

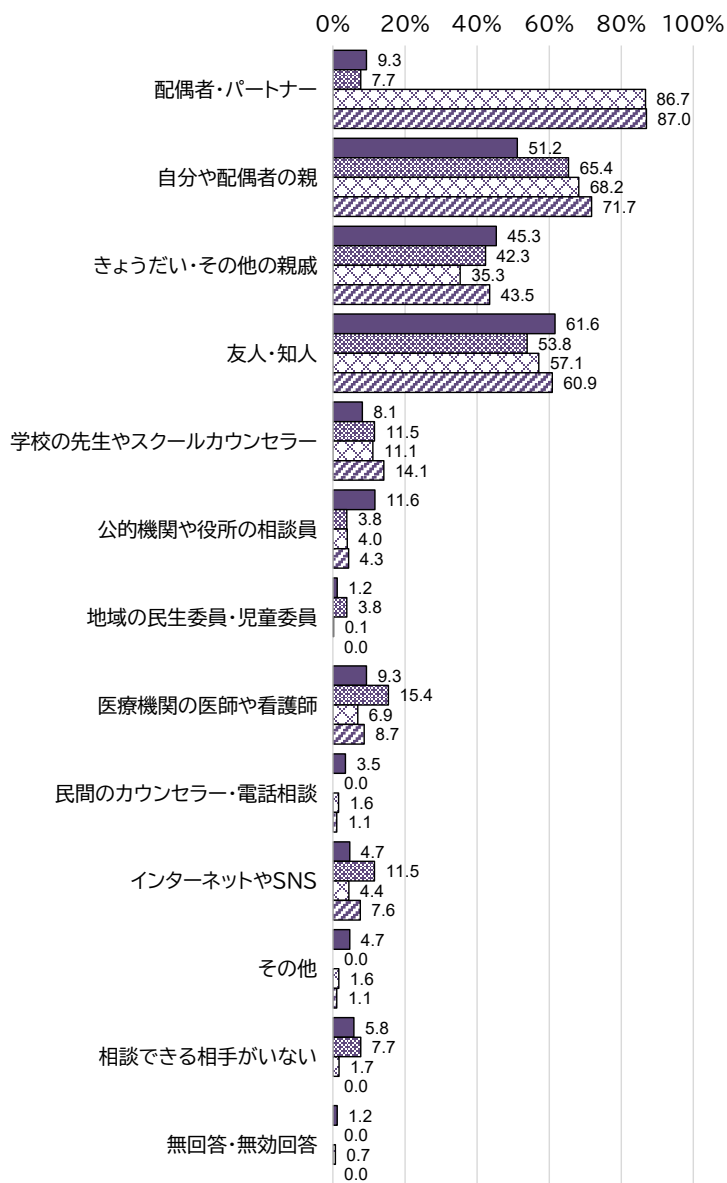
【小学5年生保護者問 18】

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(複数回答)

図表 3-139 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先 (単純集計)

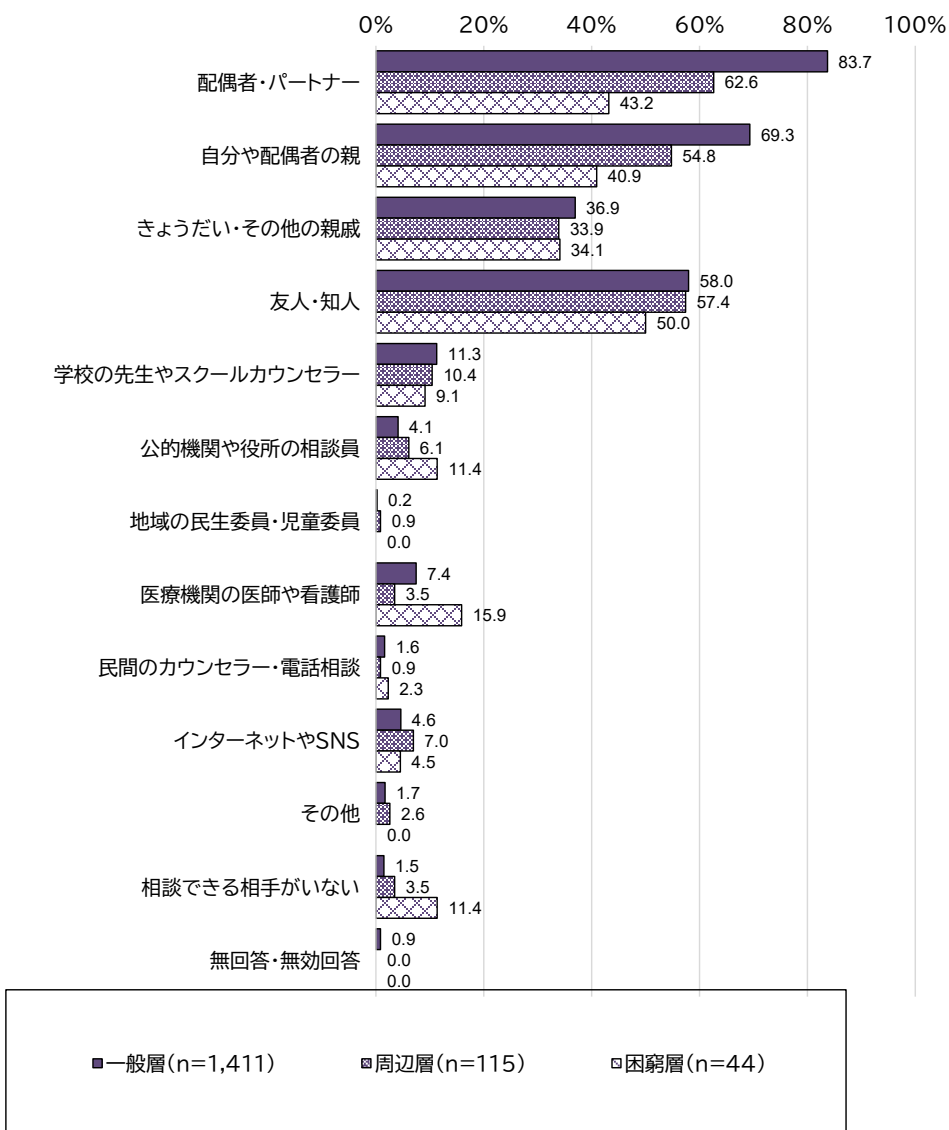


図表 3-140 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（世帯タイプ別クロス集計）

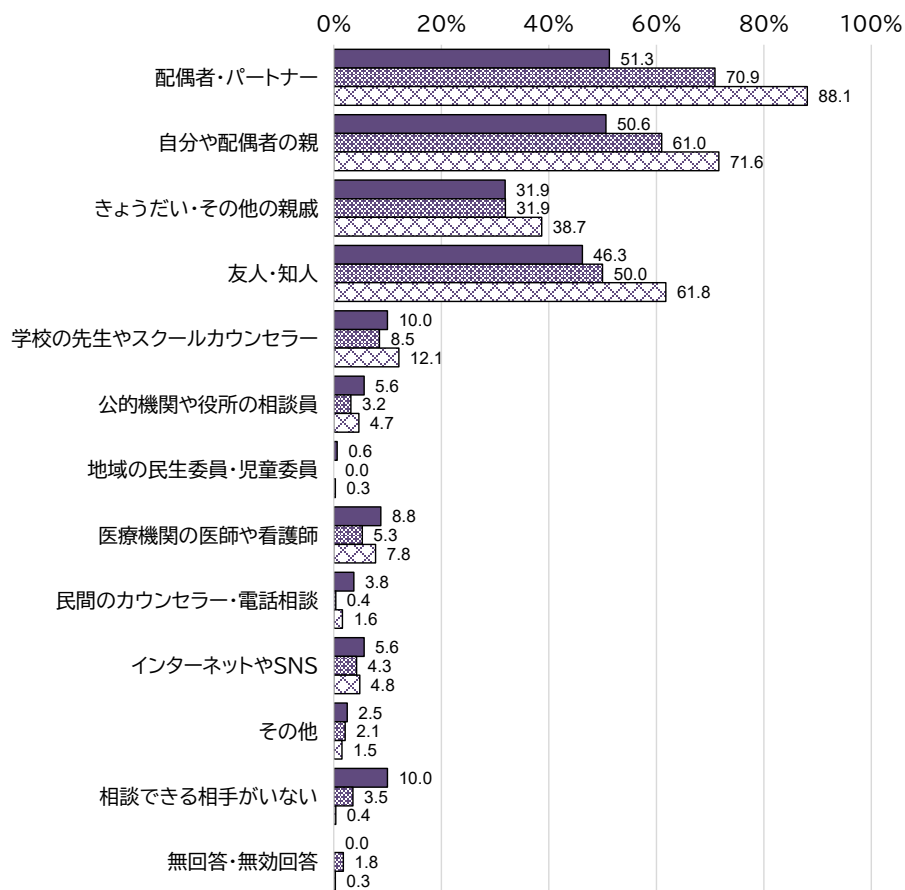


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)      ▨ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)  
 ▨ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,353)      ▨ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 3-141 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活困難層別クロス集計）



図表 3-142 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=160)    ▨生活満足 中位(n=282)    ▩生活満足 高位(n=1,117)

## ク 生活満足度

最近の生活への満足度については、「0～4」と回答した割合の合計は 10.1%、「5～6」と回答した割合の合計は 18.0%、「7～10」と回答した割合の合計は 70.9%であった。

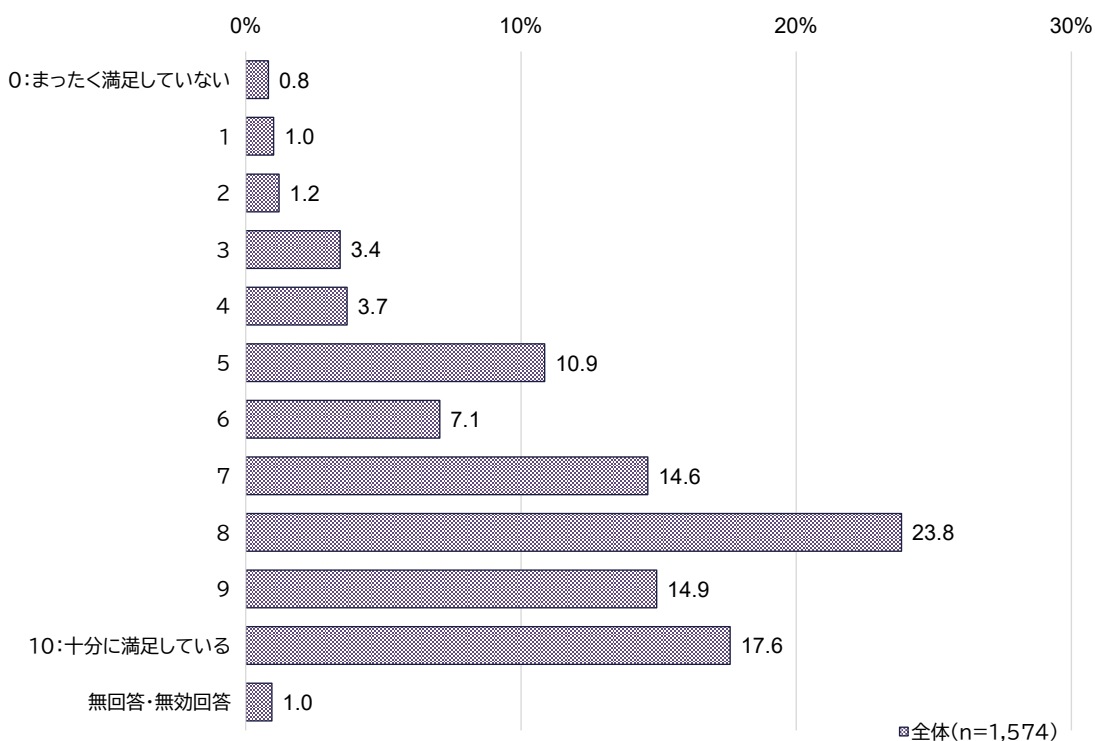
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「0～4」と回答した割合の合計は 24.5%、「5～6」と回答した割合の合計は 20.9%、「7～10」と回答した割合の合計は 53.4%であった。

困窮層(n=44)では、「0～4」と回答した割合の合計は 61.4%、「5～6」と回答した割合の合計は 13.7%、「7～10」と回答した割合の合計は 22.8%であった。

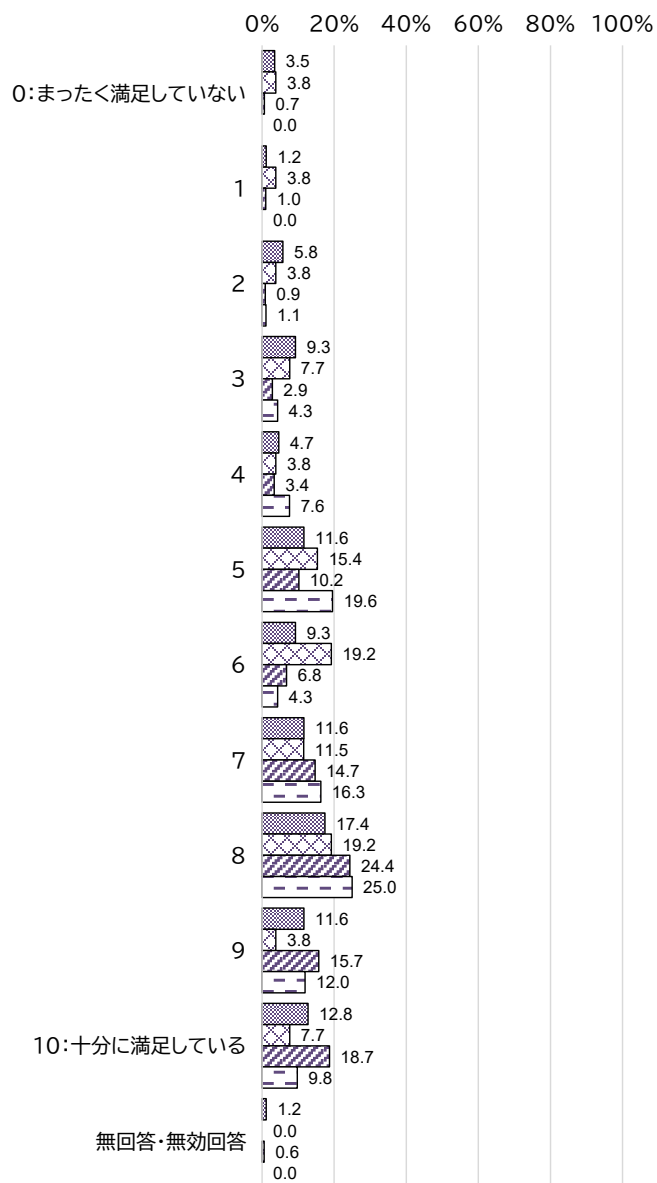
### 【小学5年生保護者問 19】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(単一回答)

図表 3-143 生活満足度 (単純集計)

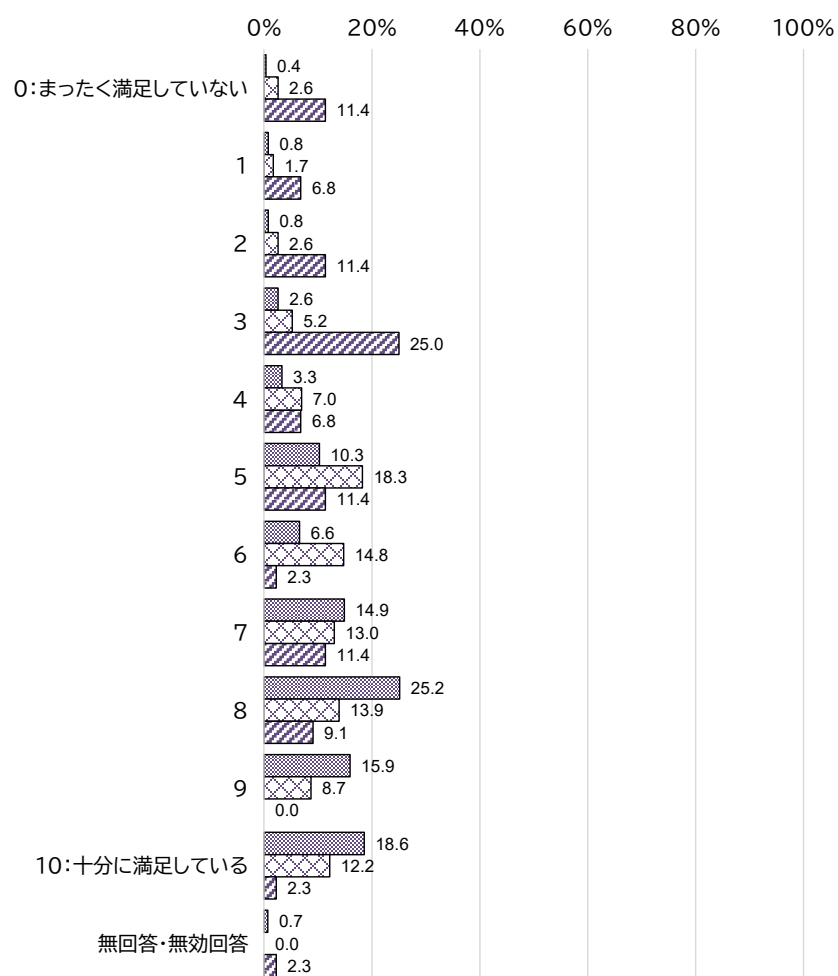


図表 3-144 生活満足度（世帯タイプ別クロス集計）



□ひとり親世帯(2世代同居) (n=86)	□ひとり親世帯(3世代同居) (n=26)
□ふたり親世帯(2世代同居) (n=1,353)	□ふたり親世帯(3世代同居) (n=92)

図表 3-145 生活満足度（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,411)

□周辺層(n=115)

■困窮層(n=44)

## (5) あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

### ア 暮らしの状況

現在の暮らしの状況の認識については、「普通」が 51.0%と最も多く、「ややゆとりがある」が 20.8%、「やや苦しい」が 17.9%であった。また、「大変苦しい」は 5.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「普通」が 45.3%と最も多く、「やや苦しい」が 26.7%、「大変苦しい」が 20.9%であった。

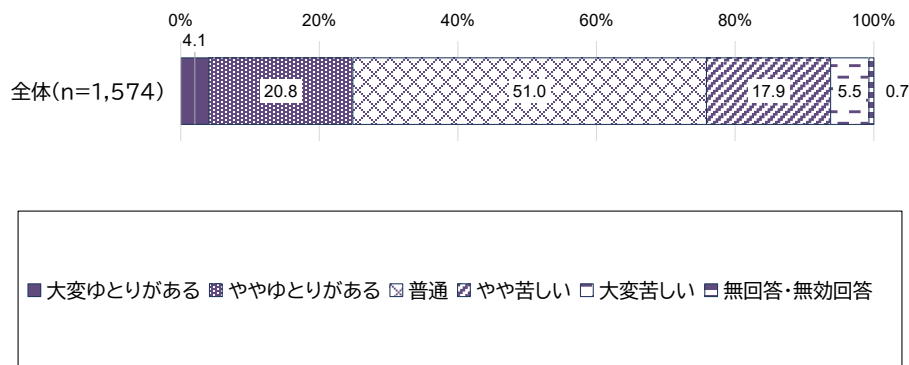
困窮層(n=44)では、「大変苦しい」が 65.9%と最も多く、「やや苦しい」が 29.5%、「普通」が 4.5%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「やや苦しい」が 36.9%と最も多く、「大変苦しい」が 31.9%、「普通」が 23.8%であった。

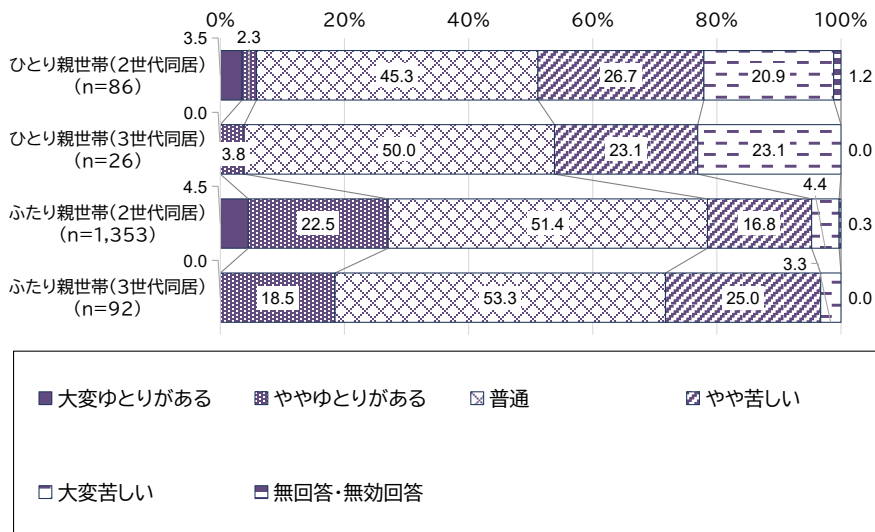
【小学5年生保護者問 20】

現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単一回答)

図表 3-146 暮らしの状況 (単純集計)

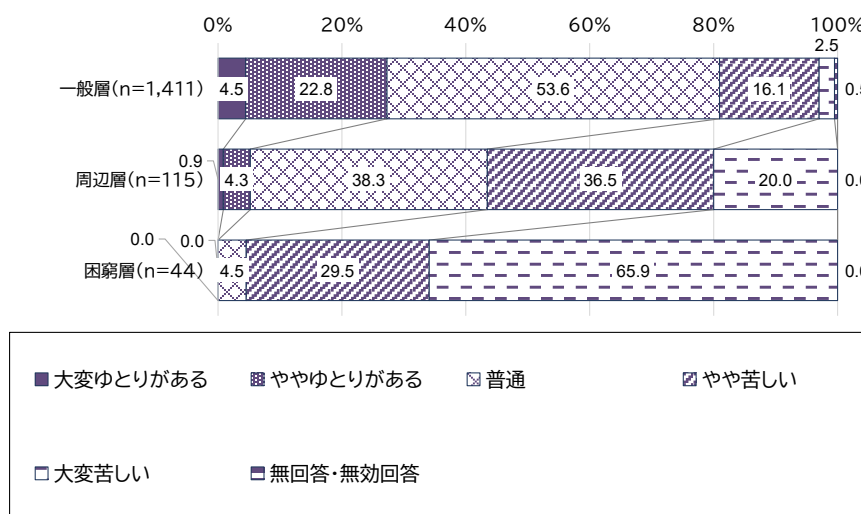


図表 3-147 暮らしの状況 (世帯タイプ別クロス集計)

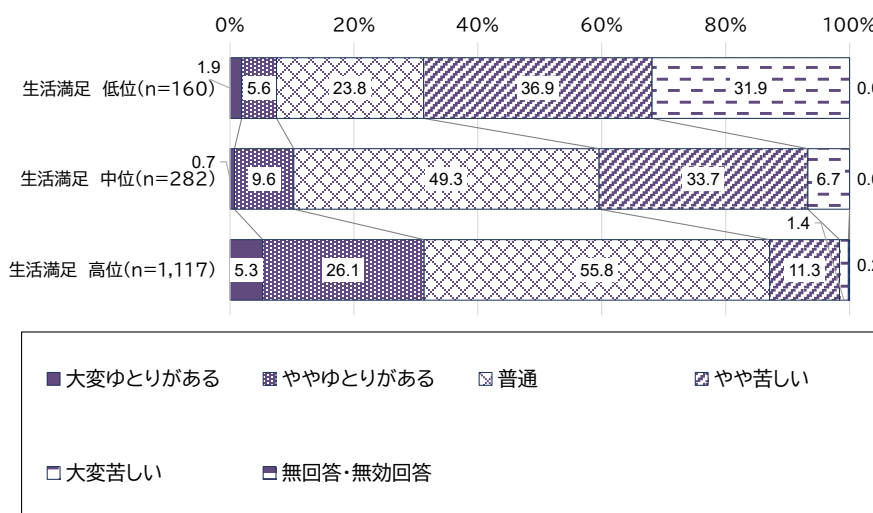




図表 3-148 暮らしの状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-149 暮らしの状況（生活満足度別クロス集計）



## イ 家計の状況

家計の状況については、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 44.6%と最も多く、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 30.8%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」が 11.5%であった。

前回調査と比較すると、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」と回答した割合は、今回調査は 44.6%、前回調査は 38.6%で、6.0 ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 33.7%と最も多く、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 23.3%、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 20.9%であった。

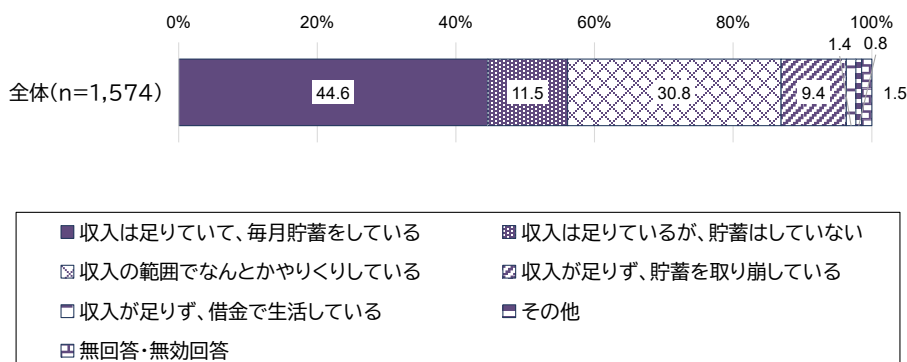
困窮層(n=44)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 38.6%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 31.8%、「収入が足りず、借金で生活している」が 20.5%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 32.5%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 30.6%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 18.1%であった。

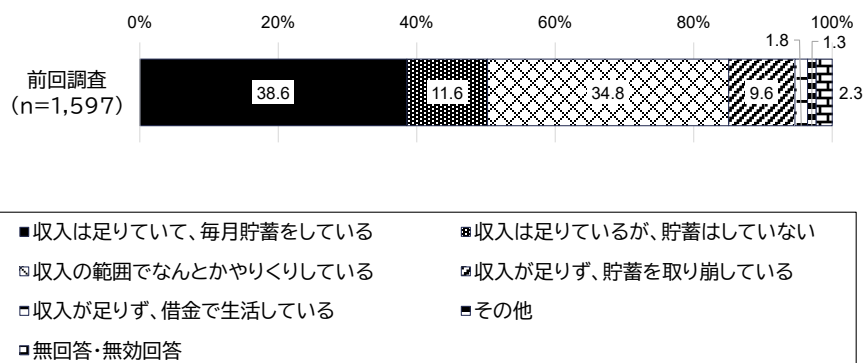
【小学5年生保護者問 21】

ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(単一回答)

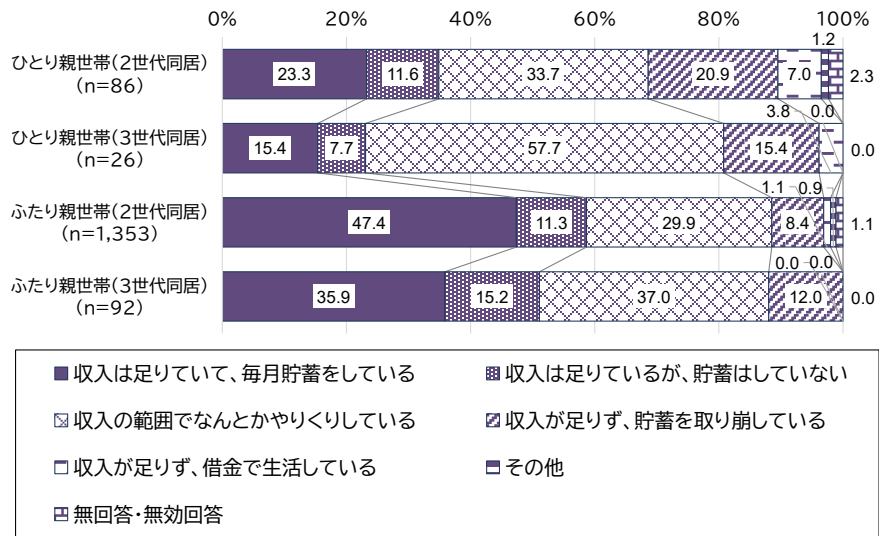
図表 3-150 家計の状況 (単純集計)



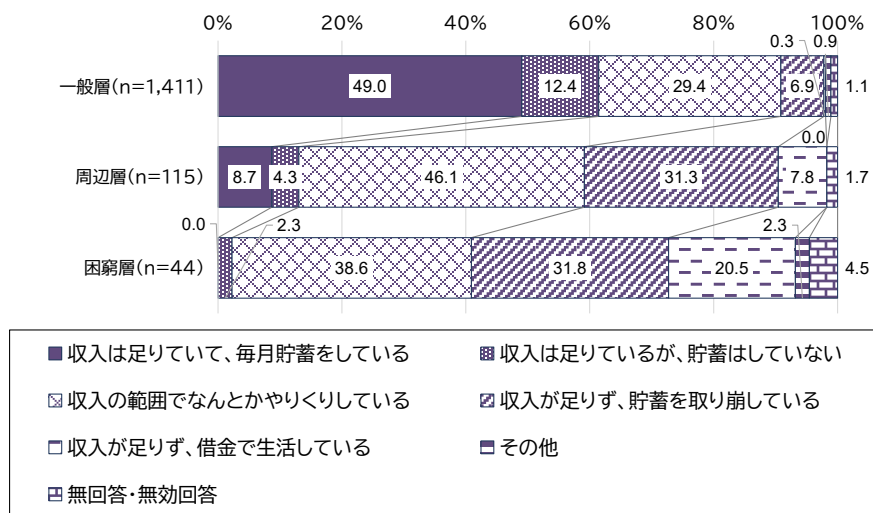
図表 3-151 家計の状況 (前回調査 単純集計)



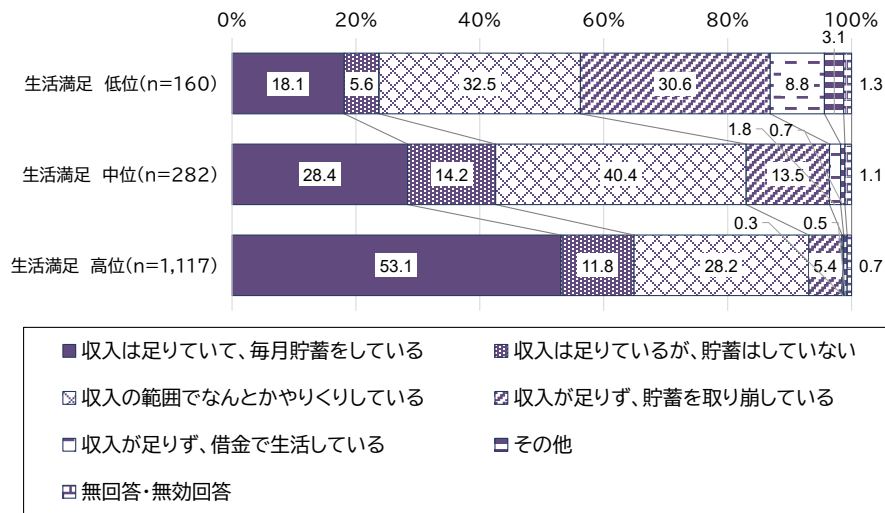
図表 3-152 家計の状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-153 家計の状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-154 家計の状況（生活満足度別クロス集計）



## ウ 食料が買えない経験

お金が足りなくて食料が買えなかった経験についてみると、「まったくなかった」が 92.7%と最も多く、「まれにあった」が 3.9%、「ときどきあった」が 2.2%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「まったくなかった」が 75.6%と最も多く、「まれにあった」が 11.6%、「ときどきあった」が 9.3%であった。

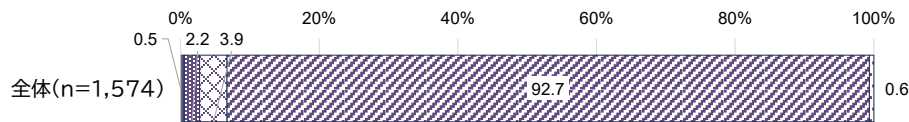
困窮層(n=44)では、「ときどきあった」が 40.9%と最も多く、「まったくなかった」が 29.5%、「まれにあった」が 15.9%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「まったくなかった」が 73.8%と最も多く、「まれにあった」が 12.5%、「ときどきあった」が 10.6%であった。

### 【小学5年生保護者問 22】

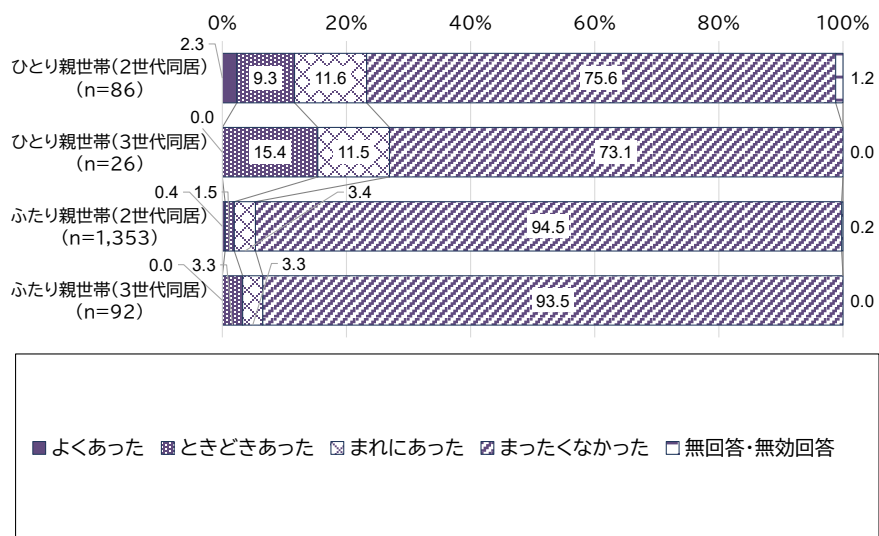
あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-155 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（単純集計）

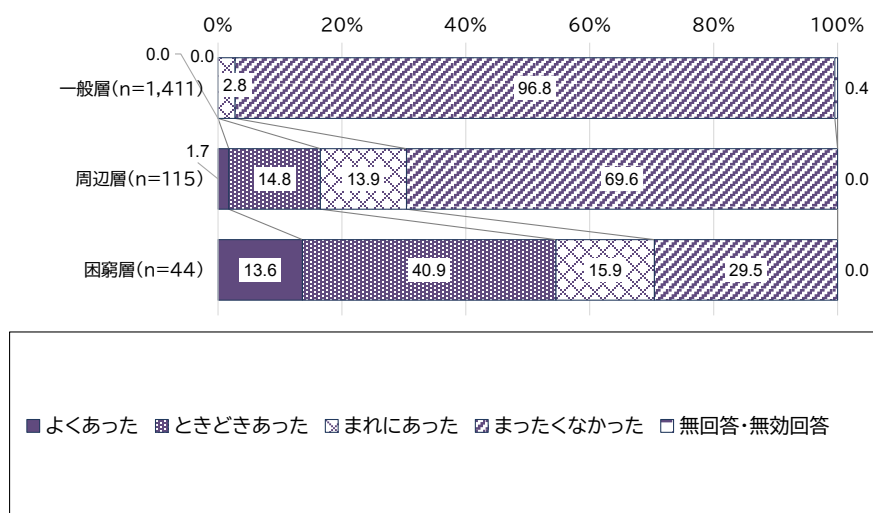


■ よくあった ■ ときどきあった ■ まれにあった ■ まったくなかった ■ 無回答・無効回答

図表 3-156 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）

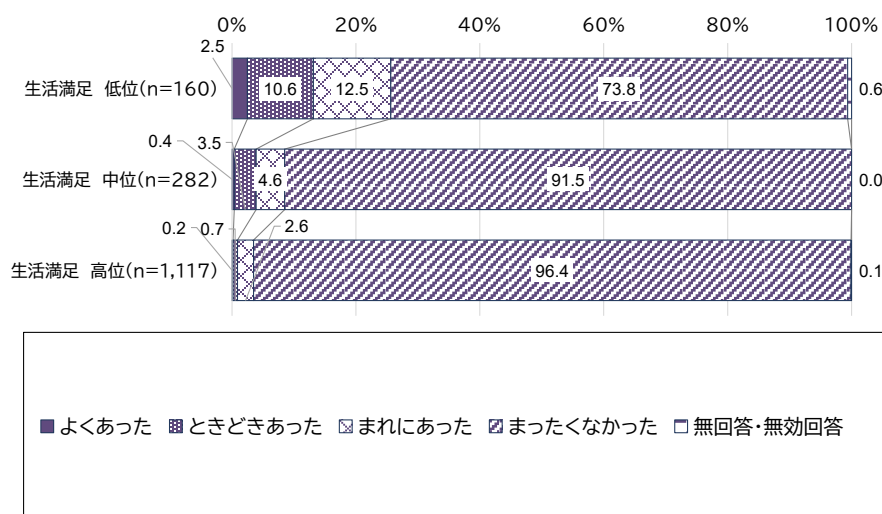


図表 3-157 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）<sup>28</sup>



<sup>28</sup> 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-158 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



## 工 衣類が買えない経験

お金が足りなくて衣類が買えなかった経験についてみると、「まったくなかった」が 91.1%と最も多く、「まれにあった」が 5.0%、「ときどきあった」が 2.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「まったくなかった」が 73.3%と最も多く、「まれにあった」が 10.5%、「ときどきあった」が 9.3%であった。

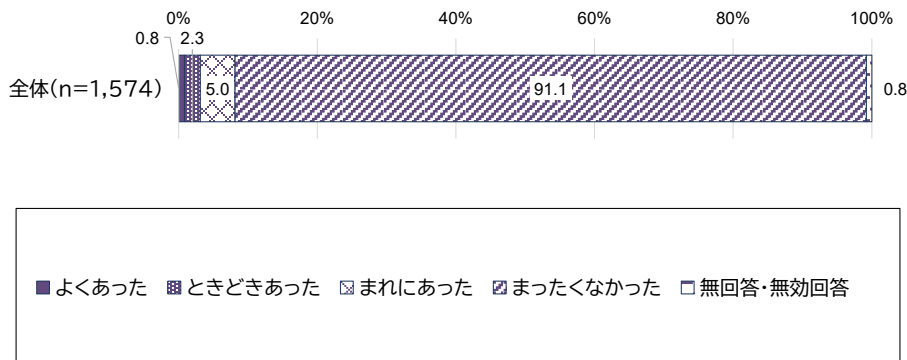
困窮層(n=44)では、「ときどきあった」が 40.9%と最も多く、「よくあった」が 22.7%、「まれにあった」「まったくなかった」が 18.2%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「まったくなかった」が 66.9%と最も多く、「まれにあった」が 19.4%、「ときどきあった」が 8.8%であった。

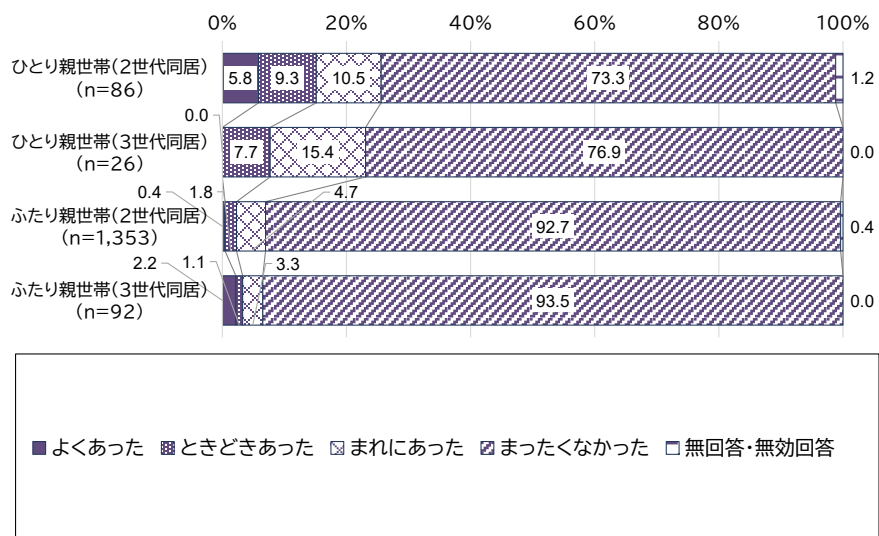
【小学5年生保護者問 23】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(単一回答)

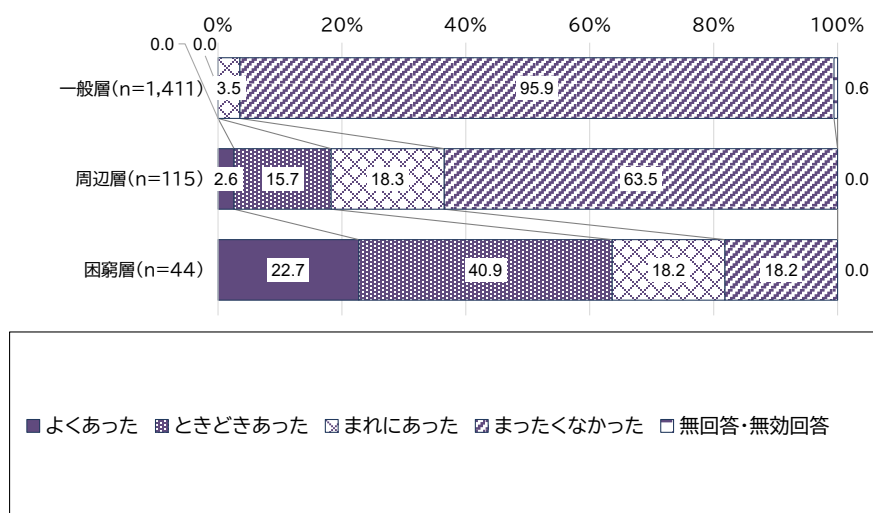
図表 3-159 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（単純集計）



図表 3-160 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）

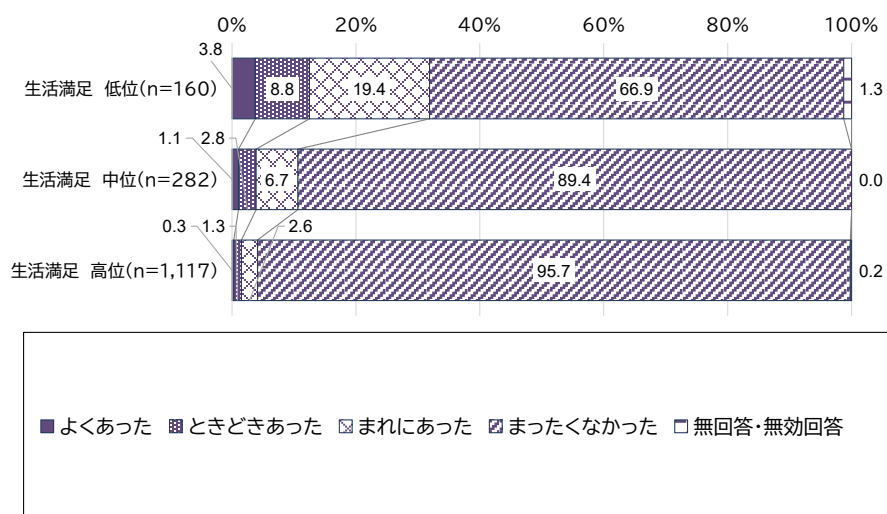


図表 3-161 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）<sup>29</sup>



<sup>29</sup> 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-162 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



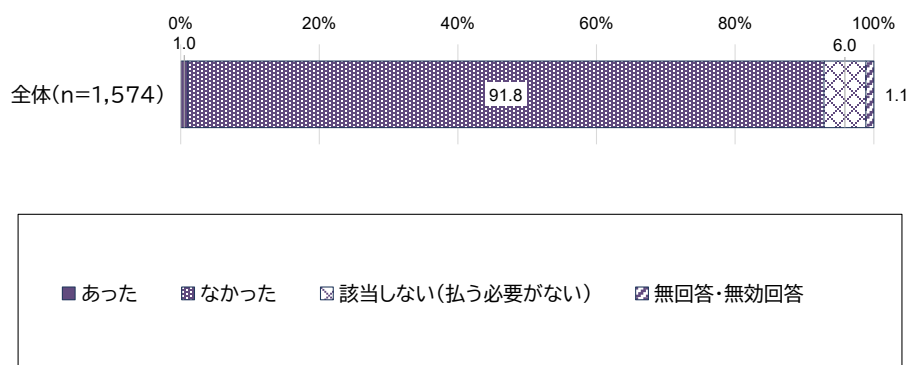
### オ 公共料金等の不払いの有無

「電話料金」については、「あった」が 1.0%であった。

【小学5年生保護者問 24A】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-163 電話料金が支払えなかった経験（単純集計）



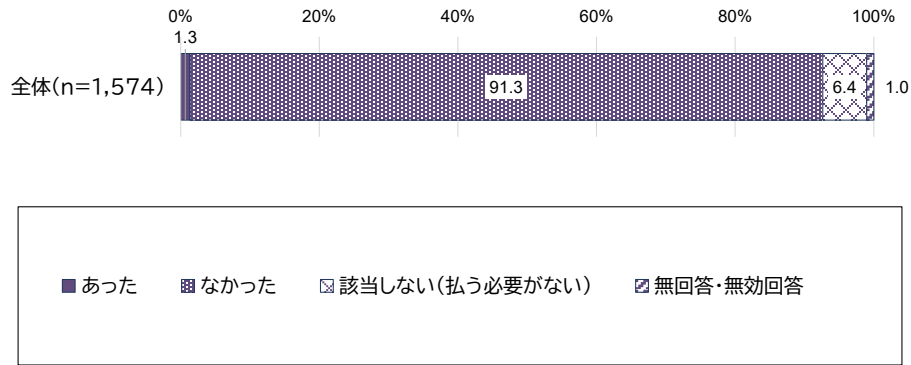


「電気料金」については、「あった」が1.3%であった。

【小学5年生保護者問 24B】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-164 電気料金が支払えなかった経験 (単純集計)

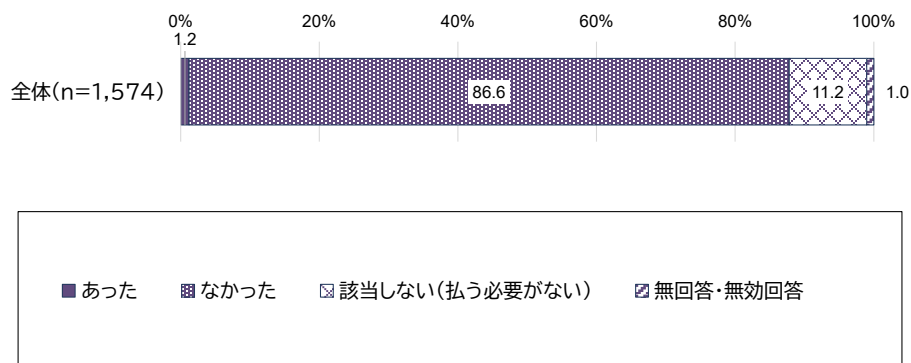


「ガス料金」については、「あった」が1.2%であった。

【小学5年生保護者問 24C】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-165 ガス料金が支払えなかった経験 (単純集計)

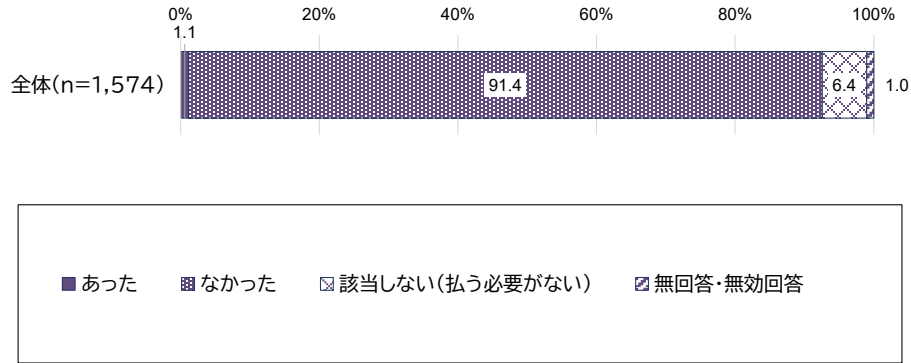


「水道料金」については、「あった」が1.1%であった。

【小学5年生保護者問 24D】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-166 水道料金が支払えなかった経験 (単純集計)



「家賃」については、「あった」が1.0%であった。

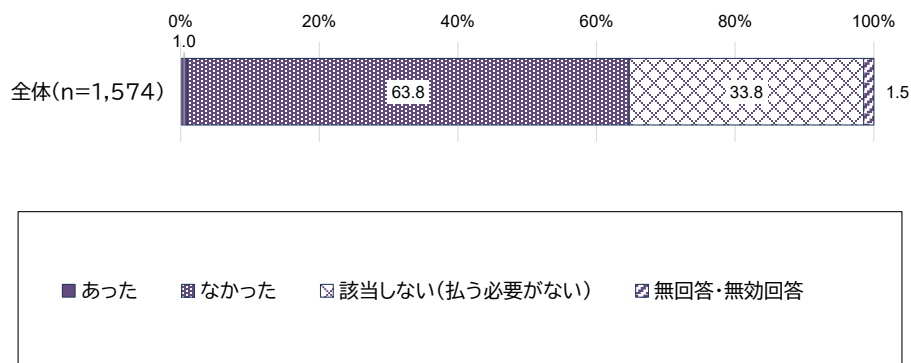
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「あった」が8.1%であった。

困窮層(n=44)では、「あった」が18.2%であった。

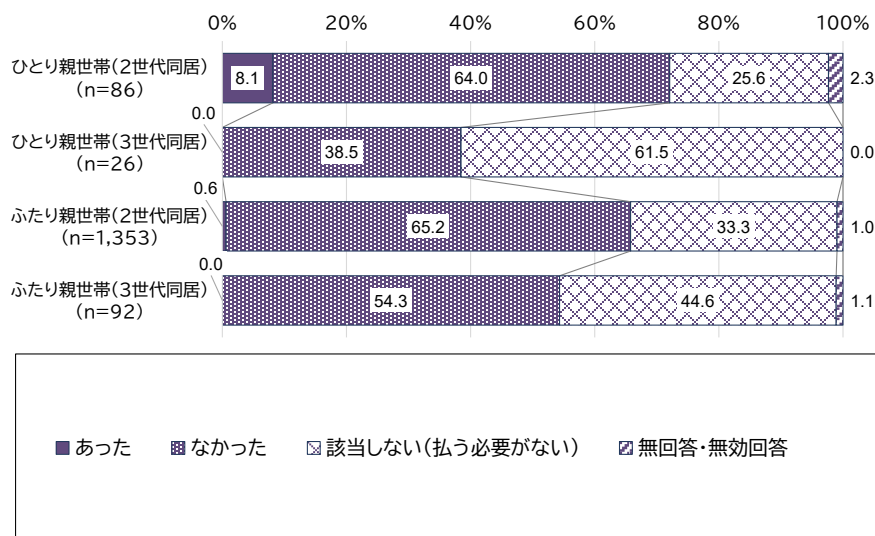
【小学5年生保護者問 24E】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

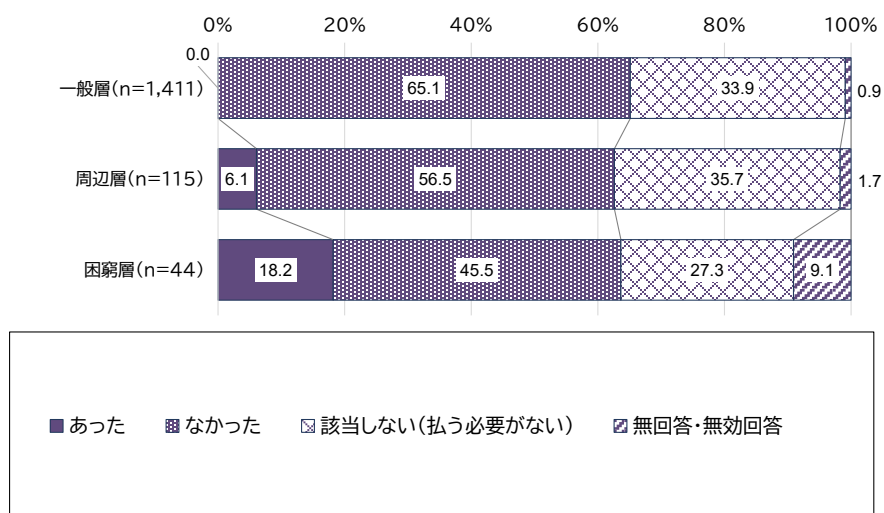
図表 3-167 家賃が支払えなかった経験 (単純集計)



図表 3-168 家賃が支払えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-169 家賃が支払えなかった経験（生活困難層別クロス集計）<sup>30</sup>



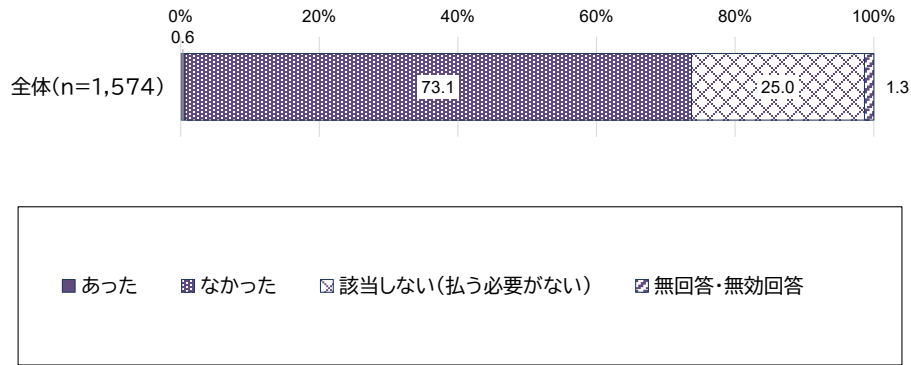
<sup>30</sup> 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

「住宅ローン」については、「あった」が0.6%であった。

【小学5年生保護者問 24F】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-170 住宅ローンが支払えなかった経験 (単純集計)

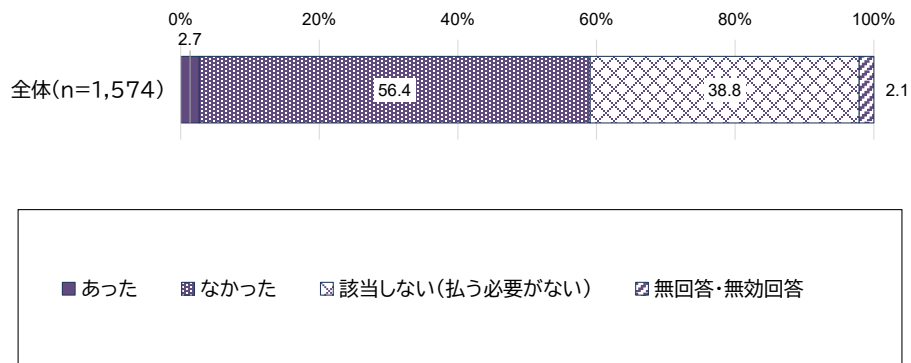


「その他の債務」については、「あった」が2.7%であった。

【小学5年生保護者問 24G】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-171 その他の債務が支払えなかった経験 (単純集計)



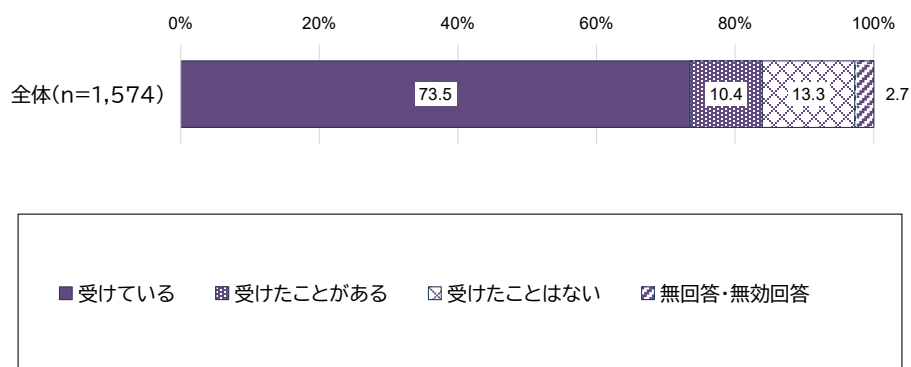
## カ 手当・援助等の有無

「児童手当」については、「受けている」が73.5%であった。

【小学5年生保護者問 25A】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-172 児童手当 (単純集計)



「就学援助」については、「受けている」が7.8%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が54.7%であった。

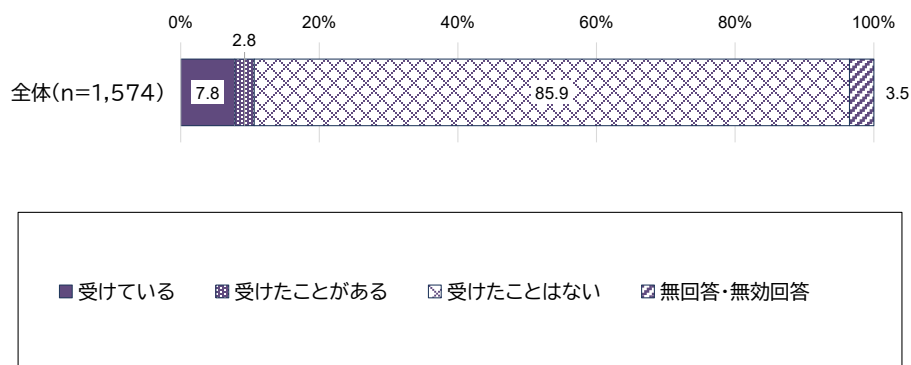
困窮層(n=44)では、「受けている」が68.2%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「受けている」が21.9%であった。

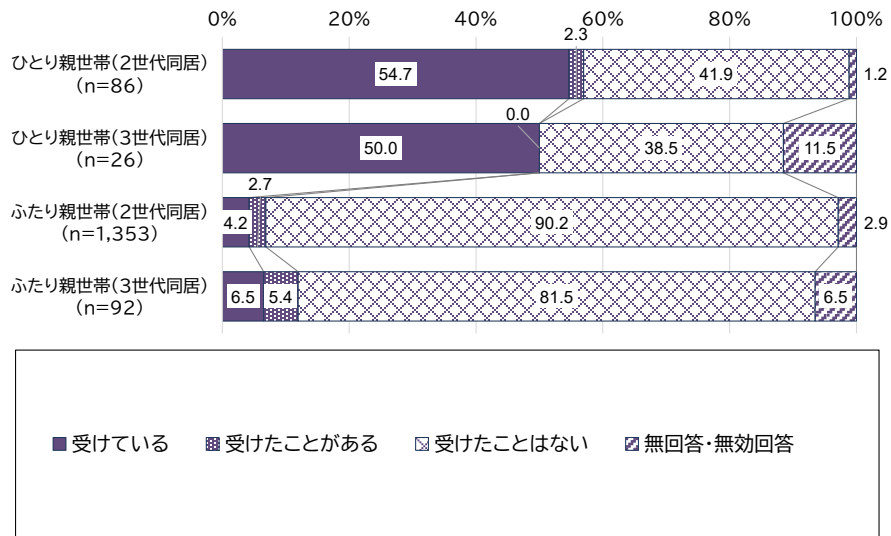
【小学5年生保護者問 25B】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

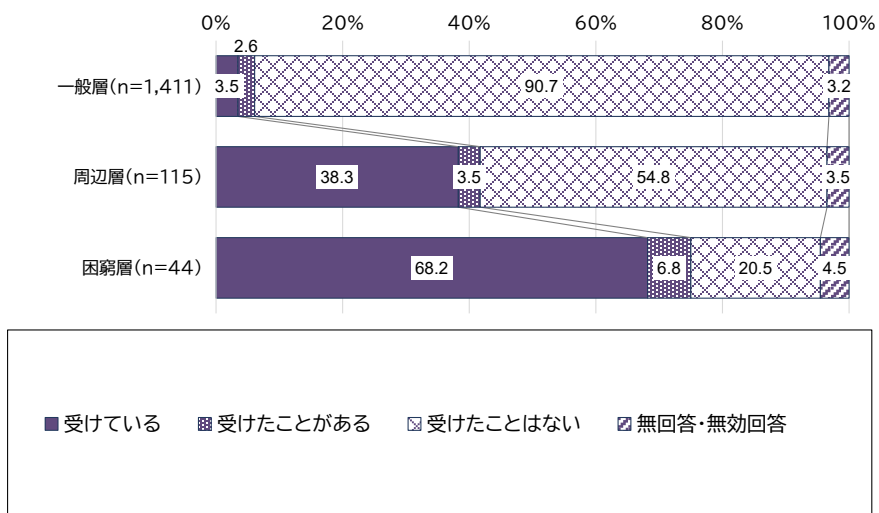
図表 3-173 就学援助 (単純集計)



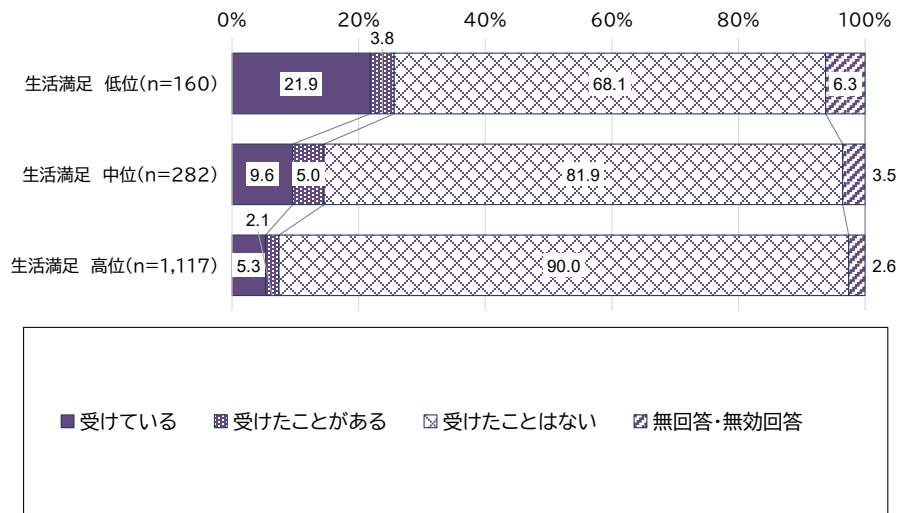
図表 3-174 就学援助（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-175 就学援助（生活困難層別クロス集計）



図表 3-176 就学援助（生活満足度別クロス集計）



「児童扶養手当」については、「受けている」が 3.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が 48.8%であった。

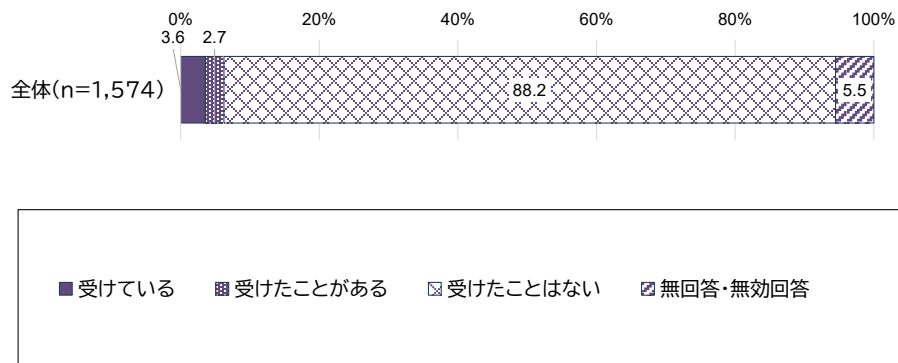
困窮層(n=44)では、「受けている」が 27.3%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「受けている」が 11.3%であった。

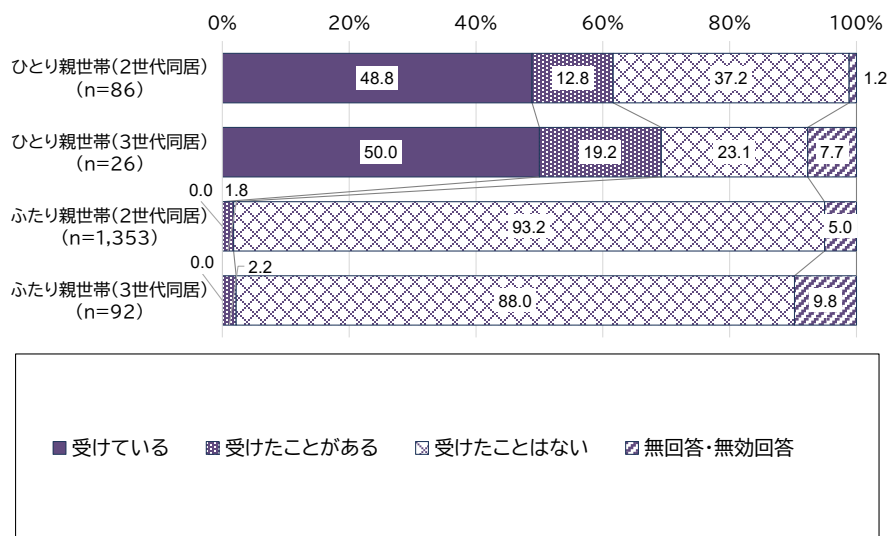
【小学5年生保護者問 25C】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

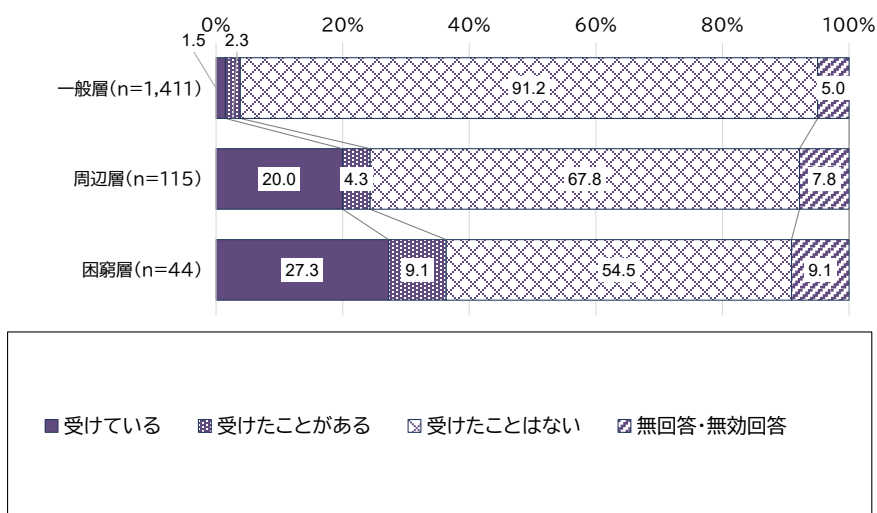
図表 3-177 児童扶養手当（単純集計）



図表 3-178 児童扶養手当（世帯タイプ別クロス集計）

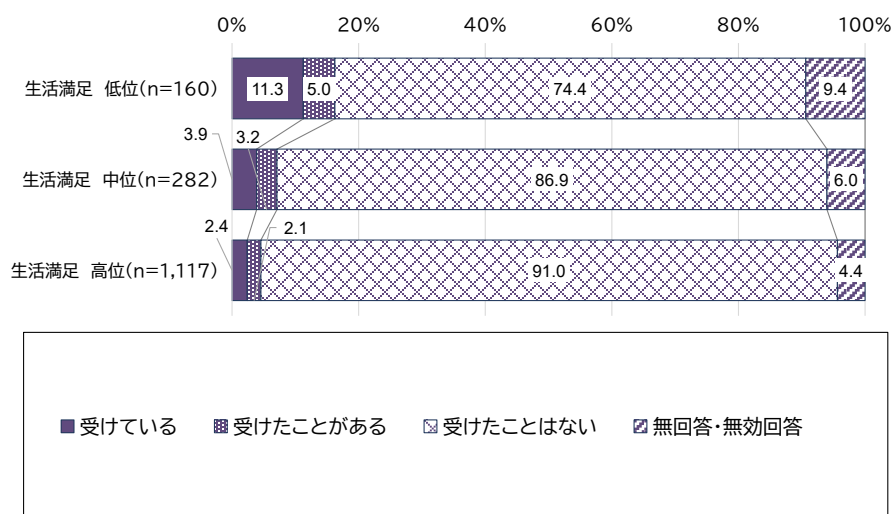


図表 3-179 児童扶養手当（生活困難層別クロス集計）





図表 3-180 児童扶養手当（生活満足度別クロス集計）

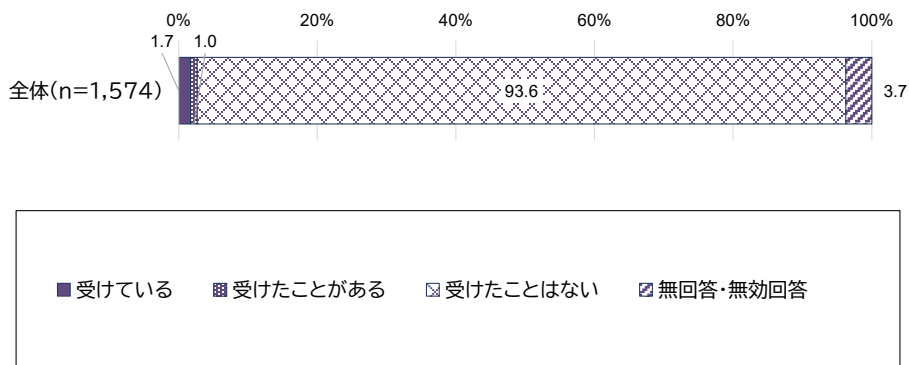


「障がいや難病の手当」については、「受けている」が 1.7%であった。

【小学5年生保護者問 25D】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-181 障がいや難病の手当（単純集計）

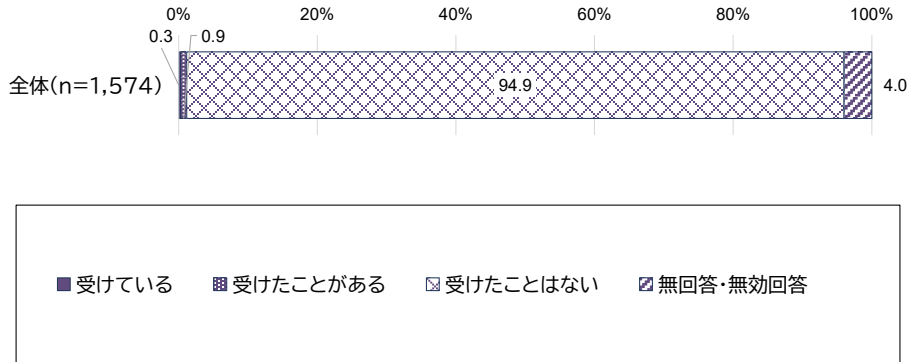


「生活保護」については、「受けている」は0.3%であった。  
 困窮層(n=44)では、「受けている」が6.8%であった。

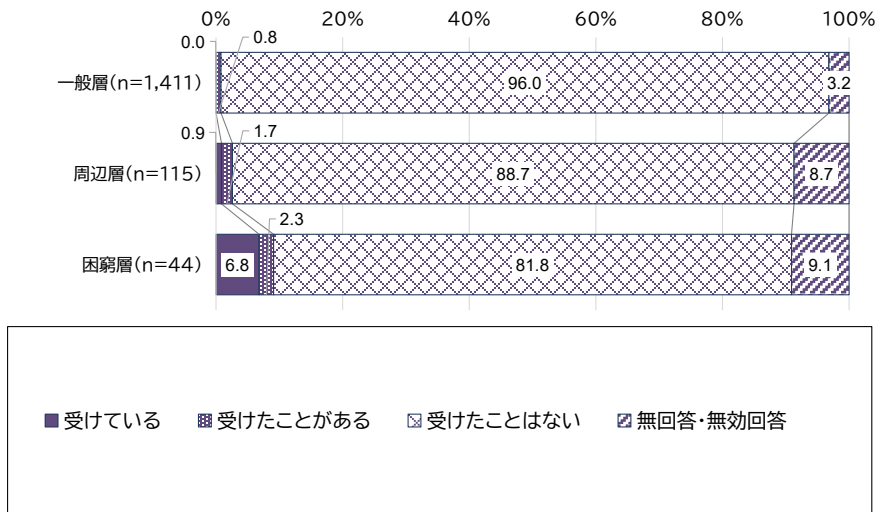
【小学5年生保護者問 25E】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-182 生活保護 (単純集計)



図表 3-183 生活保護 (生活困難層別クロス集計)

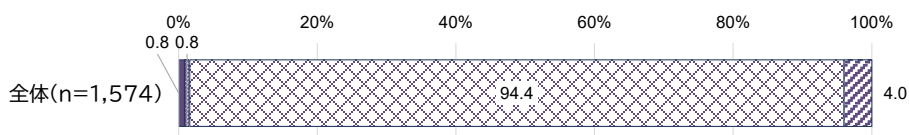


「公的年金(老齢年金)」については、「受けている」が0.8%であった。

【小学5年生保護者問 25F】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-184 公的年金(老齢年金) (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

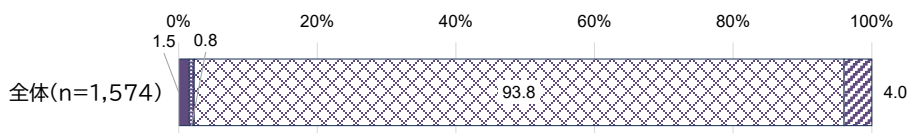
「公的年金(遺族年金、障害年金)」については、「受けている」が1.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が10.5%であった。

【小学5年生保護者問 25G】

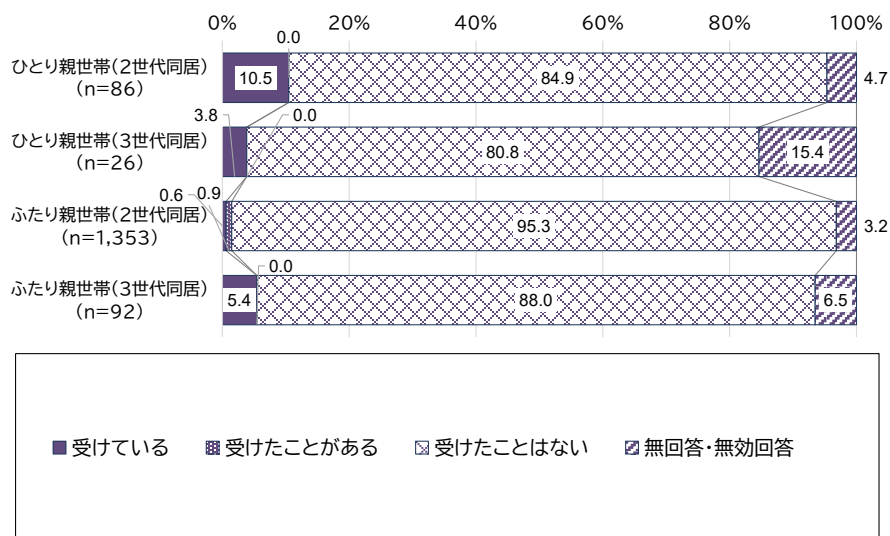
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-185 公的年金(遺族年金、障害年金) (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

図表 3-186 公的年金(遺族年金、障害年金) (世帯タイプ別クロス集計)

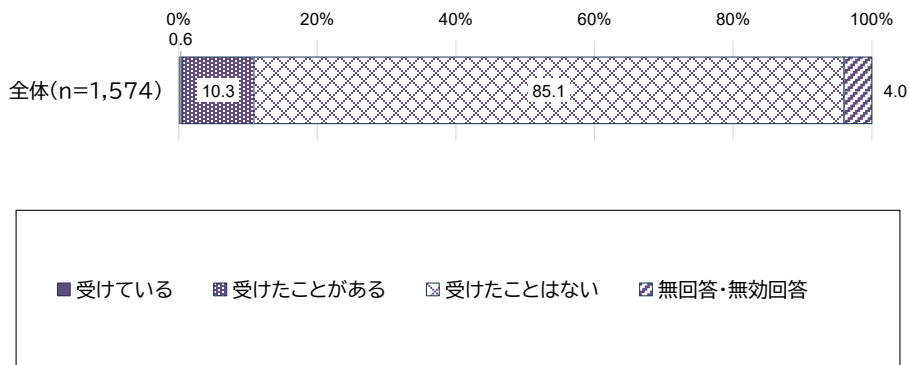


「雇用保険(失業保険)」については、「受けている」が0.6%であった。

【小学5年生保護者問 25H】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-187 雇用保険(失業保険) (単純集計)

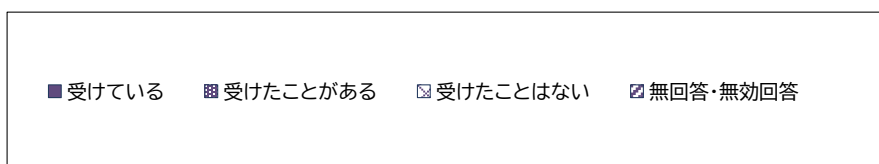
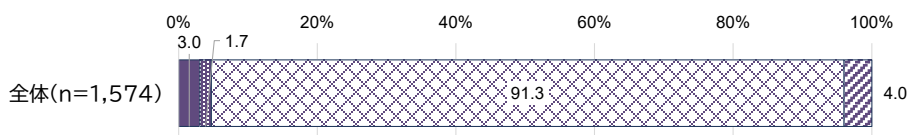


「養育費」については、「受けている」が 3.0%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が 41.9%であった。  
 困窮層(n=44)では、「受けている」が 13.6%であった。

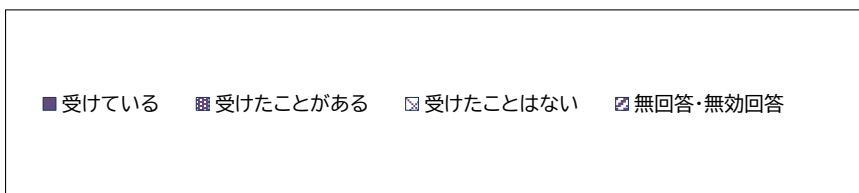
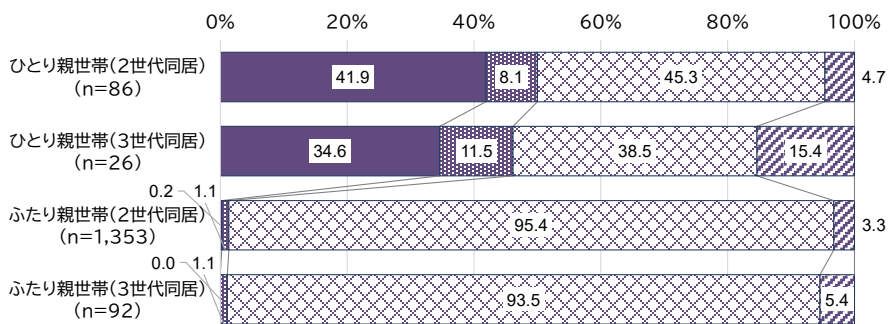
【小学5年生保護者問 25I】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

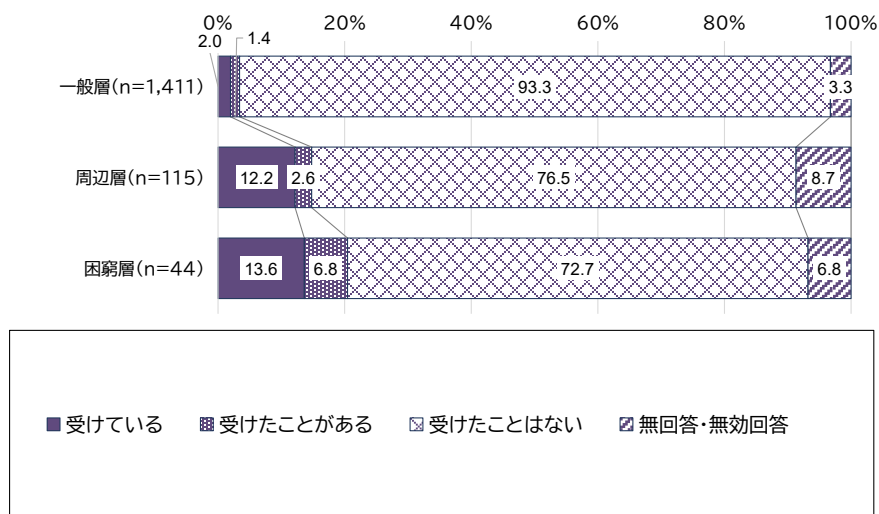
図表 3-188 養育費 (単純集計)



図表 3-189 養育費 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-190 養育費（生活困難層別クロス集計）

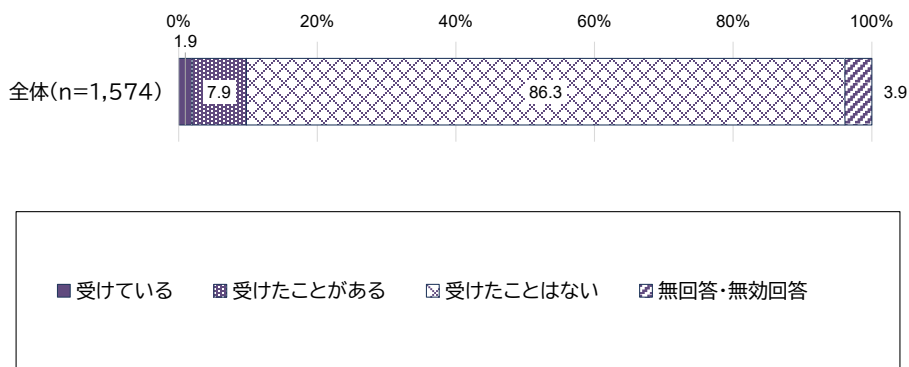


「親・親族からの仕送り」については、「受けている」が 1.9%であった。  
 困窮層(n=44)では、「受けている」が 4.5%であった。

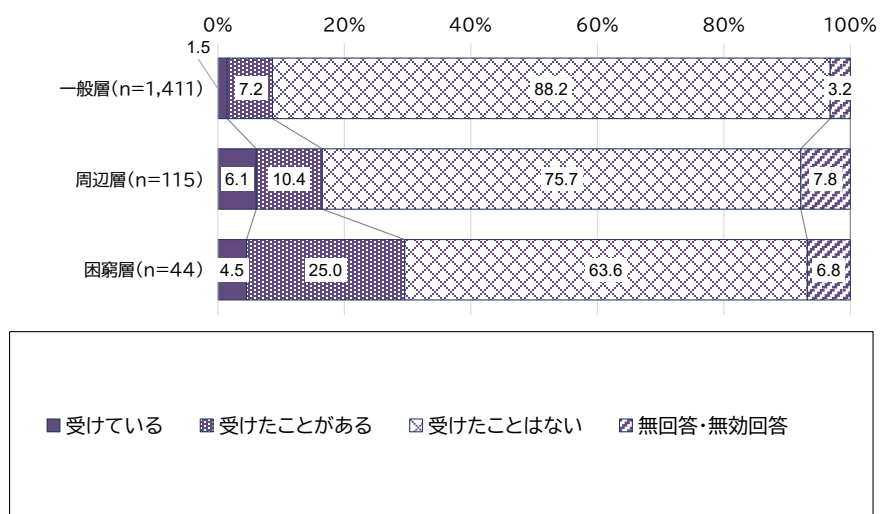
【小学5年生保護者問 25J】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-191 親・親族からの仕送り（単純集計）



図表 3-192 親・親族からの仕送り（生活困難層別クロス集計）

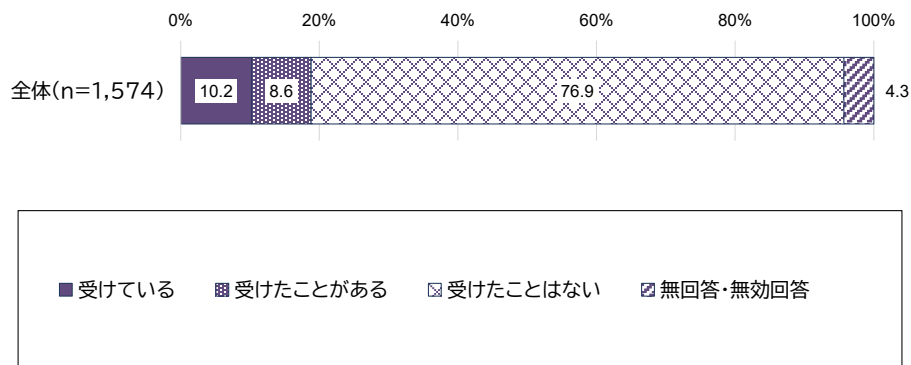


「その他、株式配当などの副収入」については、「受けている」が 10.2%であった。

【小学5年生保護者問 25K】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-193 その他、株式配当などの副収入（単純集計）



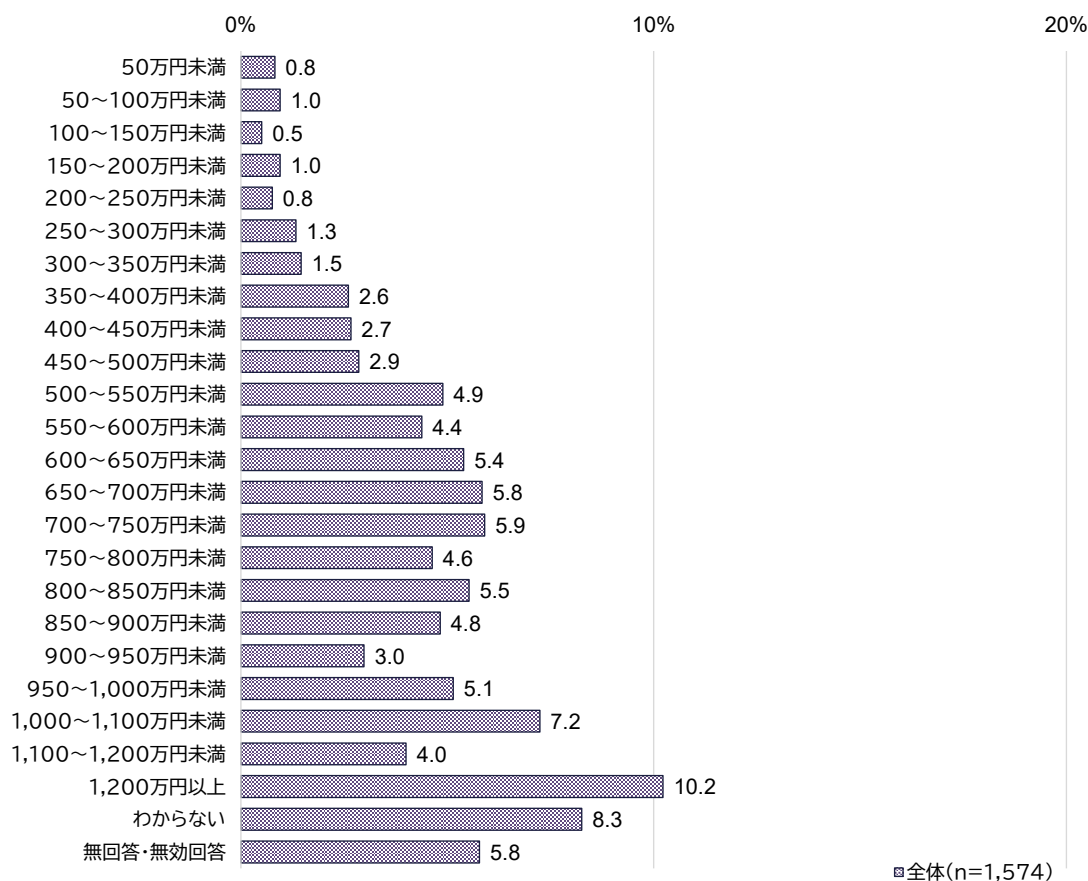
## キ 世帯の年間収入

前年(2022年)の回答者の世帯の収入の合計額は、「1,200万円以上」が10.2%と最も多く、「1,000～1,100万円未満」が7.2%、「700～750万円未満」が5.9%であった。

【小学5年生保護者問 26】

前年(2022年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(単一回答)

図表 3-194 世帯収入 (単純集計)





(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます

ア 母親の最終学歴(最後に通った学校)

回答者が母親かひとり親ではない父親の場合に、宛名の子どもの母親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が41.0%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が39.0%、「高等学校」が13.6%であった。

前回調査と比較すると、「大学」と回答した割合が今回調査は41.0%、前回調査は33.2%で、7.8ポイント増加、「高専、短大、専門学校等」と回答した割合は今回調査は39.0%、前回調査は46.6%で、7.6ポイント減少した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「高専、短大、専門学校等」が45.1%と最も多く、「大学」が29.6%、「高等学校」が18.3%であった。

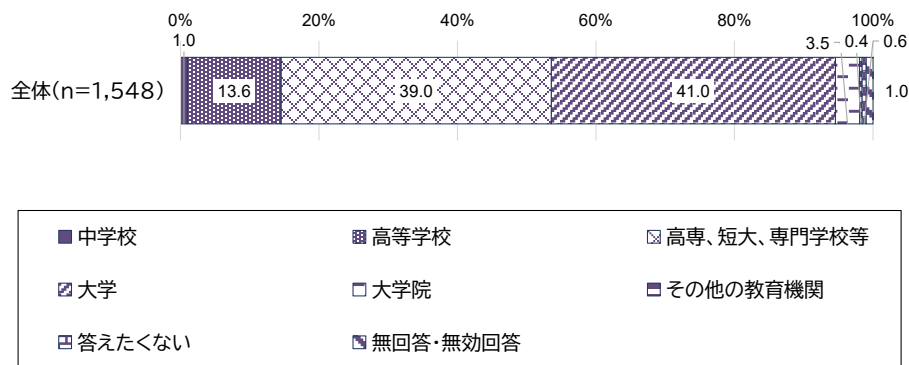
困窮層(n=41)では、「高等学校」が36.6%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が29.3%、「大学」が26.8%であった。

生活満足 低位(n=155)では、「高専、短大、専門学校等」が41.3%と最も多く、「高等学校」「大学」が25.8%であった。

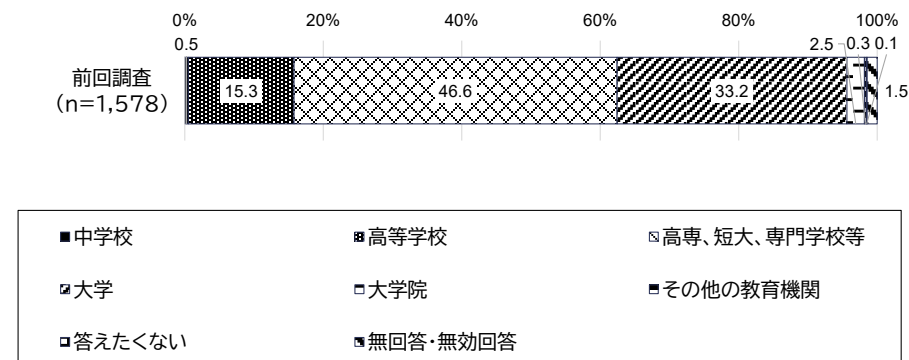
【小学5年生保護者問 27】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)お子さんのお母さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問 28 にお進みください。(単一回答)

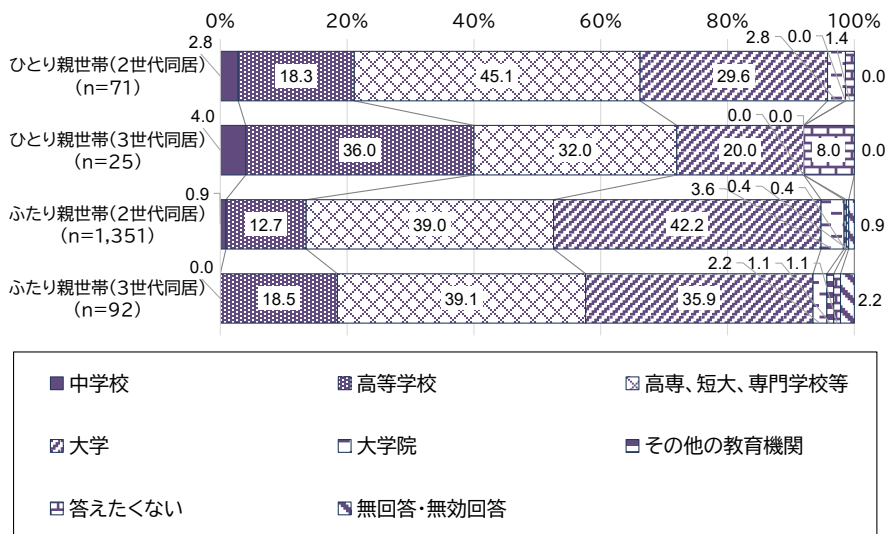
図表 3-195 母親の最後に通った学校 (単純集計)



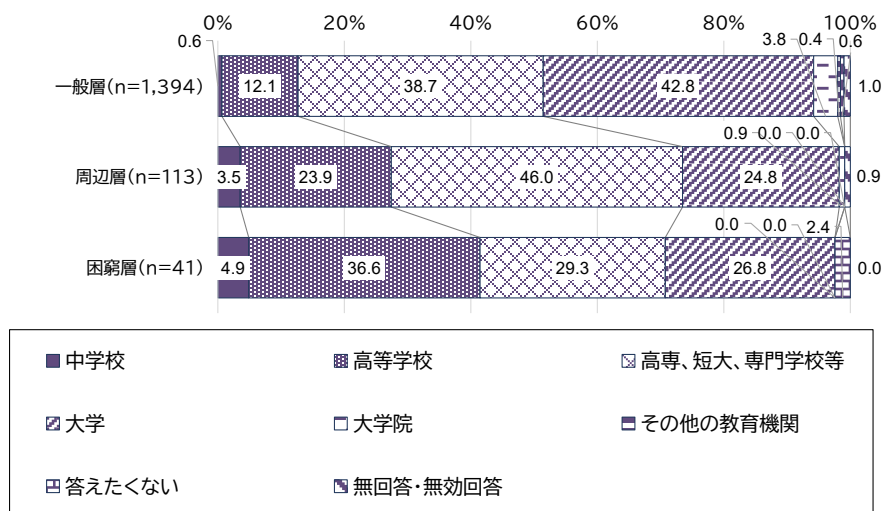
図表 3-196 母親の最後に通った学校 (前回調査 単純集計)



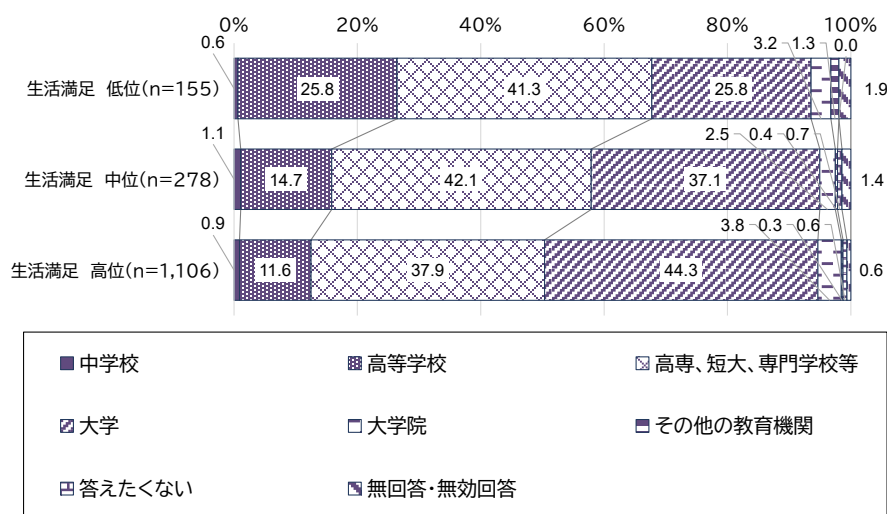
図表 3-197 母親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-198 母親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 3-199 母親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



### イ 父親の最終学歴（最後に通った学校）

回答者が父親かひとり親ではない母親の場合に、宛名の子ども父親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が 51.9%と最も多く、「大学院」が 15.5%、「高等学校」が 14.5%であった。

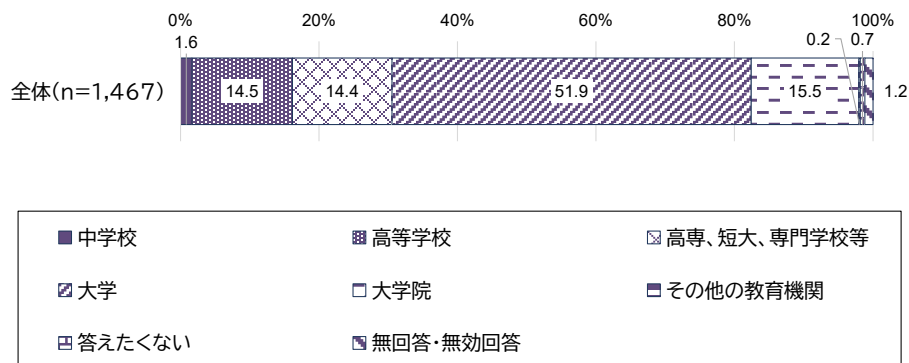
困窮層 (n=27) では、「大学」が 40.7%、「高等学校」が 25.9%、「高専、短大、専門学校等」18.5%であった。

生活満足 低位 (n=136) では、「大学」が 41.9%と最も多く、「高等学校」が 26.5%、「高専、短大、専門学校等」が 16.2%であった。

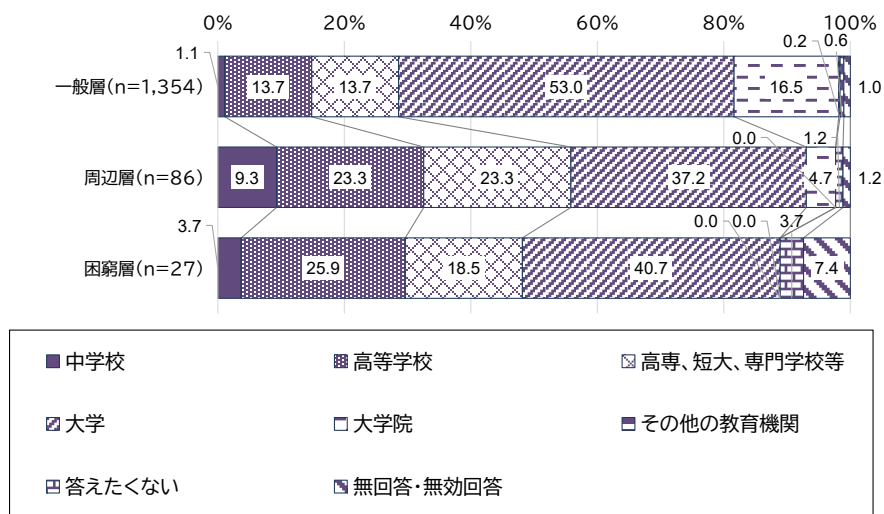
#### 【小学5年生保護者問 28】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください) お子さんのお父さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。 ※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 29 にお進みください。(単一回答)

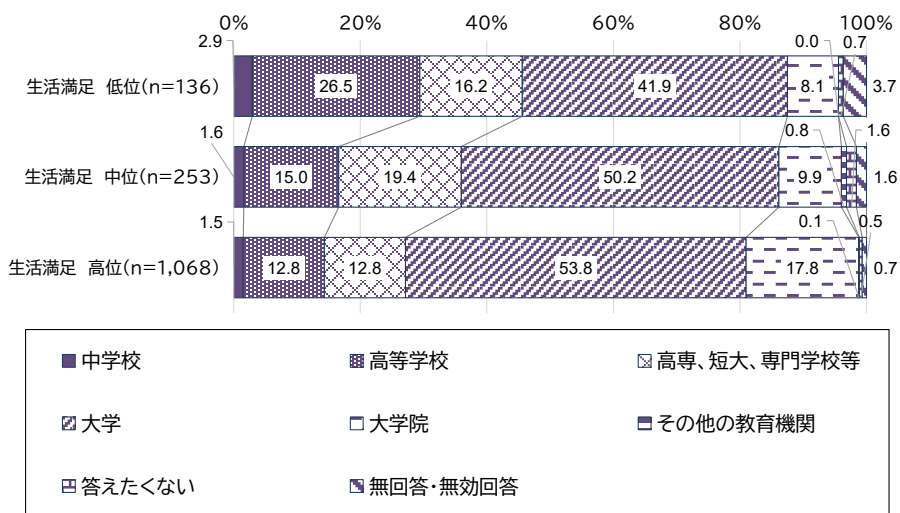
図表 3-200 父親の最後に通った学校（単純集計）



図表 3-201 父親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 3-202 父親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



## ウ 子どもが生まれてからの経験

回答者が母親か父親の場合に、子どもが生まれてから回答者が経験したことを尋ねた結果、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 69.8%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 12.9%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 11.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 51.2%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 24.4%と最も多く、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」と回答した割合が 22.1%であった。

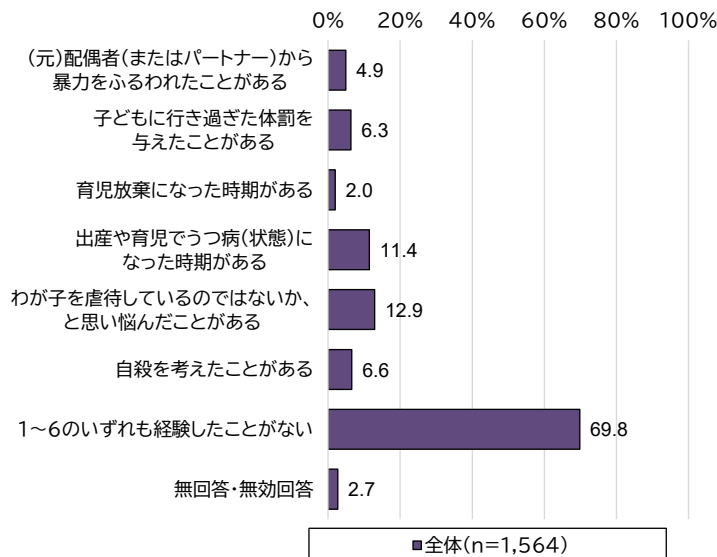
困窮層(n=44)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 45.5%であった。経験した項目については、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」「自殺を考えたことがある」と回答した割合が 22.7%と最も多かった。

生活満足 低位(n=159)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 40.3%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 26.4%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 22.6%であった。

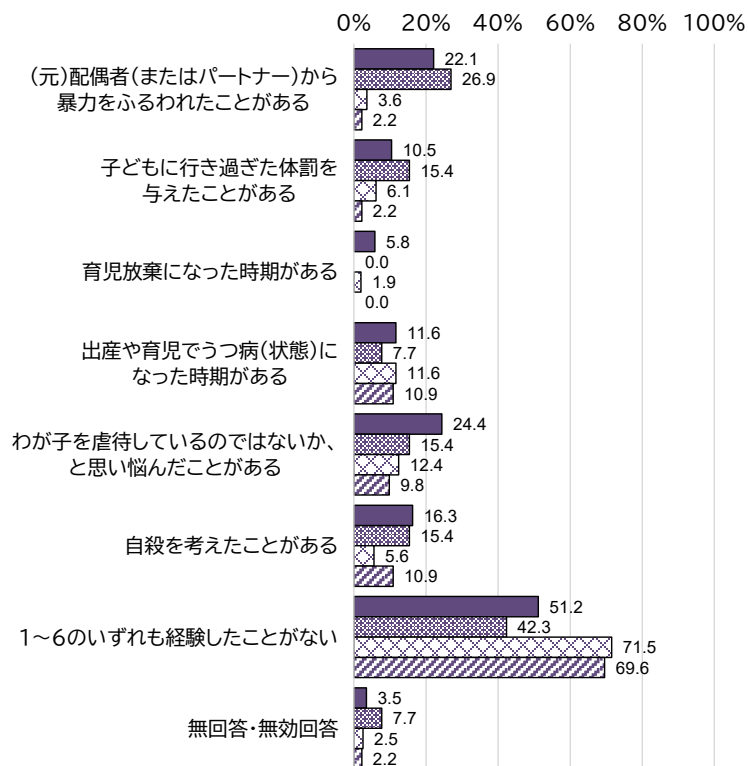
### 【小学5年生保護者問 29】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)あなたはお子さんが生まれてから、次のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

図表 3-203 子どもが生まれてからの経験 (単純集計)

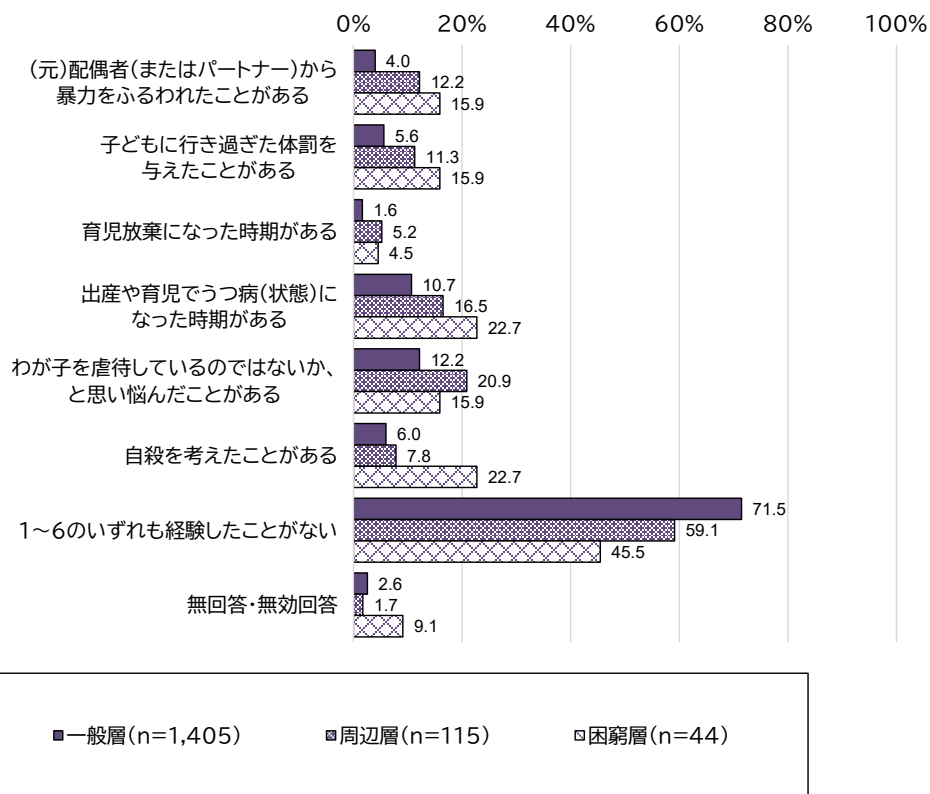


図表 3-204 子どもが生まれてからの経験（世帯タイプ別クロス集計）

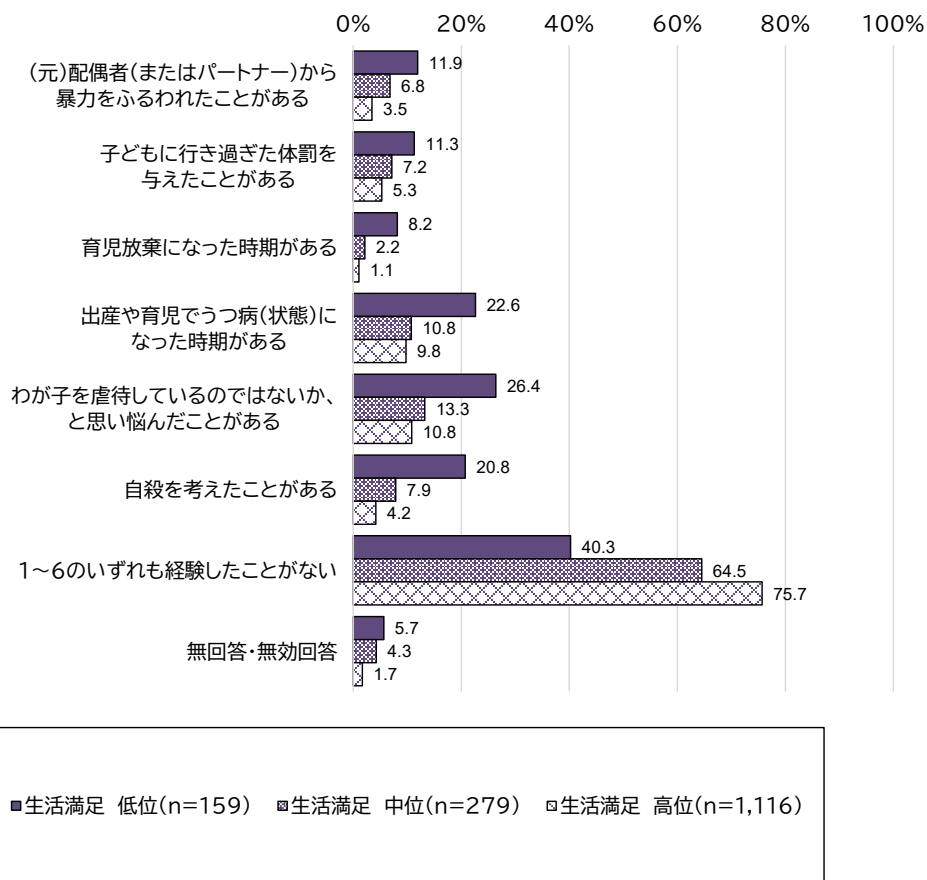


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)	■ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,351)	□ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 3-205 子どもが生まれてからの経験（生活困難層別クロス集計）



図表 3-206 子どもが生まれてからの経験（生活満足度別クロス集計）



## (7) 子育てへの支援についてうかがいます

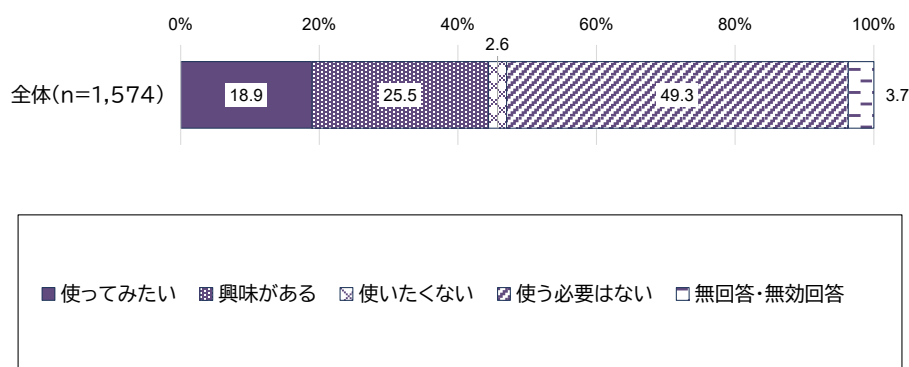
### ア 支援制度等への興味

「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 49.3%と最も多く、「興味がある」が 25.5%、「使ってみたい」が 18.9%であった。

【小学5年生保護者問 30A】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-207 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味  
(単純集計)

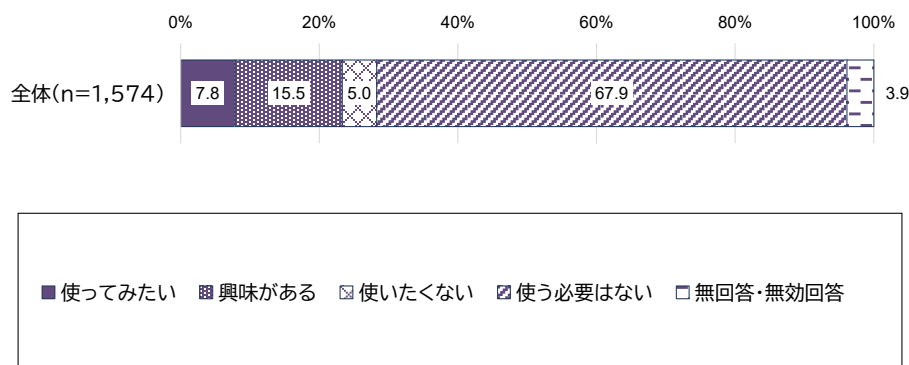


「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 67.9%と最も多く、「興味がある」が 15.5%、「使ってみたい」が 7.8%であった。

【小学5年生保護者問 30B】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-208 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にいることができる場所」への興味  
(単純集計)



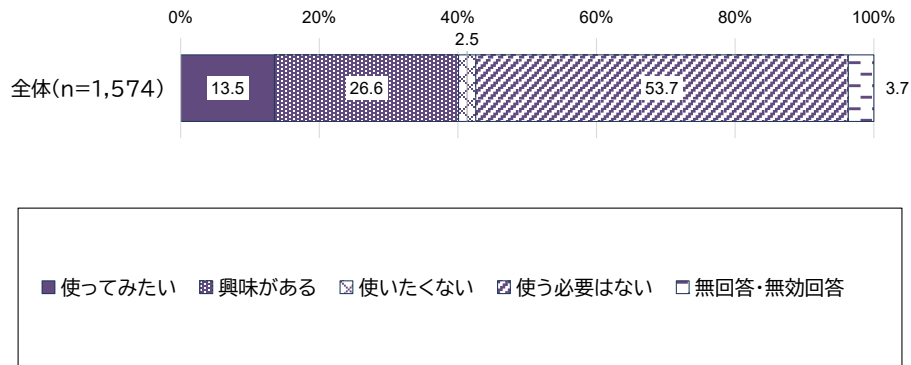


「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 53.7%と最も多く、「興味がある」が 26.6%、「使ってみたい」が 13.5%であった。

【小学5年生保護者問 30C】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-209 「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味 (単純集計)

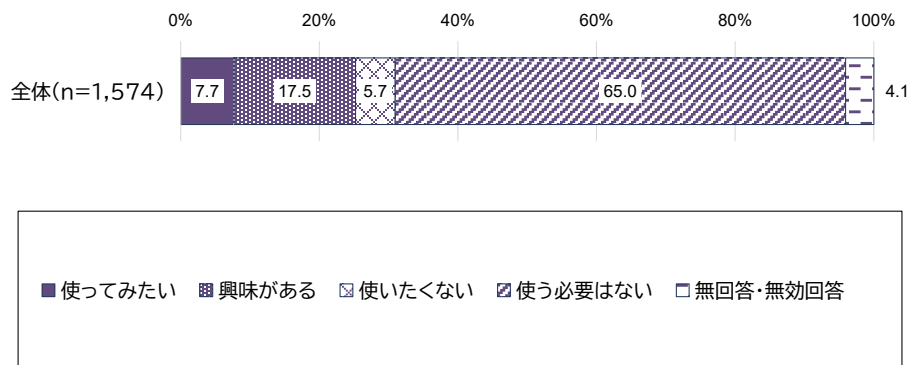


「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 65.0%と最も多く、「興味がある」が 17.5%、「使ってみたい」が 7.7%であった。

【小学5年生保護者問 30D】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-210 「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味 (単純集計)

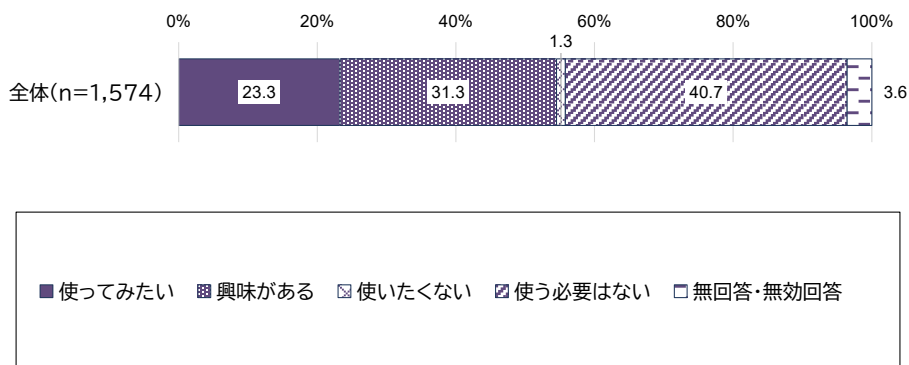


「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味は、「使う必要はない」が40.7%と最も多く、「興味がある」が31.3%、「使ってみたい」が23.3%であった。

【小学5年生保護者問 30E】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-211 「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味 (単純集計)

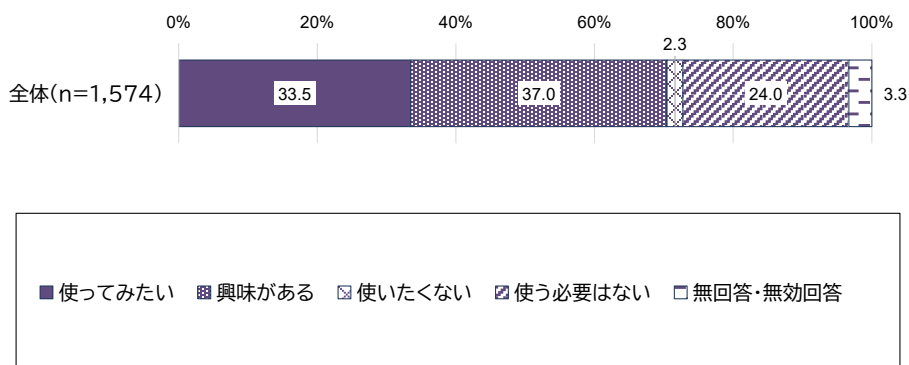


「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味は、「興味がある」が37.0%と最も多く、「使ってみたい」が33.5%、「使う必要はない」が24.0%であった。

【小学5年生保護者問 30F】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-212 「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味 (単純集計)

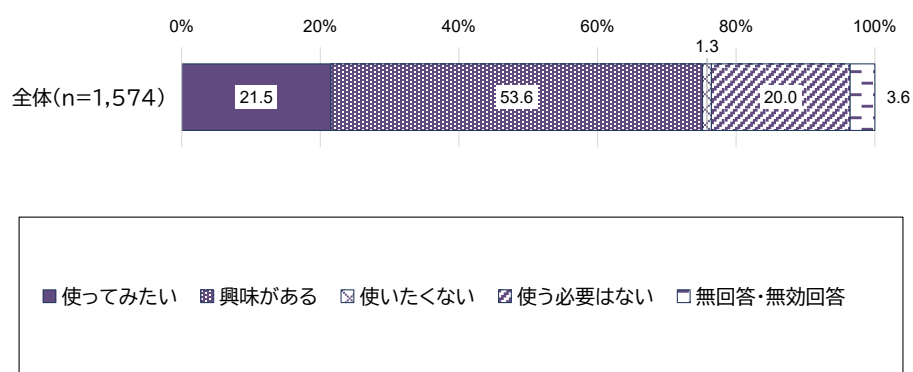


「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味は、「興味がある」が 53.6%と最も多く、「使ってみたい」が 21.5%、「使う必要はない」が 20.0%であった。

【小学5年生保護者問 30G】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-213 「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味 (単純集計)

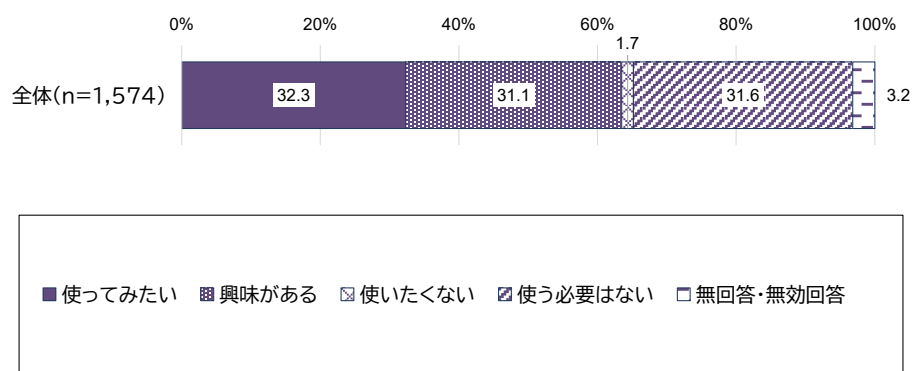


「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味は、「使ってみたい」が 32.3%と最も多く、「使う必要はない」が 31.6%、「興味がある」が 31.1%であった。

【小学5年生保護者問 30H】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-214 「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味 (単純集計)



## イ 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述)

小学5年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、459件の自由記述が寄せられた。自由記述の内容を分類すると、「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」「給食・給食費、昼食サービス」などの子育てに関連する経済的な悩みや要望、「長期休暇・休日の子どもの居場所」「子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)」「学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等、子どもの居場所に関する意見が多く挙げられた。

【小学5年生保護者問 31】

最後に、子育て(教育を含む)をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。(自由記述)

図表 3-215 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述意見の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
1	子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援	71	15.5%
2	子育て世帯への経済的支援、家計の悩み	55	12.0%
3	長期休暇・休日の子どもの居場所	53	11.5%
4	子育てに関する相談・講座・仲間作り	40	8.7%
5	子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)	37	8.1%
6	学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放	35	7.6%
6	給食・給食費、昼食サービス	35	7.6%
8	学童・放課後児童クラブに関する要望	32	7.0%
9	学校教育の充実(相談・SC 含む)	31	6.8%
10	教育制度、学校のルール(制服・指定用品、学区、PTA など含む)	30	6.5%
11	保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援	27	5.9%
12	いじめ・登校しぶり・不登校に関する悩み・支援	25	5.4%
12	公園・スポーツ施設・遊び場	25	5.4%
14	障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育	23	5.0%
14	ゲーム、スマートフォン、インターネットの使用等に関する悩み	23	5.0%
16	学習支援・補習・学習できる場	22	4.8%
17	一時預かり・送迎支援(病児保育・ファミサポ含む)	21	4.6%
18	医療・医療費助成・健診	13	2.8%
19	教職員に関すること(教員、人員配置、授業内容など含む)	12	2.6%
19	防犯・交通安全・通学路・登下校の安全確保等	12	2.6%
21	DV、虐待、家族関係等の悩み、近隣の気になる家庭	10	2.2%
22	ひとり親世帯への支援(児童扶養手当、養育費等)	9	2.0%
その他			
-	その他、市の教育・子育て支援	33	7.2%
-	その他の子育てに関する悩み	29	6.3%
-	アンケート調査に関すること	10	2.2%
-	その他、特になし	18	3.9%
合計(意見提出をした人数 459 件)		731	—

## 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートに関する上位 10 項目の代表的な意見

### 1 位 子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援

- 小学校も中学校も勉強が難しくなっていて学校だけでついていけず、上の子達も塾にいつている。学校も塾に行っているありきで対応してくる。できれば塾に行かずに学校でついていけない子達のサポートをして頂けると助かる。兄妹がいると何人も塾に行かせて、部活や習い事をさせるのはとても大変。子ども 1 人に対して、今お金がすごくかかるので、もう少し勉強面をフォローして頂けるとありがたい。
- 高校の学費支援や子ども手当など、所得制限で受けられないが、実際生活費が足りず、貯金を取り崩している。収入がそれほど変わらないのに、助成を受けられる人と受けられない人で差が大きすぎると感じる。
- ひとり親で 2 人の教育費はとても苦しい。いつもそのことばかり考えてしまい、今にお金を使うことに躊躇して、それを口に出してしまうことがある(お金がないからできない…というような事)。それにより、本当は塾に行きたい、希望する大学に行きたいということを諦めさせてしまうようで、子どもに申し訳なくなってしまう。児童手当の 18 歳まで引き上げはとてもありがたいが、その先大学無償化はなかなか無償化と呼べる補助額ではなく(年収 300~400 のラインで、恩恵を受けられない微妙な年収)、2 人を大学に行かせてあげられないかと思うと不安。
- 経済的理由で大学へ進学させられるか不安。現在、扶養範囲内で共働きしているが、今のままだと奨学金を利用しないと進学させられない。借金になるので、別の進路を打診する可能性がある。扶養をはずれて仕事をするととなると、夫と同等に働かなければならず、家庭がまわらない。まわったとしても疲れる。
- 多子家庭に対する金銭的な援助をしてほしい。働いても働いても子どもの教育費がかかりすぎる。年収が中途半端で、私学高校の援助が、多子家庭で家計が苦しいのに受けられない。

### 2 位 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み

- 育ち盛りの食生活で、栄養面にも気をつかいながら、食べるものは不自由なくしたいと思っているが、習い事や塾などの月謝も高額であったり、食費も物価上昇などの影響で、少しでも食費を削らないと家計の負担が大きいと感じる。
- 藤沢市は物価高に対しての対策などは何もないのでしょうか？他の自治体では給食費が無償化になったなどのニュースを見る。水道代なども安くなった自治体もあると聞く。
- 子育てをしている事には変わらないのに、年収によって児童手当が受給できない事に不満を感じている。楽をして働いて収入を得ているのではないし、税金も納めているのだから、児童手当は一律に支払われるべきだと思う。
- 共働きだが、なかなか貯蓄できずにいる。子ども達の将来に向けて頑張っているが(残業もしている)、それができない。物価も高くなっているし、出費の方が上回っている。

- 税金が高すぎる事。とにかく減税をしてもらいたい。共働きで苦勞しても、何も学費等の免税もないので困っている。減税が最もサポートになる。

### 3 位 長期休暇・休日の子どもの居場所

- 夏休みや正月、GW と長期の学校休日の間、半日でも子どもを預かってくれる施設が学区内にあると母親も働きに出る事(日数)が増える(普段学童を利用していない家庭)。学校に行っている間、パート、アルバイトをしているが、夏休み等は子どもが家にいるため、パート、アルバイトを休まなければならない、その間の収入が減ってしまい困っている。
- 夏休み中、両親が仕事に出ると日中子どもがひとりになる時間が多く、テレビやゲームといったことで時間を使ってしまう。夏は暑さもあり、公園も遊具が熱く使えない。小学生が、夏休みなど長期休み中に有料でも良いので安心して子ども同士で過ごせる場所が、午前中や午後だけでもよいので、あって欲しい。
- 長期の休みは一人で家にいさせることが多く、習いごと等に通わせたいと考えたが、送迎や金銭的に難しく断念した(学童保育は疲れると言って嫌がりやめてしまった)夏休みや冬休みに気軽に通い、勉強等を見てもらえる場所があると良いと思う。
- 長期休み時(夏休み、冬休み等)、突然の休校時など、子どもの居場所を作って頂きたい。今年の市のサマースクールの企画は素晴らしかった。もう少し参加できる枠を広げて下さると嬉しい。
- 学年があがると、学童に入れたくてもいっぱい入れない。通常時は留守番できるが、長期休暇(夏休みなど)は厳しい。長期休暇だけ利用できる居場所がほしい。市のサマースクールは、場所が遠く、長後地区から通うのは難しい。利用料は少し高くてあれば利用したい人はいるはず。
- 夏休みの居場所支援。学童以外にも体験できるようなプログラム。善行スポーツセンターの夏休みの居場所はとてもよい。同様の取り組みが増えると嬉しい。

### 4 位 子育てに関する相談・講座・仲間作り

- 赤ちゃんの時は保健師さんや子育てスペースで相談できたが、小学生以降はどこに相談してよいか分からない。もっと相談できる場所がほしい。
- 親も子どもも気持ちを共有できるネットワークが欲しい。座談会等があるのは知っているが、一番悩んで苦しかった時期に(子どもが小学校低学年で母子分離不安あり、留守番を頼める人がいない)利用できなかったのも、とても悲しかった。
- コロナ禍で独り子育てに苦しむ母親(父親)が増えていると思います。SNS ばかりではなく、地域における顔の見えるコミュニティーの大切さが再度フォーカスされることを期待しています。子育ても介護も1人で頑張るものではないのだから。
- 藤沢に引っ越してきたが、コロナ禍だったので、同学年のお母さんと知り合う機会もないまま、今日に至る。学校のこと、友人関係など気軽に話せる知り合いが欲しかったので、そういう機会(転入ママの集いなど)を設けてほしかったし、コロナ禍で出会いの場が減少していると思うので、コロナで知り合いができなかった人向けのイベントがあればうれしいと思った。

#### 5 位 子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)

- 学童に通っていない世帯の児童を、放課後預かって下さる場所が必要。幼稚園には「延長保育」があり、17:30 まで安心して預けられますが、小学生になった途端にどこにも預け先がない。不定期、申込制、有料、都度払い等で対応する等、早急に検討してほしい。通院、親の介護、仕事等に支障が出ている声をよく聞く。特にお留守番のできない学年の(子が)いる時は辛い。
- 小学生高学年が利用できるような公園が欲しい。放課後の子どもの居場所が藤沢市は学童一択のみなのが困っている(学童は高いし、1ヶ月の半分くらいだけの利用には向いていないため)。
- 共働きの方などが多く、子どもの友人達も習い事等を平日・休日共にたくさんしており、子どもが友達同士で約束して遊んだりすることが大変難しいと感じる。遊ぶ場所も、屋外は暑すぎたりして、居場所がないと感じている。
- 一時保育のように、一時学童保育のような場所があると助かると思う。親の介護や自分の病気などで単発的に子どもの居場所を確保したい事もあり得るので。

#### 6 位 学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放

- 前に住んでいた地域では、学校が終わったあと、17:00 まで学校の体育館で子ども達を見てくれるサービスがあった。働いてなくても預かってもらえて低額だった。OB の先生などもいて、みんなで宿題をやったり、校庭で遊んだりしていた。こういうサービスを作ってほしい。
- 学校で(朝 7:30~8:15)早朝保育をして欲しい(お金を払ってもよい)。子どもが最後に家を出る。1人で鍵をかけるのは不安。
- 昨年まで他市に住んでいたが、藤沢市での待遇の差に驚いた。他市では、小学校内(以前は空き教室)で無料で遊びの場を利用できた。今は、学校から帰宅したら外で遊ぶことが滅多にないので、そういった場所がないことが残念。以前は、そこで毎日のように外遊びをしていたので、藤沢市でもできれば良いとすごく思う。
- 専業主婦だが、年数回は子の学校行事(懇談会やPTA活動)で子どもの下校時に在宅できないことがある。低学年の頃は普段しなれない鍵の管理も含めて留守番への不安があった。横浜市では「放課後キッズクラブ」を運営していると聞き、希望する子どもが放課後を過ごす場があることがうらやましく思っている。難しいことも多いかとは思いますが、親の状況(仕事の有無やその長さ)に関わらず希望する子どもが安心して過ごせる場がいつかできることを願っている。

#### 6 位 給食・給食費、昼食サービス

- 夏休みの子どもの居場所や昼食があると助かるし、安心できる。共働きが増える中、長期休み(夏、冬、春休み)の給食が働く親には負担が大きい。
- 中学も小学校と同じような温かくて栄養バランスの取れた給食(デリバリー方式ではない)にすることを強く期待する。また無償化も期待している。

- 春・夏・冬休みの昼ごはんは悩むので安価で提供してほしい。皆で作るイベントがあってもおもしろそう(昼食を)。

#### 8位 学童・放課後児童クラブに関する要望

- 学童の定員数、設置数の増加と料金(一律 16,500 円)を安くする事が可能となってほしい。もっと気軽に利用できるサポートがほしい。
- 保育園の増加の割合に比べ、学童の数、受け入れの数が少なすぎる。保育時間と学校の開始時間の差、夏休み、冬休み等の学童開所時間の差もあり、低学年の子が朝一人になる心配があり、安心して働くことが困難に感じる人もいるのではないか。保育課と連携していただき、受け入れの改善を希望する。
- 保育園、児童クラブを利用しているが、毎回入所できるかどうか気を揉むことになる。希望すれば 100%入所できる状態が望ましい。

#### 9位 学校教育の充実(相談・SC 含む)

- スクールカウンセラーについて、各学校にいるのかもしれないが、いついるかわからない、どんな人なのかわからない等、せっかいいい制度なのに、あまり機能していないように思う。何かを相談したくなるには、やはり「この先生なら話してみようかなと思わせること」が必要だと思うので、もっと工夫してほしい。接点を増やすことは大切だと思うので、カウンセラーさんの授業をつくるとかもあっていいのでは。お友達とのつきあい方など、子どもなりに大なり、小なり悩みがあるものだと思うので、話を聞いてくれる方がいるって大切なことだと思う。
- 小学生、中学生、高校生ともに多くの学生は先生 1 人に対して、複数人で授業を受ける形となっている。しかし、それでは 1 人 1 人の学習能力をあげることはできない。そのためにも 1 人 1 人に対応できるような環境づくりをすることが必要になると思う。具体的に、先生は大学生、社会人などをアルバイトで雇うなど。
- 藤沢市立の中学校に行く予定だが、公立と私立で学びの環境に大きな差があるように感じる(学校の設備や教育体制が公立校は不安がある)ので、公立校でも設備やカリキュラムが充実してほしいと思う。

#### 10位 教育制度、学校のルール(制服・指定用品、学区、PTA など含む)

- 学校はまだ専業主婦世帯を前提として運営されているように感じる(予定がギリギリまでわからない、勤務時間との調整が難しい時間の仕事等が多い、PTA はやりたい人がやるのが良い)。
- 小学校の PTA、役員決めで毎日胃の痛い思いをする。PTA は共働き家庭推奨の現状の状況に全く適さないと思う。思い切ってなくして、必要の可否を検討して欲しい。入金時も同調圧力があり、家庭の事情が考慮されていなかった。